

二宮町
子ども・子育てに関する調査
報告書

平成31年 3 月

二宮町

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	4
第2章 調査結果の詳細（就学前児童）	5
1. 居住地区／子どもと家族の状況	7
（1）居住地区	7
（2）子どもの年齢（平成30年4月時点）	7
（3）兄弟姉妹人数	8
（4）末子の年齢（ひとりっ子を除く）	8
（5）調査票回答者	8
（6）回答者の配偶関係	9
（7）子育て（教育を含む）を主にしている人	10
（8）子どもをみてもらえる親族・知人の有無	10
（9）祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について	11
（10）友人・知人に子どもをみてもらっている状況について	12
（12）子育て（教育を含む）に関する相談先	13
2. 保護者の就労状況	14
（1）保護者の就労状況	14
（2）就労日数と就労時間	15
（3）保護者の外出時刻と帰宅時刻	16
（4）フルタイム就労への転換希望	17
（5）就労希望と希望する就労形態	18
3. 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	20
（1）定期的な教育・保育事業の利用状況	20
（2）定期的に利用している教育・保育事業の種類	20
（3）定期的に利用している教育・保育事業の現在の状況と今後の希望	21
（4）現在利用している教育・保育事業の実施場所	25
（5）定期的に教育・保育事業を利用している理由	25
（6）定期的に教育・保育事業を利用していない理由	26
（7）定期的に利用したい教育・保育事業	27
（8）定期的な利用したい教育・保育事業の場所	28
（9）幼稚園（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用希望	28
（10）幼児教育・保育の無償化が実施された場合、定期的に利用したいサービス	29
4. 地域の子育て支援事業の利用状況	30

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	30
(2) 子育てサロンの利用意向	31
(3) 子育てサロンを利用したいとは思わない理由	32
(4) 各事業の周知、利用経験、利用意向	33
5. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	36
(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	36
(2) 土曜日、日曜・祝日に月に1～2回程度利用したい理由	38
(3) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）	39
(4) 長期休暇期間中の教育・保育事業を週に数日程度利用したい理由	40
6. 子どもの病気の際の対応	41
(1) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと	41
(2) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法	42
(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	44
(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態	45
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由	45
(6) 病気等で事業が利用できなかった場合、父母のいずれかが仕事を休むこと	46
(7) 休んで看ることが困難、あるいは不可の理由	47
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	48
(1) 不定期に利用している教育・保育事業	48
(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由	51
(3) 私用等の目的のための不定期な教育・保育事業の利用希望	52
(4) 私用等の目的で子どもを預ける場合、望ましい事業形態	54
(5) 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった場合の対処方法	55
(6) 親族・知人にみてもらった場合の困難度	56
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方（子どもが5歳以上〔年長児〕対象）	57
(1) 小学校低学年時に放課後を過ごさせたい場所	57
(2) 小学校高学年時に放課後を過ごさせたい場所	60
(3) 土曜日、日曜日・祝日の学童保育所の利用希望	63
(4) 長期休暇期間中の学童保育所の利用希望	66
9. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度	68
(1) 育児休業の取得状況	68
(2) 育児休業給付、保険料等の免除制度の認知状況	70
(3) 育児休業取得後の職場復帰の状況	70
(4) 職場復帰のタイミング	71
(5) 実際と希望の職場復帰までの期間	72
(6) 実際と希望の育児休業取得期間	73
(7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	74
(8) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況	75
(9) 短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由	76
(10) 1、2歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得予定	77

(11) 育児休業を2歳になるまで取得したいと考える理由	77
10. 子育て全般	78
(1) 町の子育ての環境や支援への満足度	78
(2) その満足度の理由	79
(3) 子育てに関して悩んでいること、気になること	81
(4) 子育てワンストップサービスの利用状況	82
(5) 子育てワンストップサービスを利用していない理由	82
11. 自由意見	83
(1) 自由記述	83

第3章 調査結果の詳細（小学生） 85

1. 居住地区と子どもと家族の状況	87
(1) 居住地区	87
(2) 子どもの学年	88
(3) 兄弟姉妹人数	88
(4) 末子の年齢（ひとりっ子を除く）	88
(5) 調査票回答者	89
(6) 回答者の配偶関係	89
(7) 子育て（教育を含む）を主にしている人	90
(8) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人及び場所の有無	90
(9) 子育て（教育を含む）に関しての相談先	91
2. 保護者の就労状況	92
(1) 保護者の就労状況	92
(2) 就労日数と就労時間	93
(4) フルタイムへの転換希望	96
(5) 就労希望と希望する就労形態	97
(6) 就労開始後の放課後の子どもの居場所	99
3. 子どもの病気の際の対応	100
(1) 子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったこと	100
(2) 子どもが病気やケガで小学校に通学できなかった場合の対処方法	101
(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	103
(4) 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由	104
(5) 病気等で事業が利用できなかった場合、父母のいずれかが仕事を休むこと	105
(6) 休んで看ることが困難、あるいは不可の理由	106
4. 子どもの不定期の宿泊を伴う一時預かり等の利用	107
(1) 不定期に利用している教育・保育事業	107
(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由	108
(3) 私用等の目的のための不定期的な教育・保育事業の利用希望	109
(4) 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった場合の対処方法	111
(5) 親族・知人にみてもらう場合の困難度	113

5. 子どもの放課後の過ごし方	114
(1) 子どもの平日の放課後の過ごし方	114
(2) 今後の子どもの放課後の過ごし方	118
(3) 土曜日、日曜日・祝日の学童保育所の利用希望	118
(4) 放課後の過ごし方に関する情報の入手先	121
6. 子育て全般	122
(1) 町の子育ての環境や支援への満足度	122
(2) その満足度の理由	123
(3) 子育てワンストップサービスの利用状況	125
(4) 子育てワンストップサービスを利用していない理由	126
(5) 子育てに関して悩んでいること、気になること	127
7. 自由記述	128
(1) 自由記述	128
第4章 調査票	129

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

新たな「二宮町子ども・子育て支援計画」を策定するにあたり、子ども・子育て支援に関する生活実態や要望・意見などを把握するための基礎資料を得るために実施しました。

2. 調査の種類

調査名	調査対象および抽出方法
1. 就学前児童調査	町内在住の就学前児童のいる世帯
2. 小学生調査	町内在住の小学生のいる世帯

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送配布・郵送回収（督促を兼ねた礼状を1回発送）

調査期間：平成30年12月14日（金）～12月28日（金）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 就学前児童調査	800件	512件	64.0%
2. 小学生調査	200件	109件	54.5%

4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 就学前児童調査	1. 住まいの地域について 2. 子どもと家族の状況について 3. 保護者の就労状況について 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について 5. 地域の子育て支援事業の利用状況について 6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について 7. 子どもの病気の際の対応について 8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について 10. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について 11. 子育て全般について
調査名	調査項目
2. 小学生調査	1. 住まいの地域について 2. 子どもと家族の状況について 3. 保護者の就労状況について 4. 子どもの病気の際の対応について 5. 不定期の宿泊を伴う一時預かり等の利用について 6. 放課後の過ごし方について 7. 子育て全般について

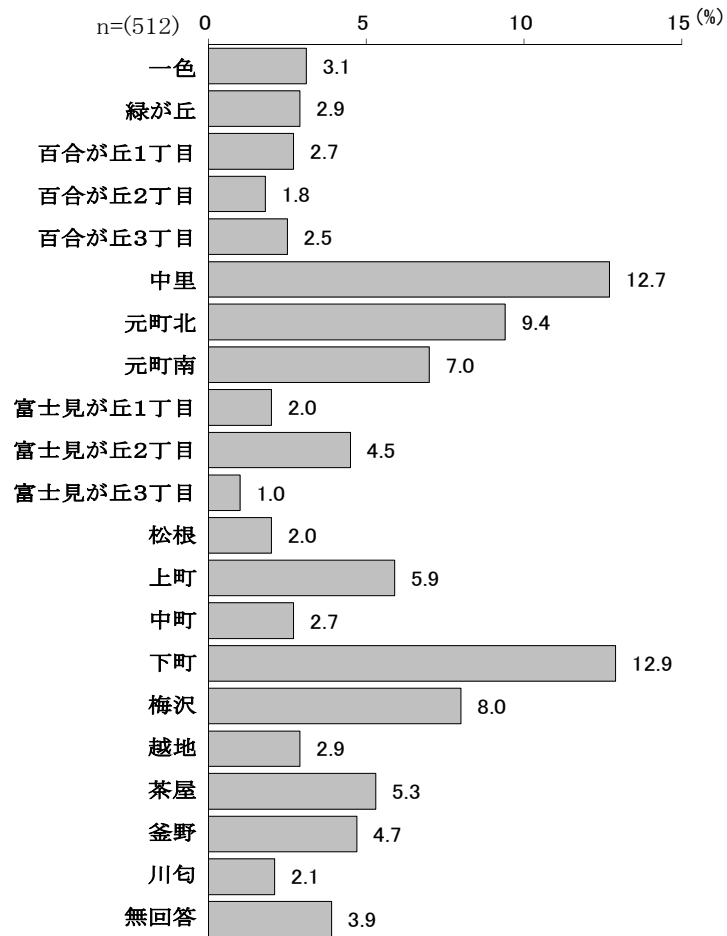
5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、参考としてコメントを掲載しています。

第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

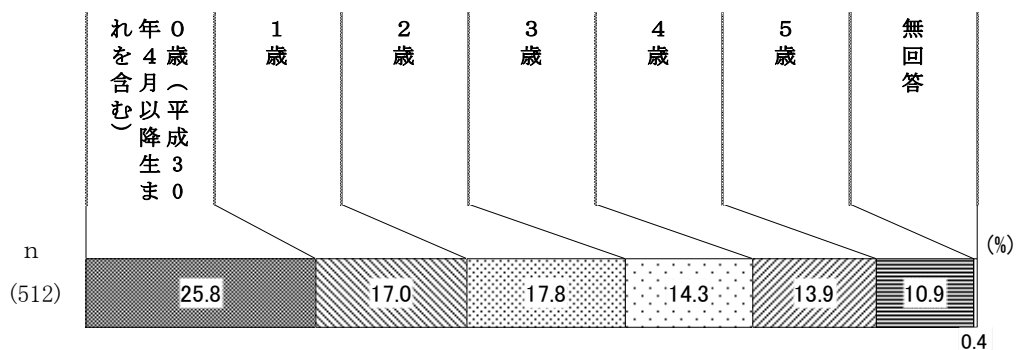
1. 居住地区／子どもと家族の状況

(1) 居住地区



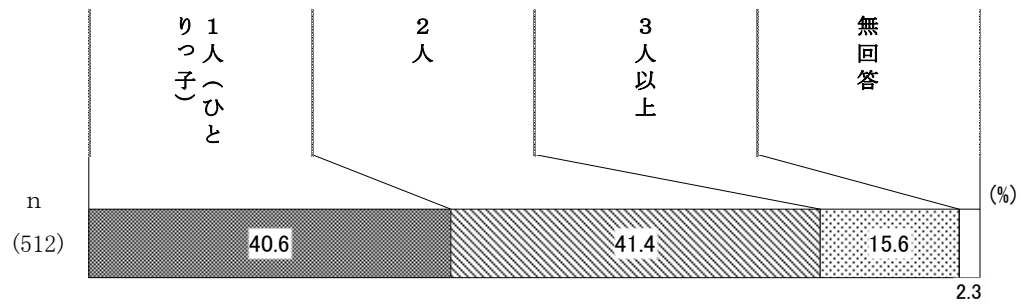
居住地区では、「下町」12.9%が最も高く、以下「中里」12.7%、「元町北」9.4%となっています。

(2) 子どもの年齢（平成30年4月時点）



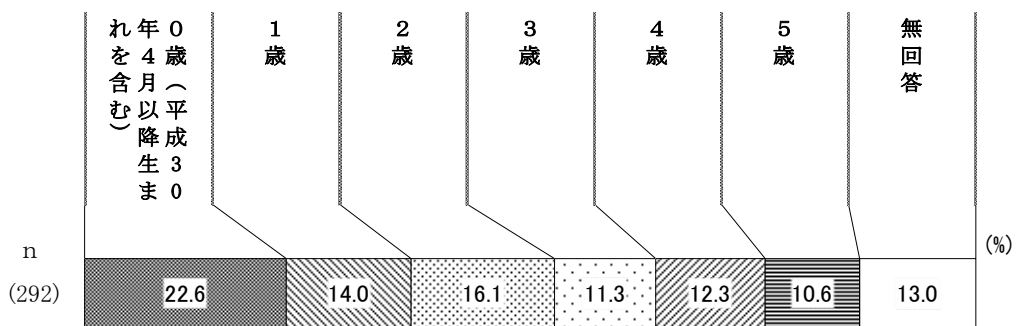
子どもの年齢（平成30年4月時点）では、「0歳（平成30年4月以降生まれを含む）」25.8%が最も高く、以下「2歳」17.8%、「1歳」17.0%となっています。

（3）兄弟姉妹人数



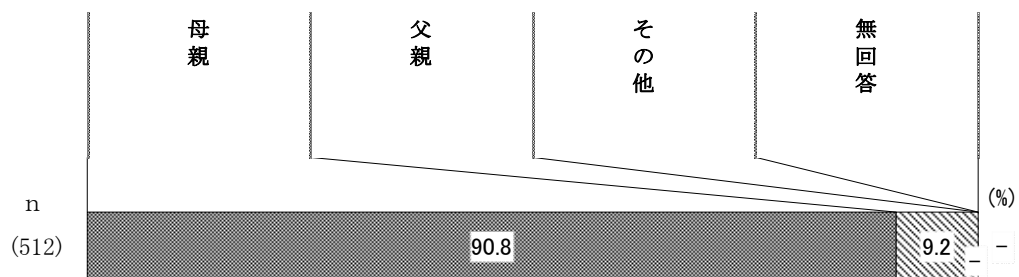
兄弟姉妹人数では、「2人」41.4%が最も高く、「3人以上」15.6%となっており、兄弟姉妹のいる世帯は57.0%、「1人（ひとりっ子）」40.6%となっています。

（4）末子の年齢（ひとりっ子を除く）



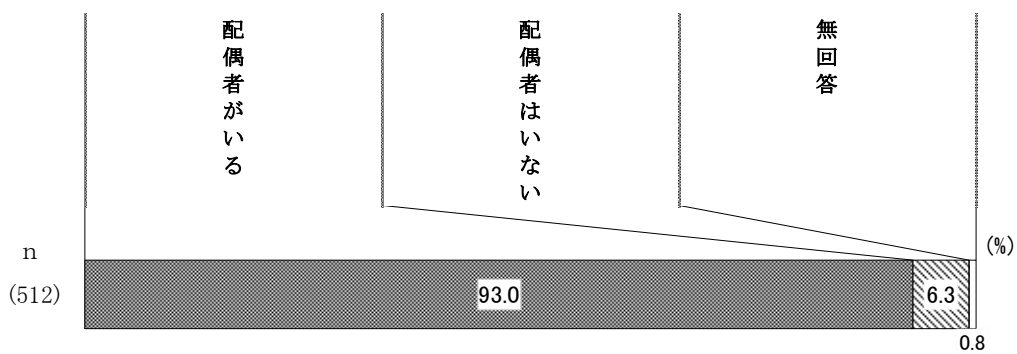
末子の年齢（ひとりっ子を除く）では、「0歳（平成30年4月以降生まれを含む）」22.6%が最も高く、以下「2歳」16.1%、「1歳」14.0%となっています。

（5）調査票回答者



調査票回答者では、「母親」90.8%、「父親」9.2%となっています。

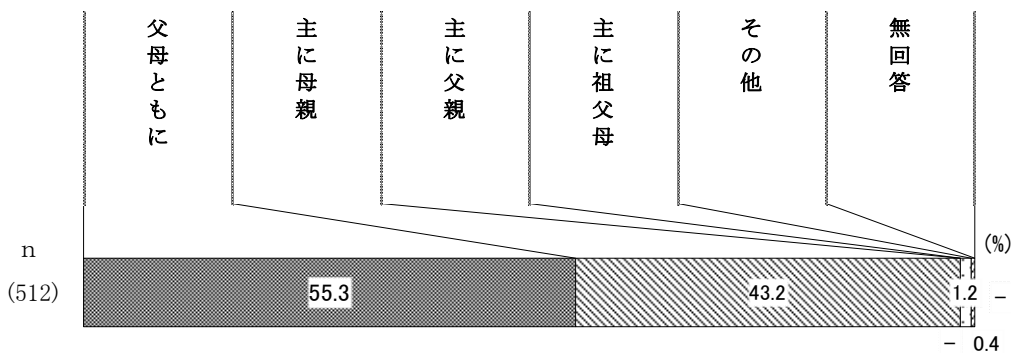
(6) 回答者の配偶関係



回答者の配偶関係では、「配偶者がいる」93.0%、「配偶者はいない」6.3%となっています。

（7）子育て（教育を含む）を主にしている人

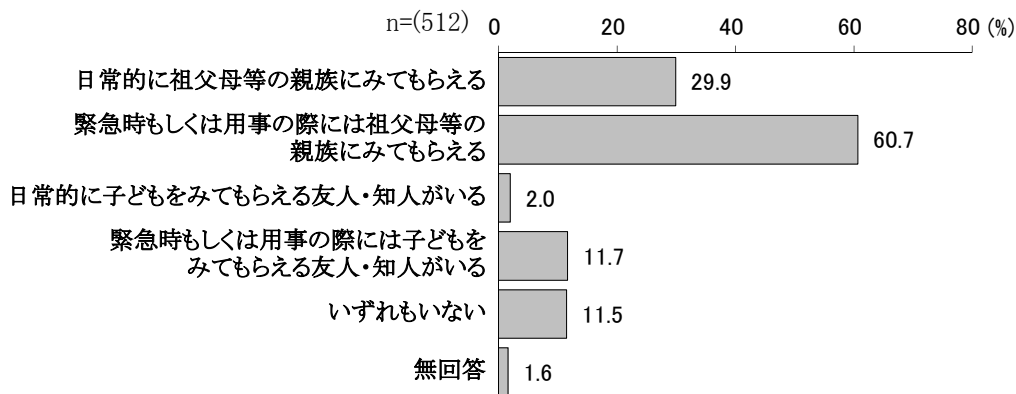
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方として、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。



子育て（教育を含む）を主にしている人は、「父母ともに」55.3%が最も高く、以下「主に母親」43.2%、「主に祖父母」1.2%となっています。

（8）子どもをみてもらえる親族・知人の有無

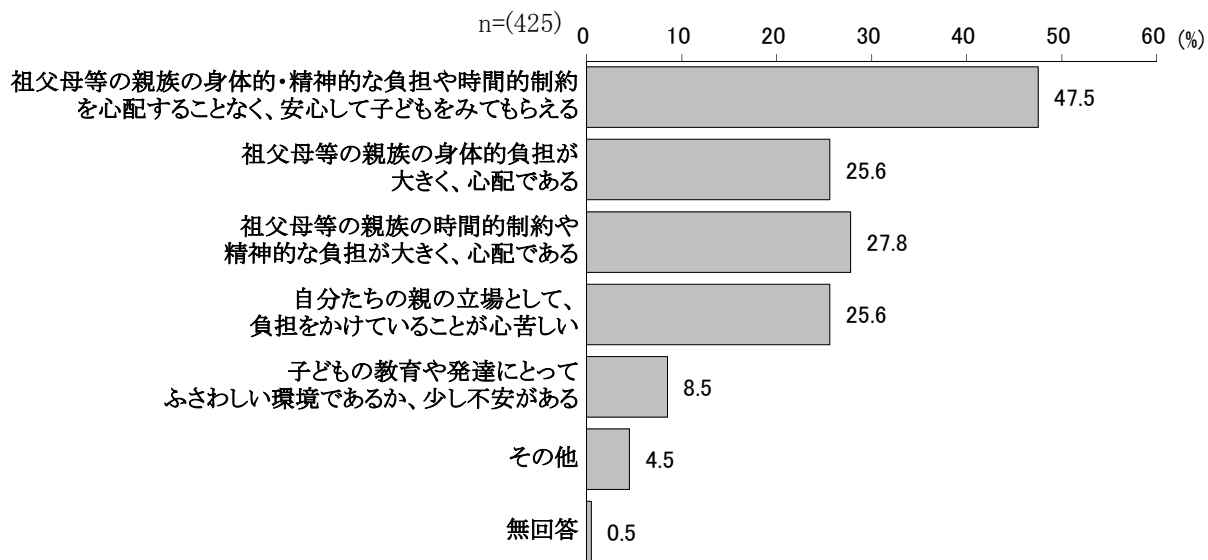
問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



子どもを日常的にみてもらえる親族・知人の有無では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」60.7%が最も高く、以下「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」29.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」11.7%となっています。

(9) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について

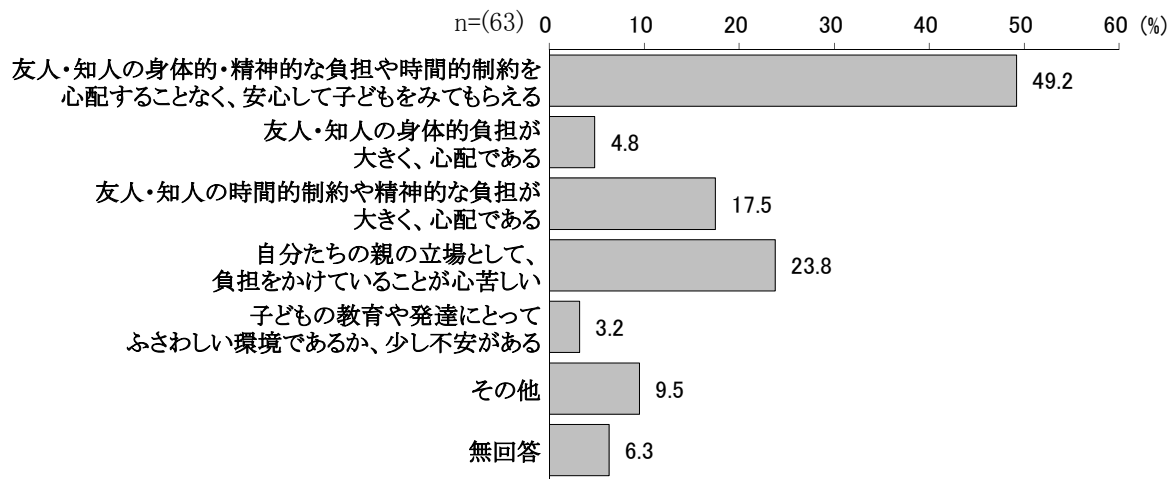
問7-1 問7で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」47.5%が最も高く、以下「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」27.8%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」25.6%、「自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」25.6%となっています。

(10) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況について

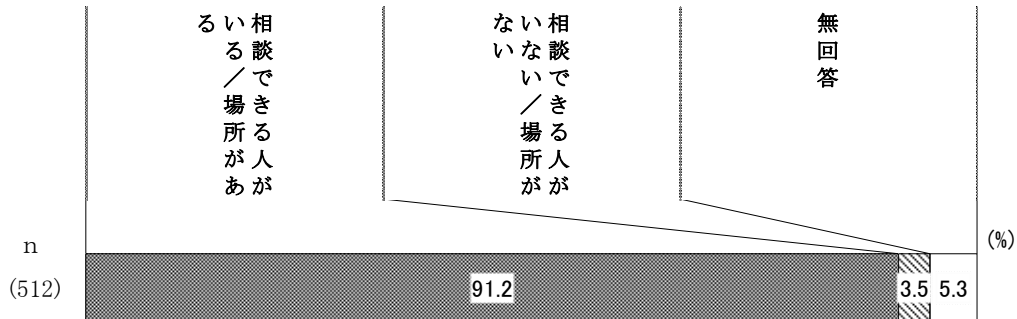
問7-2 問7で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選ばれた方にお伺いします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお伺いします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」49.2%が最も高く、以下「自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」23.8%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」17.5%となっています。

(11) 子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人及び場所の有無

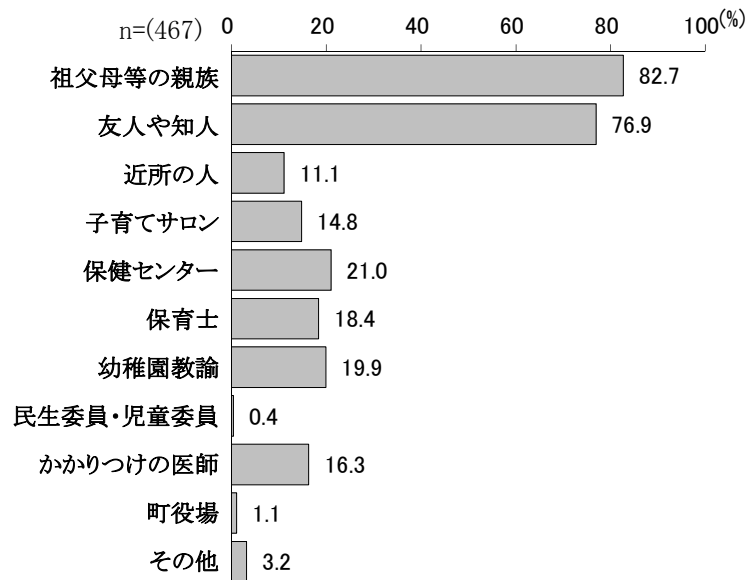
問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人及び相談場所の有無では、「相談できる人がある／場所がある」91.2%、「相談できる人がいない／場所がない」3.5%となっています。

(12) 子育て（教育を含む）に関する相談先

問8-1 問8で「相談できる人がある／場所がある」に○をつけた方にお伺いします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

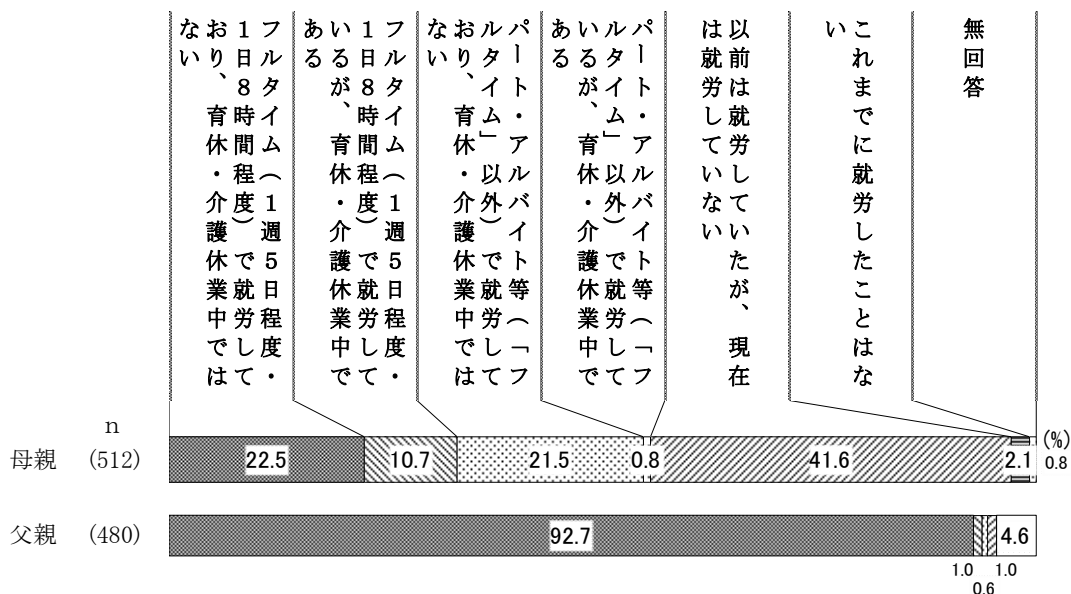


子育て（教育を含む）に関する相談先では、「祖父母等の親族」82.7%が最も高く、以下「友人や知人」76.9%、「保健センター」21.0%となっています。

2. 保護者の就労状況

（1）保護者の就労状況

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をお伺いします。（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。



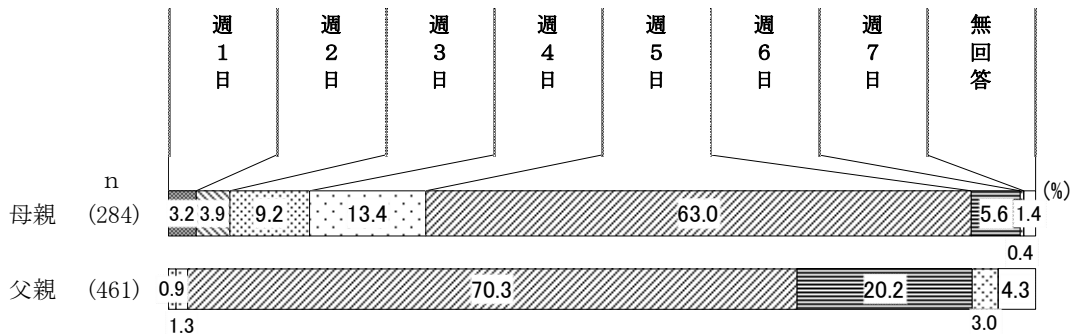
母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」41.6%が最も高く、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」22.5%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」21.5%となっています。

父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」92.7%が最も高くなっています。

（2）就労日数と就労時間

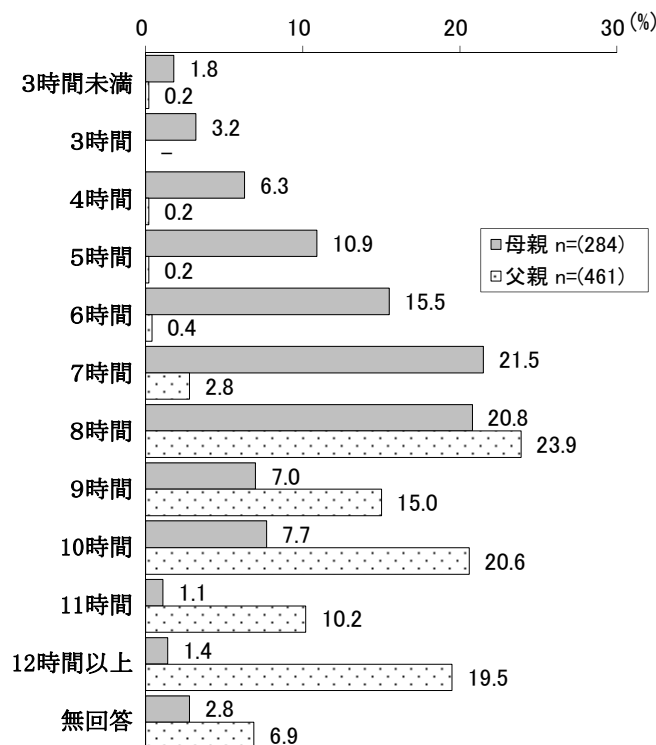
問9-1 問9の（1）（2）で就労しているに○をつけた方にお伺いします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を枠内に数字でご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてご記入ください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。



母親では、「週5日」63.0%が最も高く、以下「週4日」13.4%となっています。父親では、「週5日」70.3%が最も高く、以下「週6日」20.2%となっています。

【就労時間】



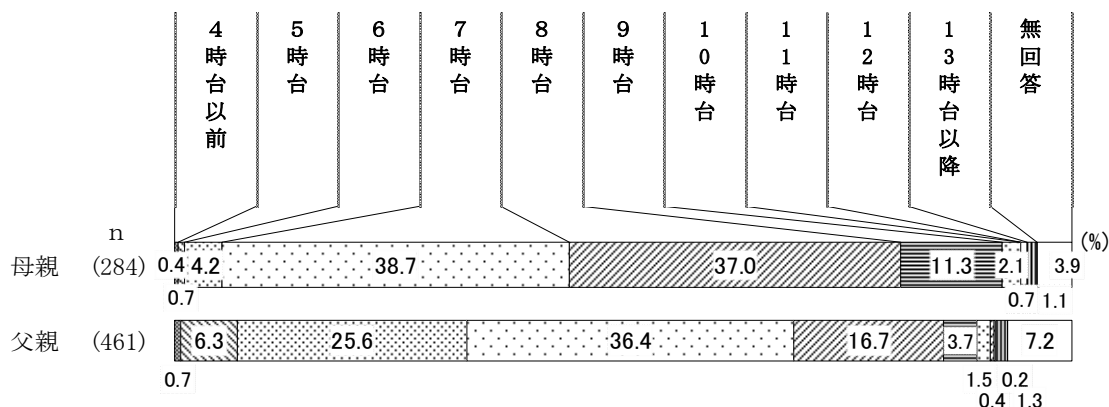
母親では、「7時間」21.5%が最も高く、以下「8時間」20.8%、「6時間」15.5%となっています。

父親では、「8時間」23.9%が最も高く、以下「10時間」20.6%、「12時間以上」19.5%となっています。

（3）保護者の外出時刻と帰宅時刻

問9-2 問9の（1）（2）で就労しているに○をつけた方にお伺いします。家を出る時刻と帰宅時刻を枠内に数字でご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

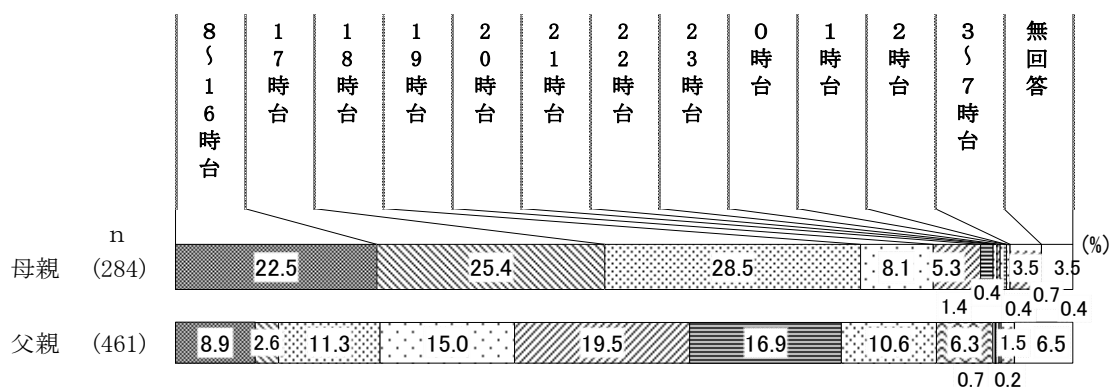
【家を出る時間】



母親では、「7時台」38.7%が最も高く、以下「8時台」37.0%、「9時台」11.3%となっています。

父親では、「7時台」36.4%が最も高く、以下「6時台」25.6%、「8時台」16.7%となっています。

【帰宅時間】

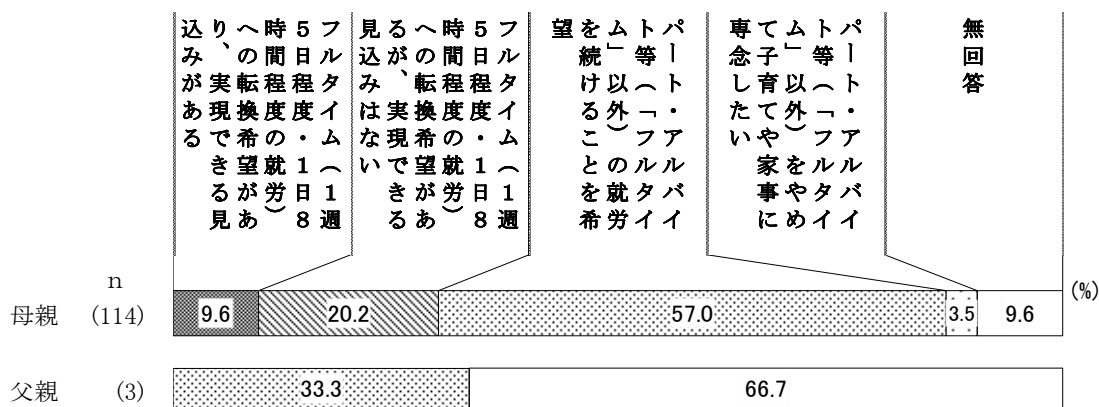


母親では、「18時台」28.5%が最も高く、以下「17時台」25.4%、「8～16時台」22.5%となっています。

父親では、「20時台」19.5%が最も高く、以下「21時台」16.9%、「19時台」15.0%となっています。

（4）フルタイム就労への転換希望

問9-3 問9の（1）（2）でパート・アルバイト等で就労している○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

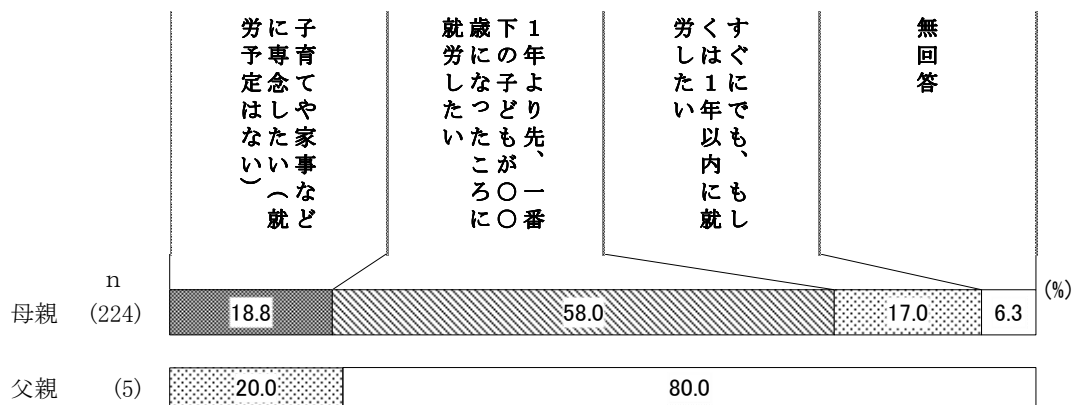


母親では、「パート・アルバイト等（「フルタイム以外）の就労を続けることを希望」57.0%が最も高く、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」20.2%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」9.6%となっています。

父親では、「パート・アルバイト等（「フルタイム以外）の就労を続けることを希望」33.3%が最も高くなっています。

（5）就労希望と希望する就労形態

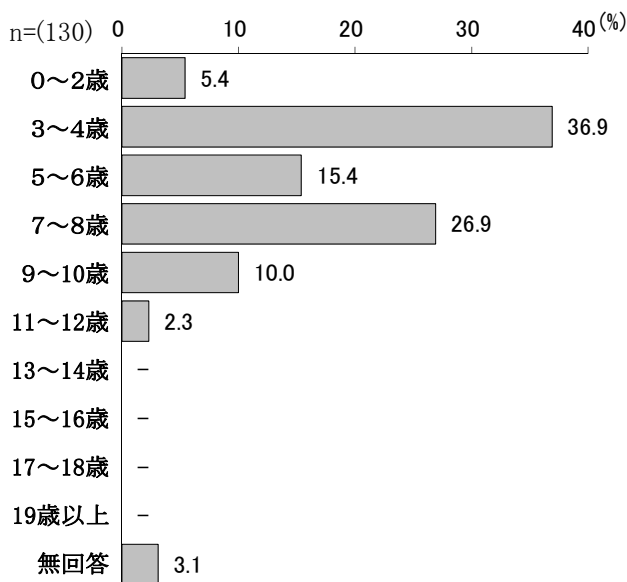
問9-4 問9の（1）（2）で就労していない（したことがない）に○をつけた方にお伺いします。就労希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれに1つだけ○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。



母親では、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい」58.0%が最も高く、以下「子育てや家事などに専念したい（就労予定はない）」18.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」17.0%、となっています。

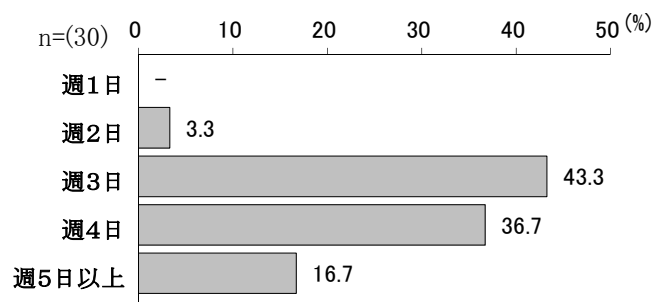
父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」20.0%が最も高くなっています。

【末子の年齢による就労意向（母親）】



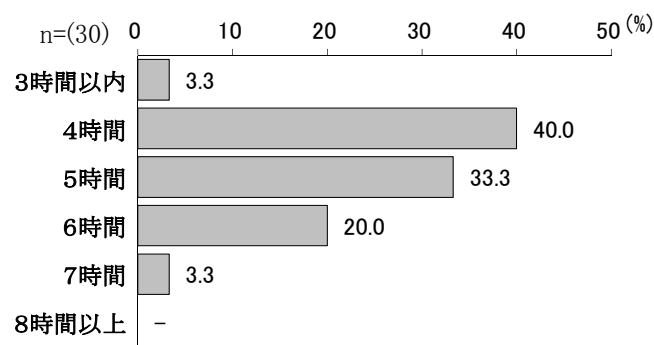
母親では、「3～4歳」36.9%が最も高く、以下「7～8歳」26.9%、「5～6歳」15.4%、となっています。

【希望する就労日数（母親）】



母親では、「週3日」43.3%、「週4日」36.7%、「週5日以上」16.7%となっています。

【希望する就労時間（1日当たり）（母親）】

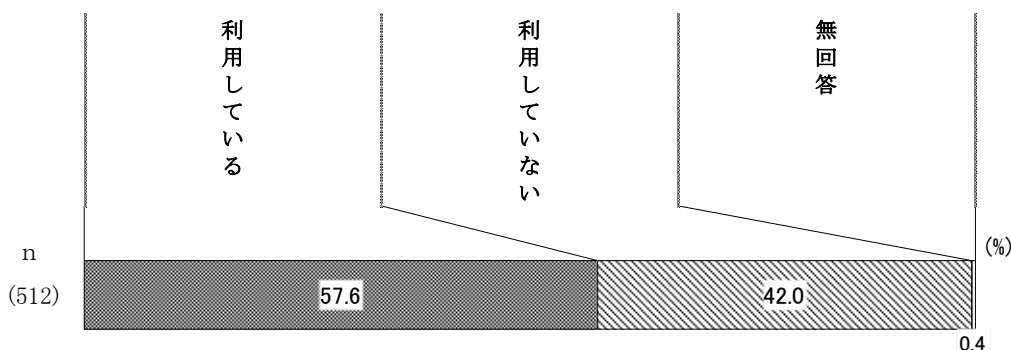


母親では、「4時間」40.0%が最も高く、以下「5時間」33.3%、「6時間」20.0%となっています。

3. 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

（1）定期的な教育・保育事業の利用状況

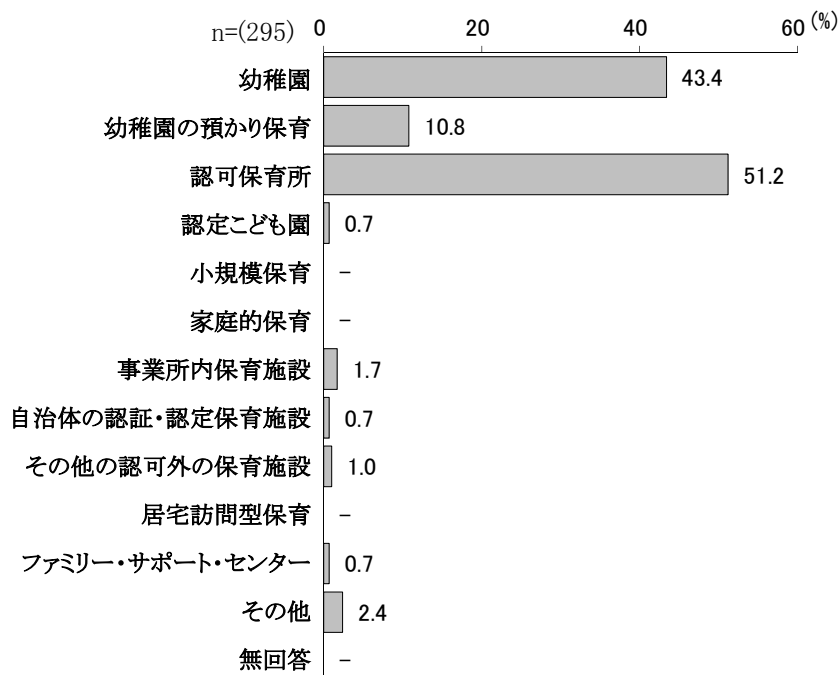
問10 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



定期的な教育・保育事業の利用有無では、「利用している」57.6%、「利用していない」42.0%となっています。

（2）定期的にご利用している教育・保育事業の種類

問10-1 問10で「利用している」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

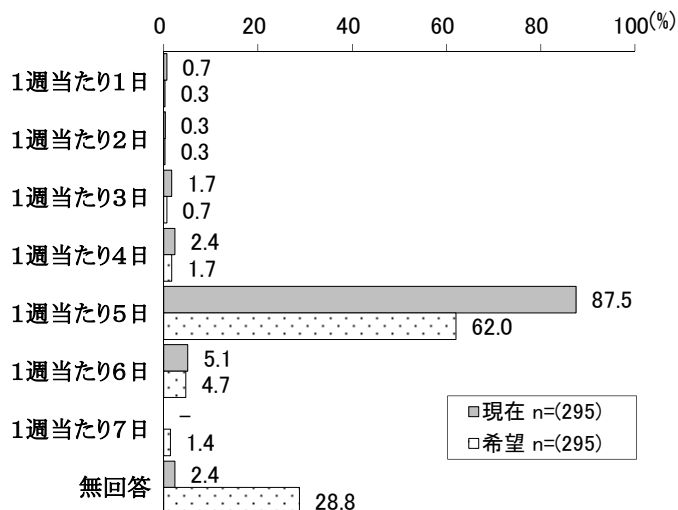


平日の教育・保育事業の利用施設では、「認可保育所」51.2%が最も高く、以下「幼稚園」43.4%、「幼稚園の預かり保育」10.8%となっています。

（3）定期的に利用している教育・保育事業の現在の状況と今後の希望

問10-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、どのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時～何時まで）かを、枠内に数字でご記入ください。

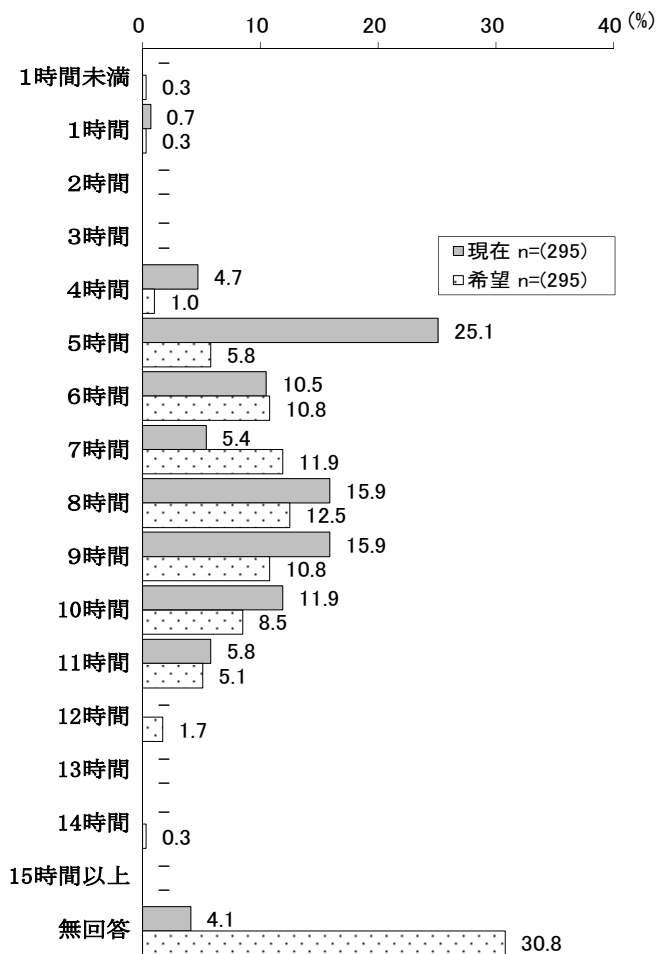
【利用日数】



定期的に利用している教育・保育事業について、現在／利用日数では、「1週あたり5日」87.5%が最も高く、以下「1週あたり6日」5.1%、「1週あたり4日」2.4%となっています。希望／利用日数では、「1週あたり5日」62.0%が最も高く、以下「1週あたり6日」4.7%、「1週あたり4日」1.7%となっています。

第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

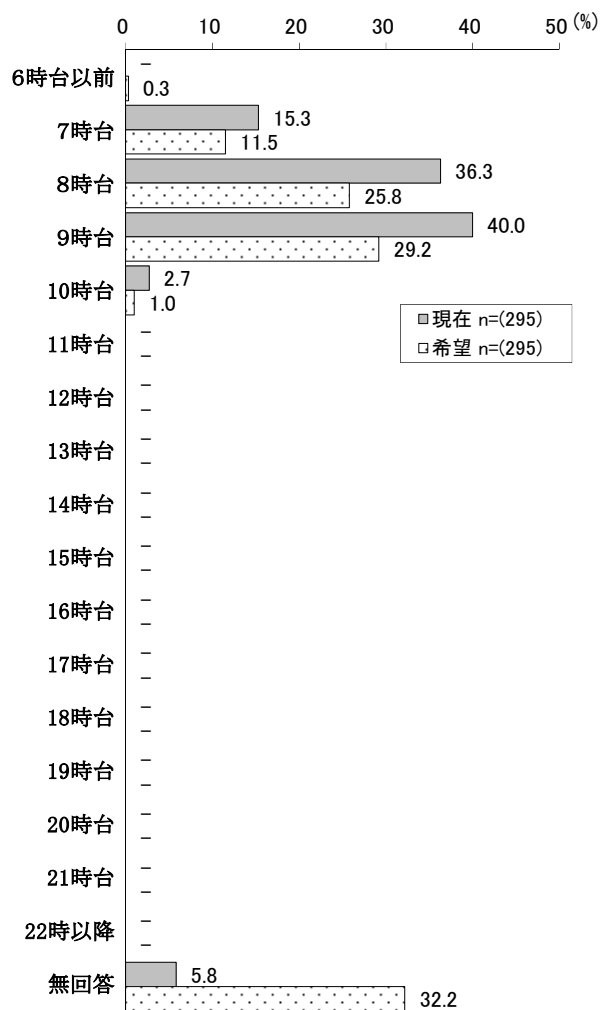
【利用時間】



定期的に利用している教育・保育事業について、現在／利用時間では、「5時間」25.1%が最も高く、「8時間」15.9%、「9時間」15.9%となっています。

希望／利用時間では、「8時間」12.5%が最も高く、以下「7時間」11.9%、「6時間」10.8%となっています。

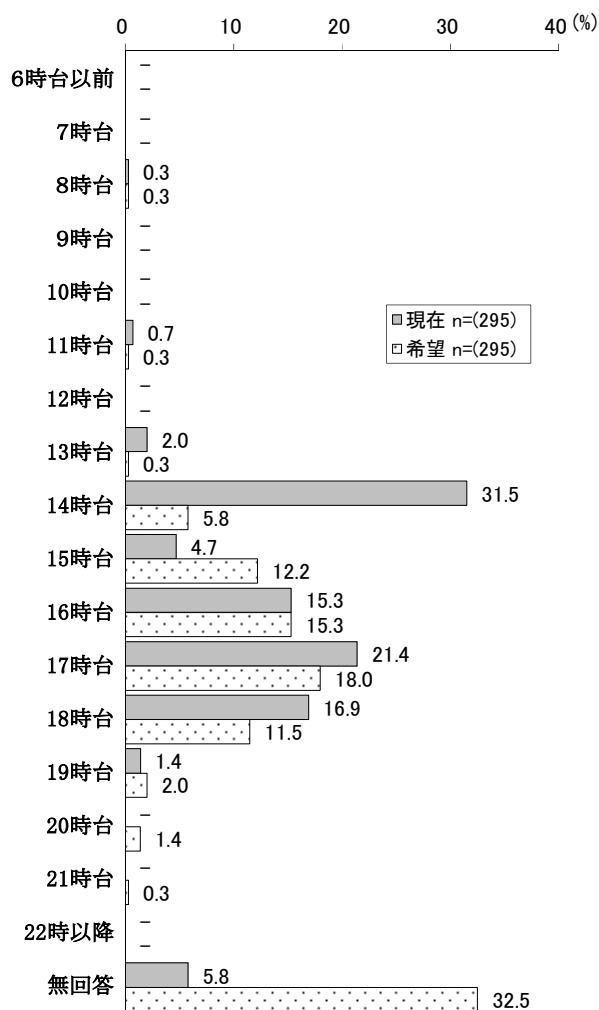
【利用開始時間】



定期的に利用している教育・保育事業について、現在／利用開始時間では、「9時台」40.0%が最も高く、「8時台」36.3%、「7時台」15.3%となっています。

希望／利用開始時間では「9時台」29.2%が最も高く、以下「8時台」25.8%、「7時台」11.5%となっています。

【利用終了時間】

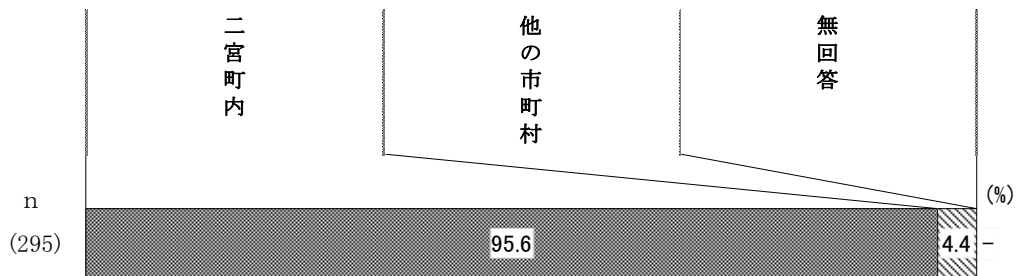


定期的に利用している教育・保育事業について、現在／利用終了時間では、「14時台」31.5%が最も高く、以下「17時台」21.4%、「18時台」16.9%となっています。

希望／利用終了時間では、「17時台」18.0%が最も高く、以下「16時台」15.3%、「15時台」12.2%となっています。

（4）現在利用している教育・保育事業の実施場所

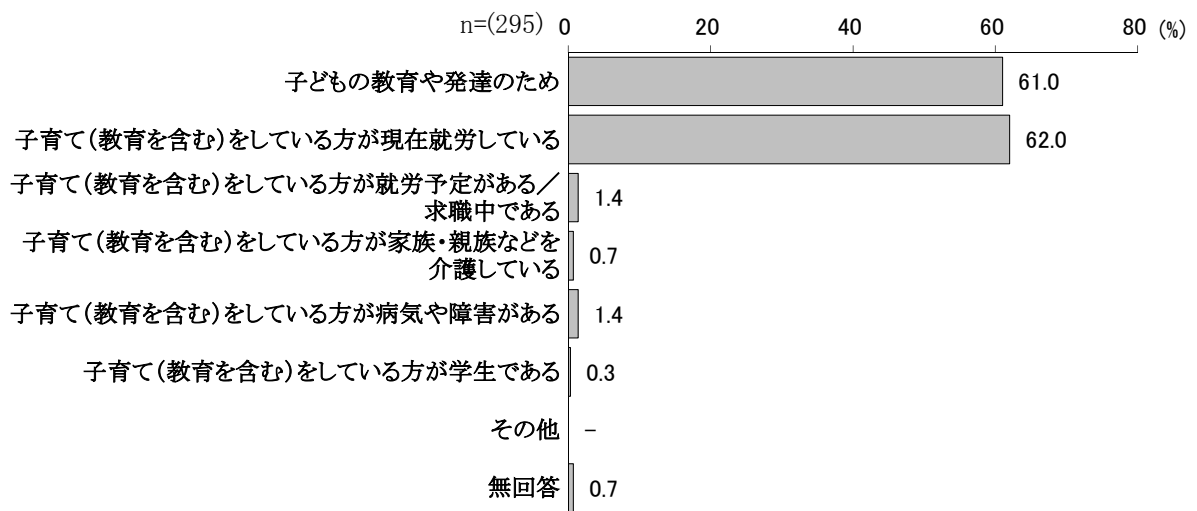
問10-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてお伺いします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



利用している教育・保育事業の実施場所では、「二宮町内」95.6%となっています。

（5）定期的に教育・保育事業を利用している理由

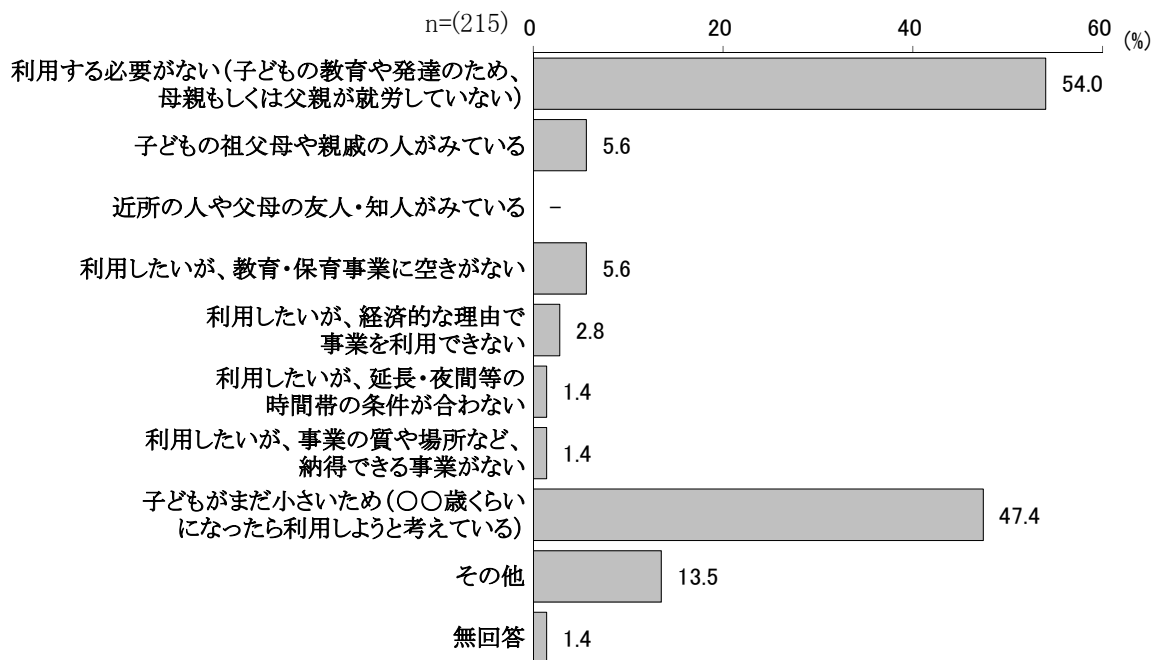
問10-4 平日、定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてお伺いします。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



定期的に教育・保育事業を利用している理由では、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」62.0%が最も高く、以下「子どもの教育や発達のため」61.0%となっています。

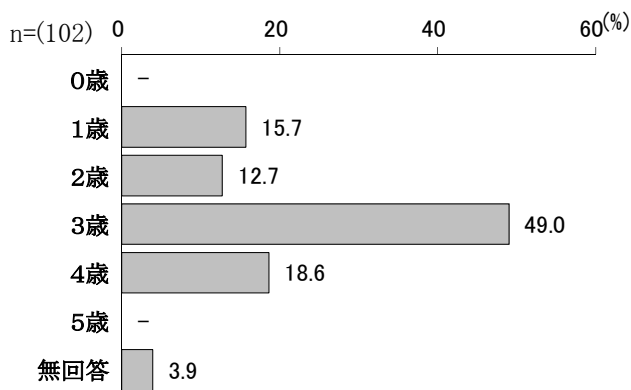
（6）定期的に教育・保育事業を利用していない理由

問10-5 問10で「利用していない」に○をつけた方にお伺いします。利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、該当する枠内には数字をご記入ください。



定期的に教育・保育事業を利用していない理由では、「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、母親もしくは父親が就労しない）」54.0%が最も高く、以下「子どもがまだ小さいため（〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」47.4%となっています。

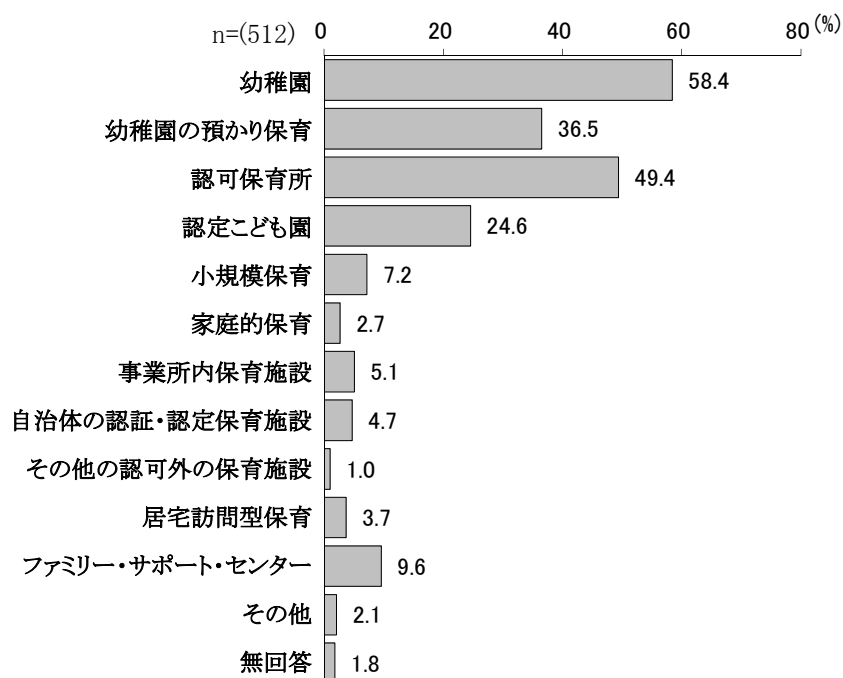
【定期的な教育・保育事業の利用開始年齢】



定期的な教育・保育事業の利用開始年齢では、「3歳」49.0%が最も高く、以下「4歳」18.6%、「1歳」15.7%となっています。

（7）定期的に利用したい教育・保育事業

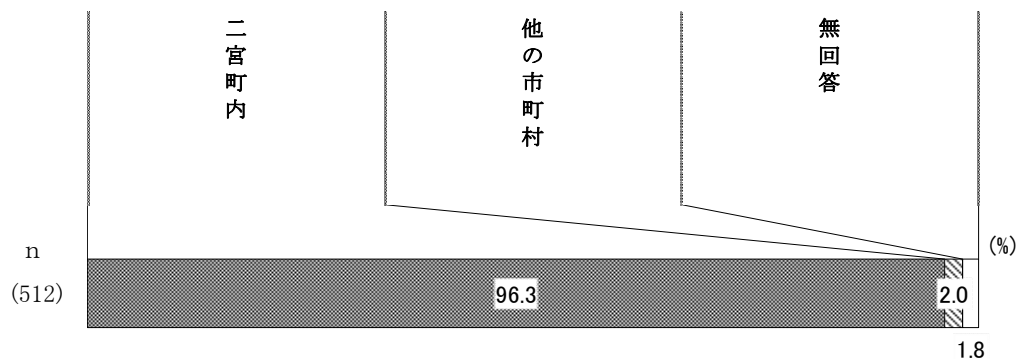
問11 すべての方にお伺いします。現在、利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



平日の教育・保育事業の利用意向では、「幼稚園」58.4%が最も高く、以下「認可保育所」49.4%、「幼稚園の預かり保育」36.5%、「認定こども園」24.6%となっています。

（8）定期的な利用したい教育・保育事業の場所

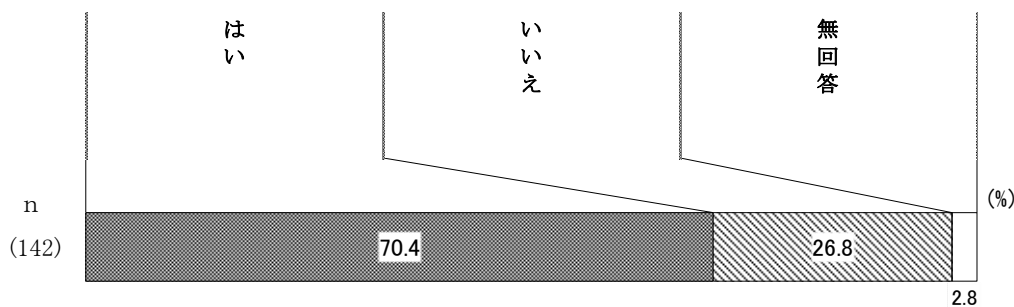
問11-1 問11で教育・保育事業を利用したい場所についてお伺いします。あてはまる番号1つだけ○をつけてください。



教育・保育事業を利用したい場所では、「二宮町内」96.3%、「他の市町村」2.0%となっています。

（9）幼稚園（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用希望

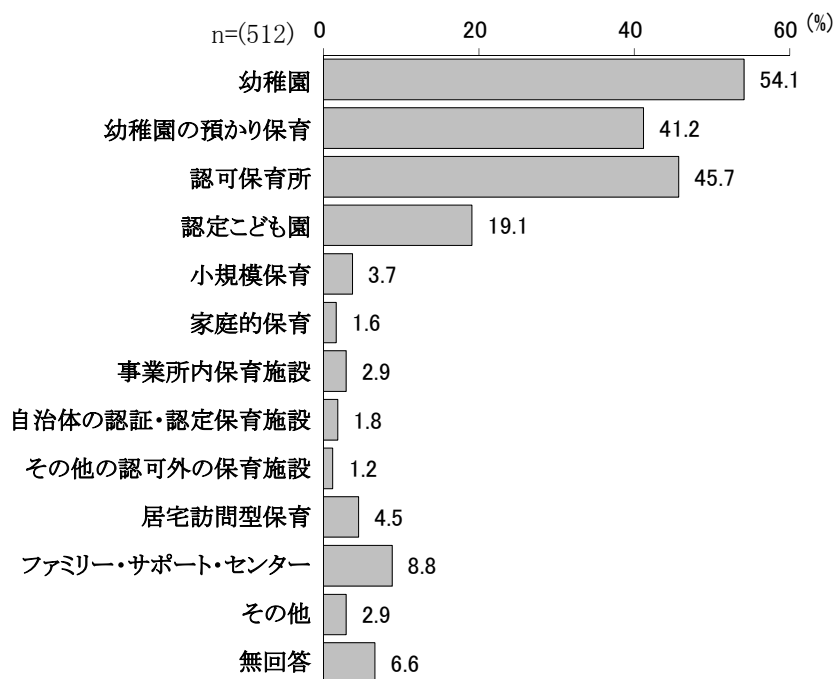
問11-2 問11で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつそれ以外の各教育・保育事業にも○を付けた方にお伺いします。特に幼稚園（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。



幼稚園の利用を強く希望するかでは、「はい」70.4%、「いいえ」26.8%となっています。

(10) 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、定期的に利用したいサービス

問12 国では、2019年10月から実施する消費税増税分を使って、幼児教育・保育の無償化を実施する予定です。幼児教育・保育の無償化が実現したら、現在利用している、利用していないにかかわらず、希望するサービスが変わりますか。無償化後に利用を希望するサービスに○を3つまでつけてください。

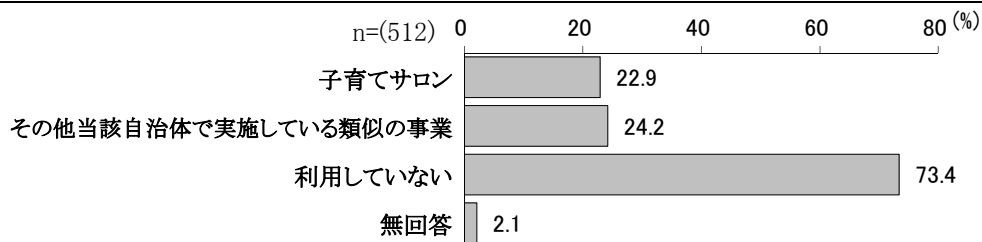


幼児教育・保育の無償化が実施された場合、定期的に利用したいサービスでは、「幼稚園」54.1%が最も高く、以下「認可保育所」45.7%、「幼稚園の預かり保育」41.2%となっています。

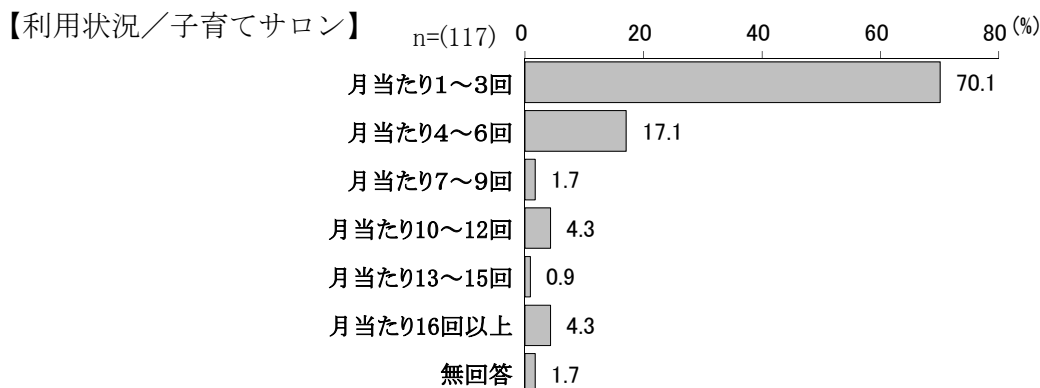
4. 地域の子育て支援事業の利用状況

（1）地域子育て支援拠点事業の利用状況

問13 あて名のお子さんは、現在、子育てサロン（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、百合が丘と栄通りにあります）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を枠内に数字でご記入ください。

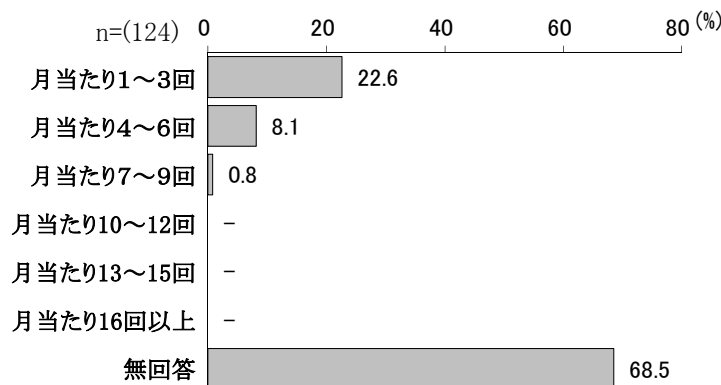


地域子育て支援拠点事業の利用状況では、「利用していない」73.4%が最も高く、以下「その他当該自治体で実施している類似の事業」24.2%、「子育てサロン」22.9%となっています。



子育てサロンの利用状況では、「月当たり1～3回」70.1%が最も高く、以下「月当たり4～6回」17.1%となっています。

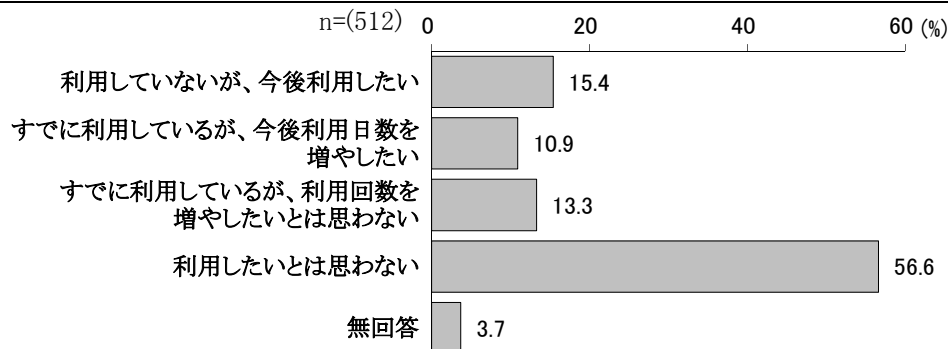
【利用状況／その他当該自治体で実施している類似の事業】



その他当該自治体で実施している類似の事業の利用状況では、「月当たり1～3回」22.6%が最も高く、以下「月当たり4～6回」8.1%となっています。

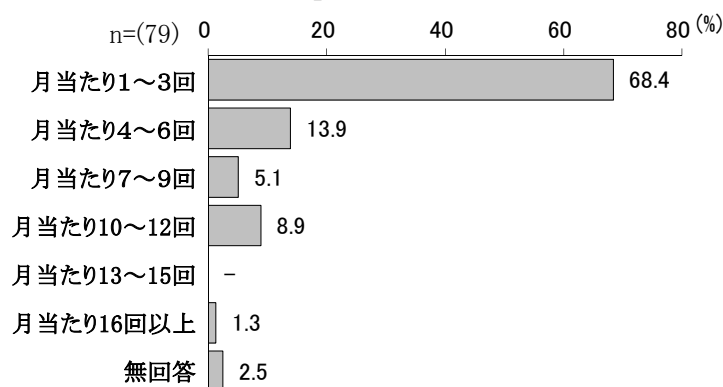
(2) 子育てサロンの利用意向

問14 子育てサロンについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を枠内には数字でご記入ください。



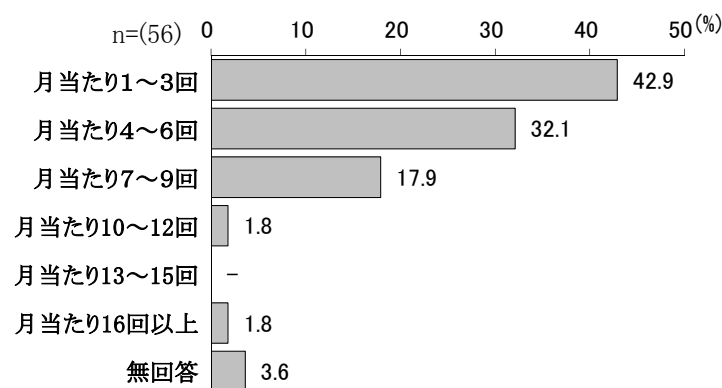
地域子育て支援拠点事業の利用意向では、「利用していないが、今後利用したい」15.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」10.9%となっている。一方、「利用したいとは思わない」56.6%と高くなっています。

【利用意向／利用していないが、今後利用したい】



利用していないが、今後利用したい人の頻度では、「月当たり1～3回」68.4%が最も高く、以下「月当たり4～6回」13.9%となっています。

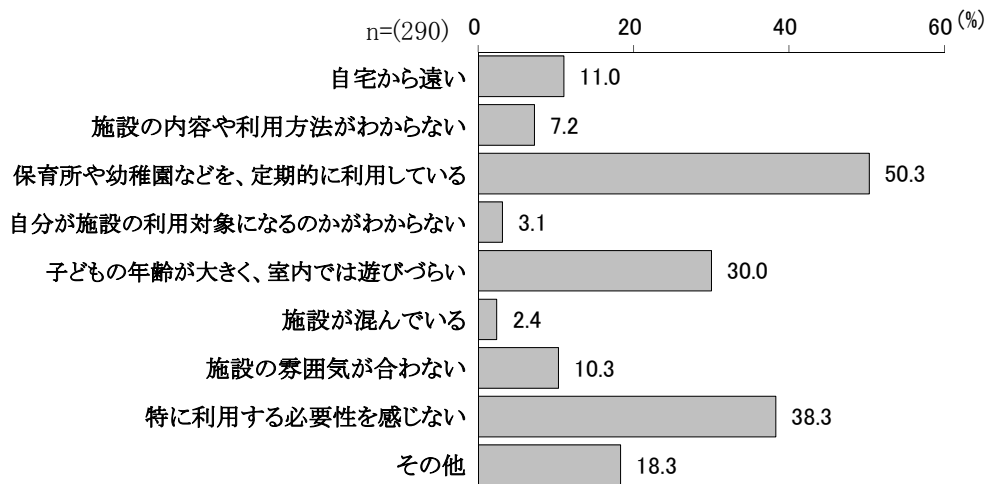
【利用意向／すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】



すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の頻度では、「月当たり1～3回」42.9%が最も高く、以下「月当たり4～6回」32.1%、「月当たり7～9回」17.9%となっています。

（3）子育てサロンを利用したいとは思わない理由

問14-1 問14で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にお伺いします。利用したいと思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

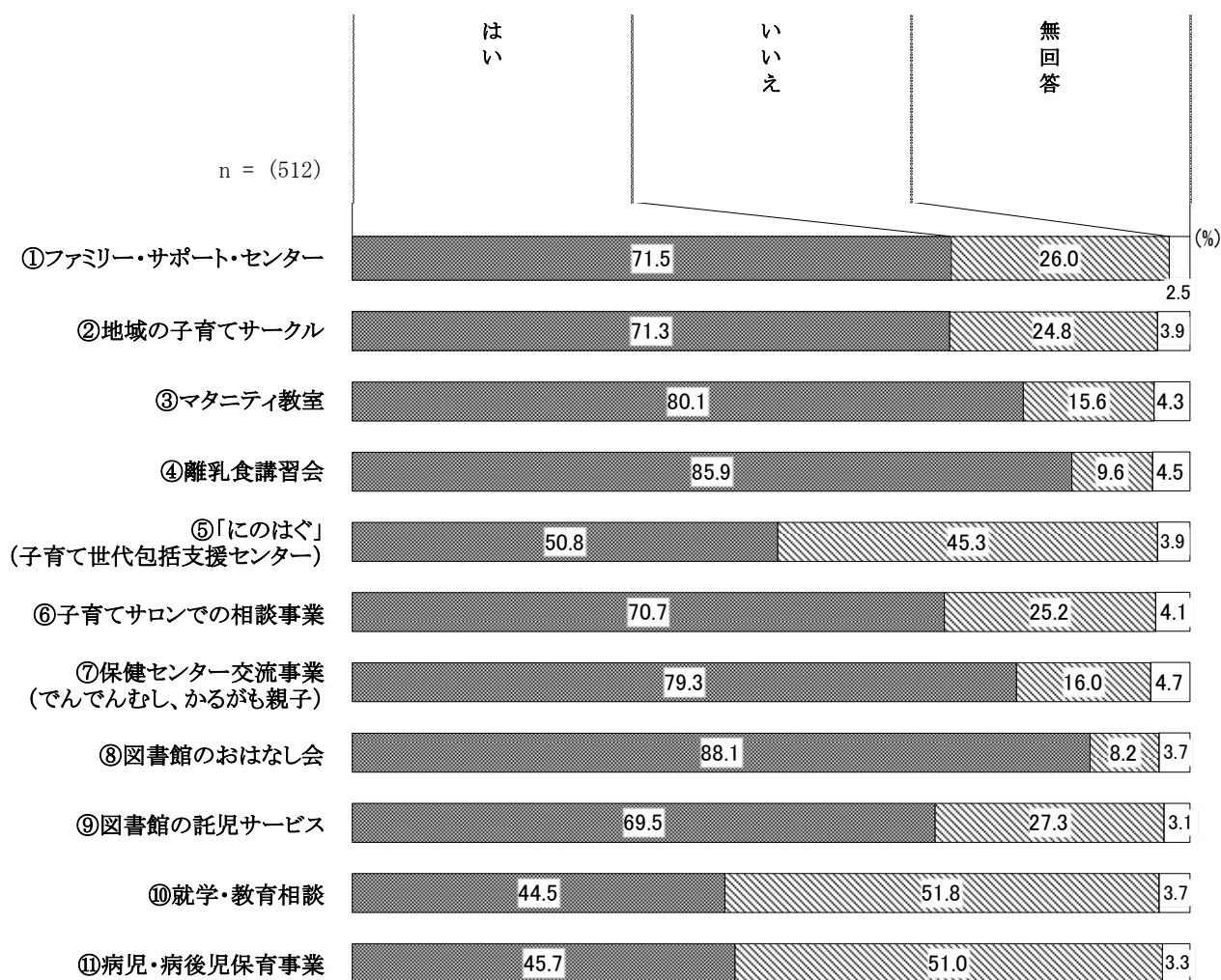


子育てサロンを利用したいと思わない理由では、「保育所や幼稚園などを、定期的に利用している」50.3%が最も高く、以下「特に利用する必要性を感じない」38.3%、「子どもの年齢が大きく、室内では遊びづらい」30.0%となっています。

（4）各事業の周知、利用経験、利用意向

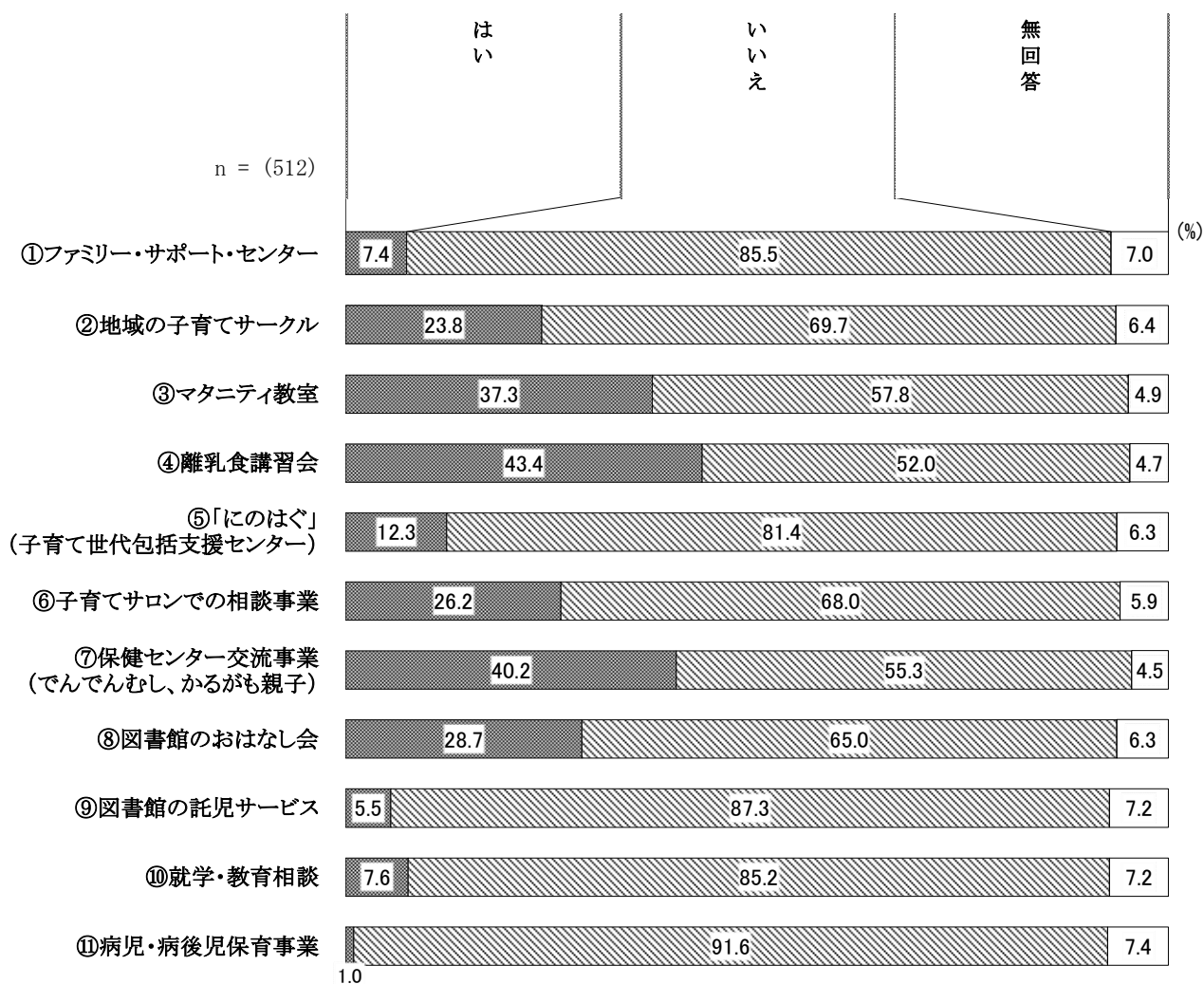
問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したい事業についてお伺いします。各事業ごとに、“A 知っている”、“B これまでに利用したことがある”、“C 今後利用したい”について、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A 知っている】



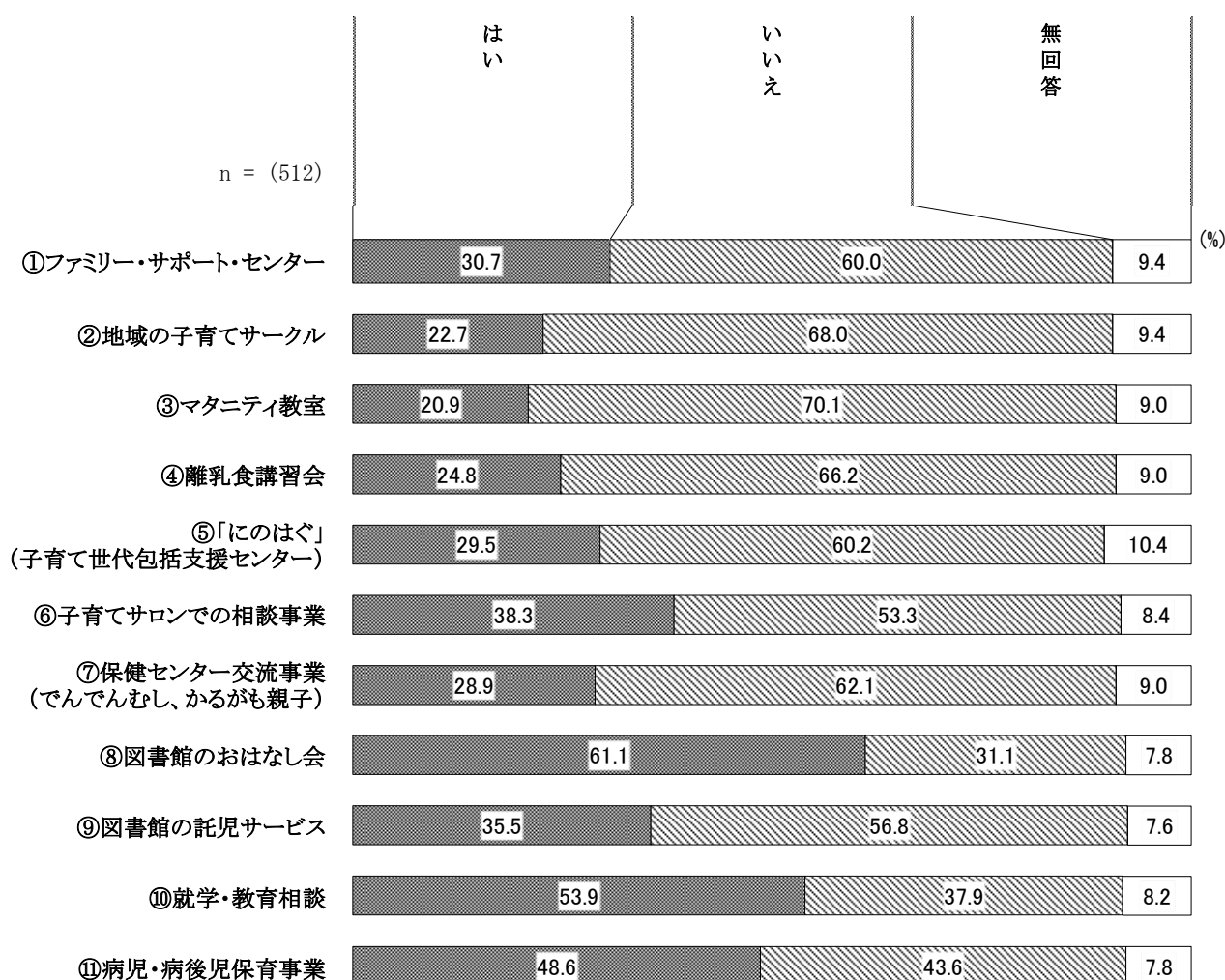
各事業で知っているものは、「図書館のおはなし会」88.1%が最も高く、次いで「離乳食講習会」85.9%、「マタニティ教室」80.1%となっています。一方、知らない事業は、「就学・教育相談」51.8%が最も高く、次いで「病児・病後児保育事業」が51.0%、「にのはぐ」（子育て世代包括支援センター）が45.3%となっています。

【B これまでに利用したことがある】



各事業でこれまでに利用したことがあるものは、「離乳食講習会」43.4%が最も高く、以下「保健センター交流事業（でんでんむし、かるがも親子）」40.2%、「マタニティ教室」37.3%となっています。一方、利用したことがない事業は、「病児・病後児保育事業」91.6%が最も高く、以下「図書館の託児サービス」87.3%、「ファミリー・サポート・センター」85.5%、「就学・教育相談」85.2%、「にのはぐ」（子育て世代包括支援センター）81.4%となっています。

【C 今後利用したい】



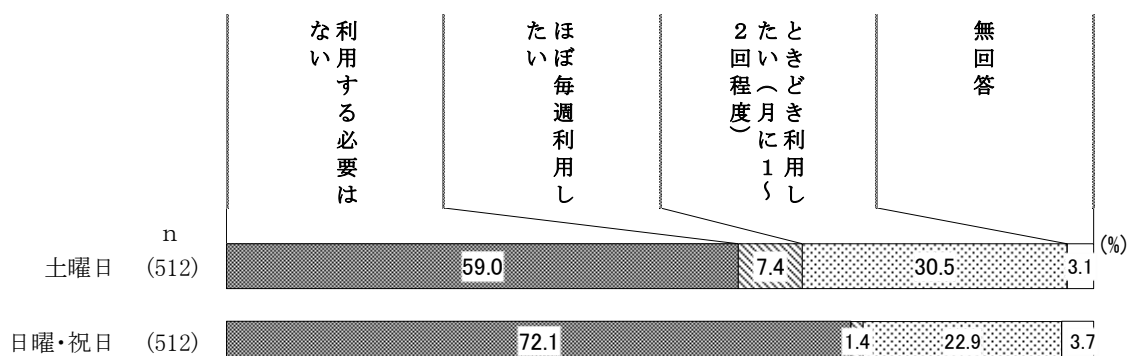
各事業で今後利用したい事業は、「図書館のおはなし会」61.1%が最も高く、以下「就学・教育相談」53.9%、「病児・病後児保育事業」48.6%となっています。一方、今後利用したいと思わない事業は、「マタニティ教室」70.1%が最も高く、以下「地域の子育てサークル」が68.0%、「離乳食講習会」66.2%となっています。

5. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

（1）土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問16 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、枠内にご記入ください。（数字は一枠に一字）なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

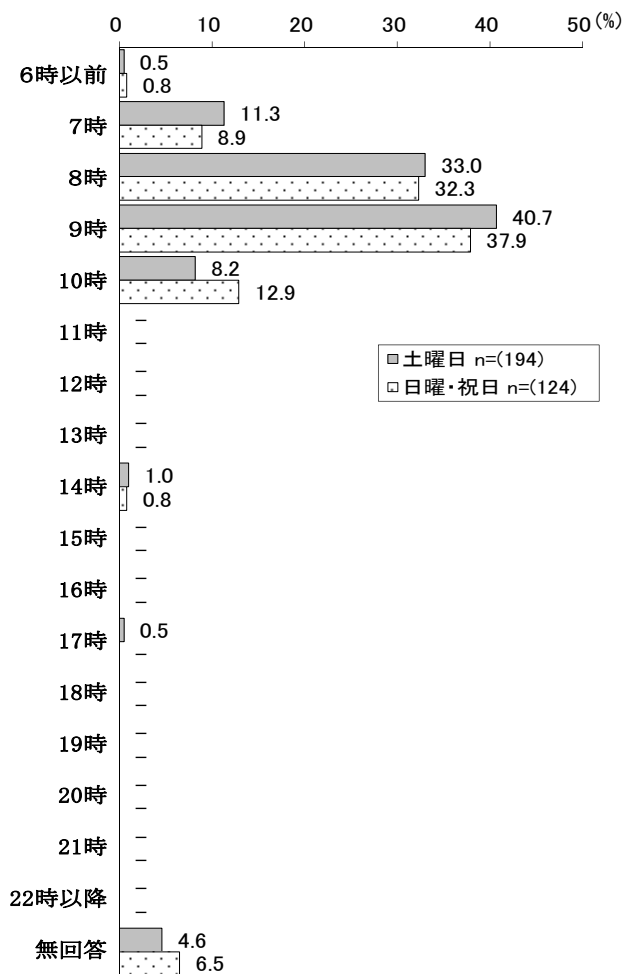
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。



定期的な教育・保育事業の利用希望について、土曜日では、「ときどき利用したい（月に1～2回程度）」30.5%、「ほぼ毎週利用したい」7.4%と利用希望は37.9%となっています。一方、「利用する必要はない」59.0%となっています。

日曜・祝日では、「ときどき利用したい（月に1～2回程度）」22.9%、「ほぼ毎週利用したい」1.4%と利用希望は24.3%となっています。一方、「利用する必要はない」72.1%となっています。

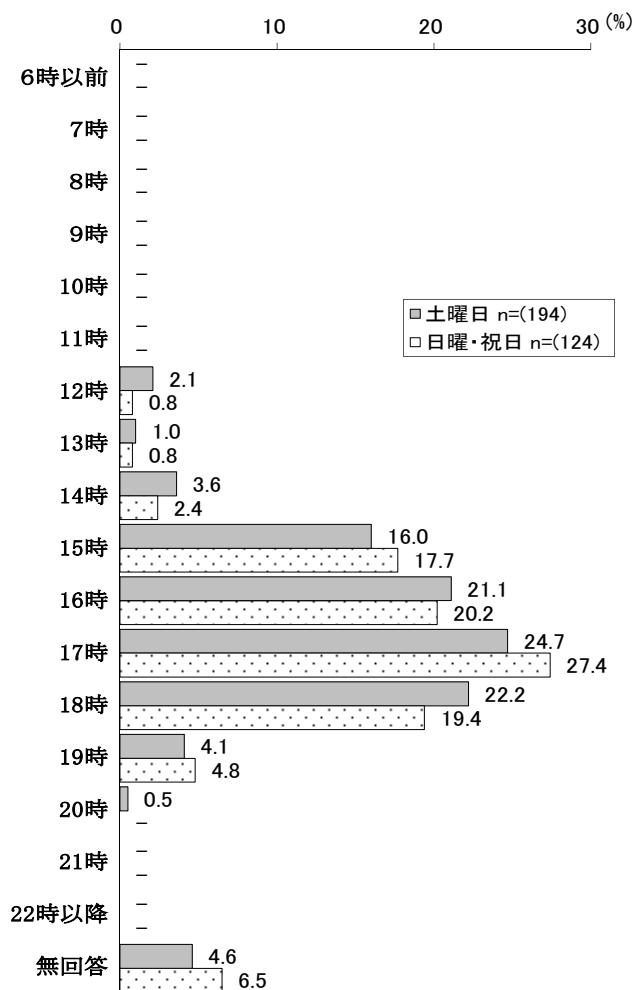
【利用希望開始時間】



利用希望開始時間について土曜日では、「9時」40.7%が最も高く、以下「8時」33.0%、「7時」11.3%となっています。

日曜・祝日では、「9時」37.9%が最も高く、以下「8時」32.3%、「10時」12.9%となっています。

【利用希望終了時間】

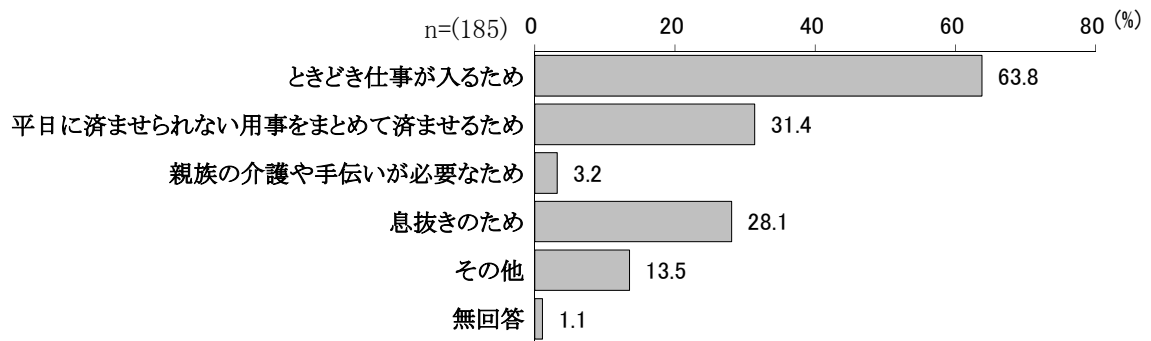


利用希望終了時間について土曜日では、「17時」24.7%が最も高く、以下「18時」22.2%、「16時」21.1%となっています。

日曜・祝日では、「17時」27.4%が最も高く、以下「16時」20.2%、「18時」19.4%となっています。

（2）土曜日、日曜・祝日に月に1～2回程度利用したい理由

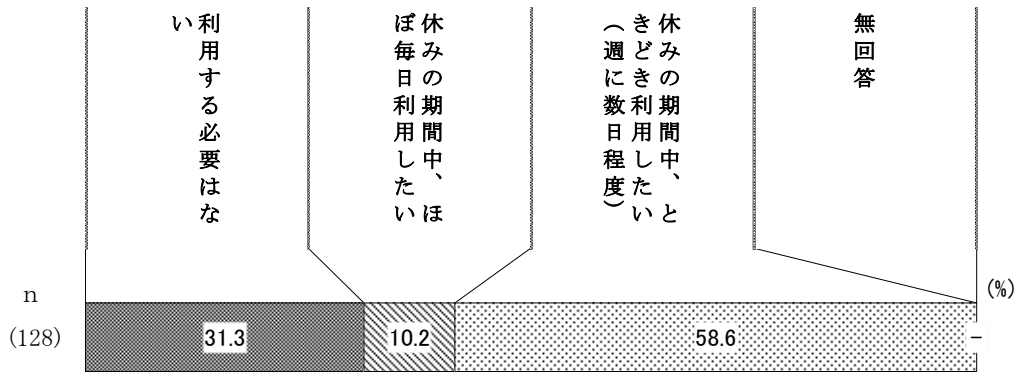
問16-1 問16の①土曜日または②日曜・祝日で、「ときどき利用したい」に○をつけた方にお伺いします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。



月に1～2回程度利用したい理由では、「ときどき仕事が入るため」63.8%が最も高く、以下「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」31.4%、「息抜きのため」28.1%となっています。

（3）長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）

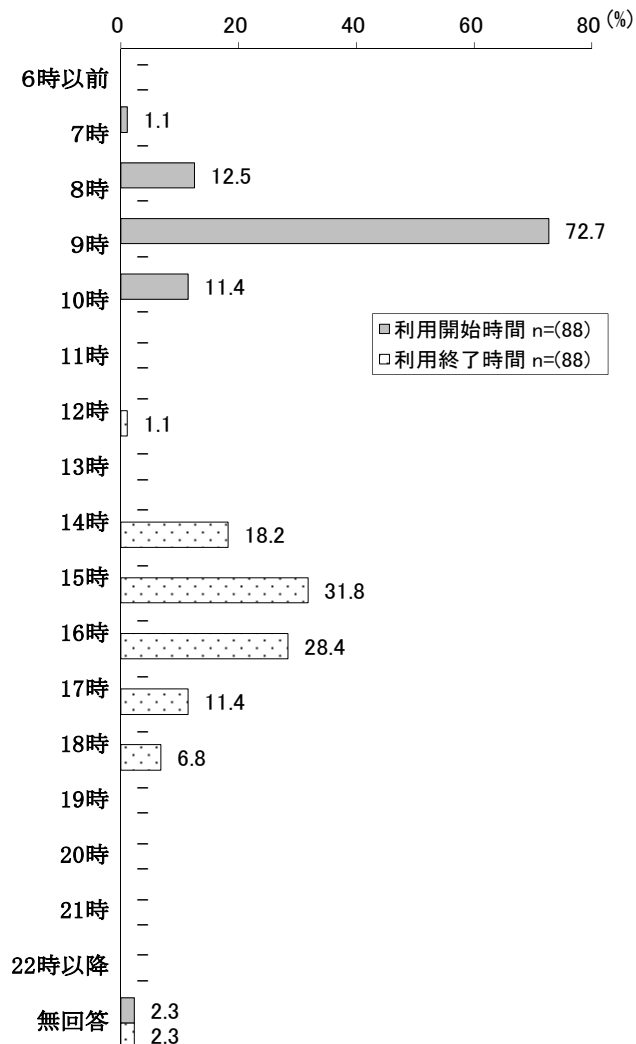
問17 「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を枠内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



幼稚園の長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用意向では、「休みの期間中、ときどき利用したい（週に数日程度）」58.6%、休みの期間中、ほぼ毎日利用したい10.2%と利用希望は68.8%となっています。一方、「利用する必要はない」31.3%となっています。

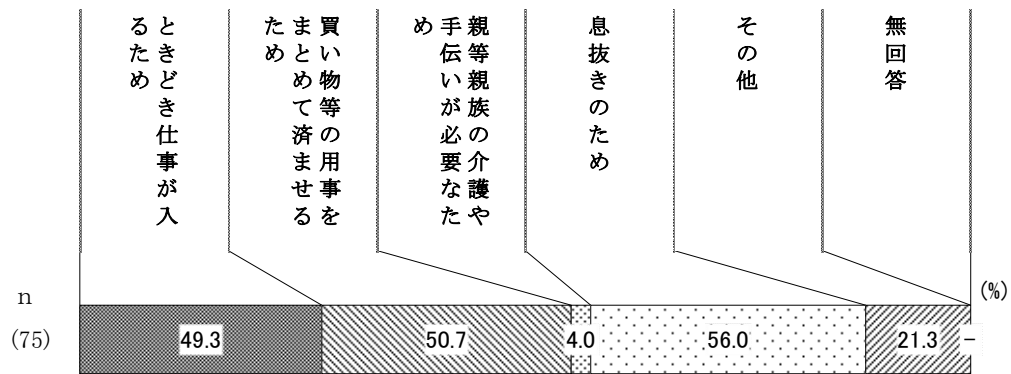
幼稚園の長期の休暇期間中の教育・保育の事業について、利用開始時間では、「9時」72.7%が最も高く、以下「8時」12.5%、「10時」11.4%となっています。

利用終了時間では、「15時」31.8%が最も高く、以下「16時」28.4%、「14時」18.2%となっています。



（4）長期休暇期間中の教育・保育事業を週に数日程度利用したい理由

問17-1 問17で「休みの期間中、ときどき利用したい（週に数日程度）」に○をつけた方にお伺いします。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

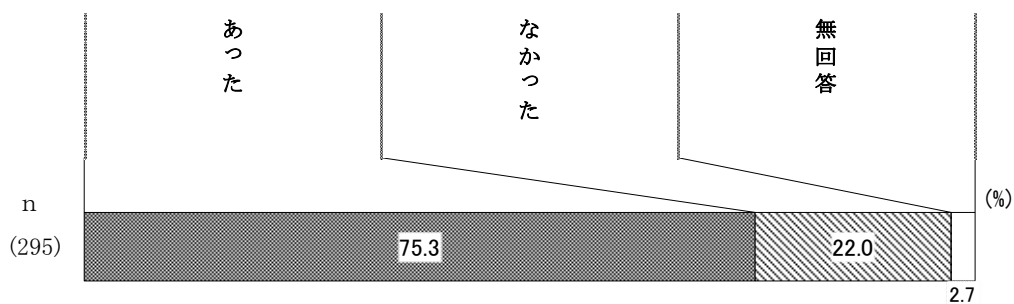


月に1～2回程度利用したい理由では、「息抜きのため」56.0%が最も高く、以下「買い物等の用事をまとめて済ませる」50.7%、「時々仕事が入るため」49.3%となっています。

6. 子どもの病気の際の対応

（1）子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

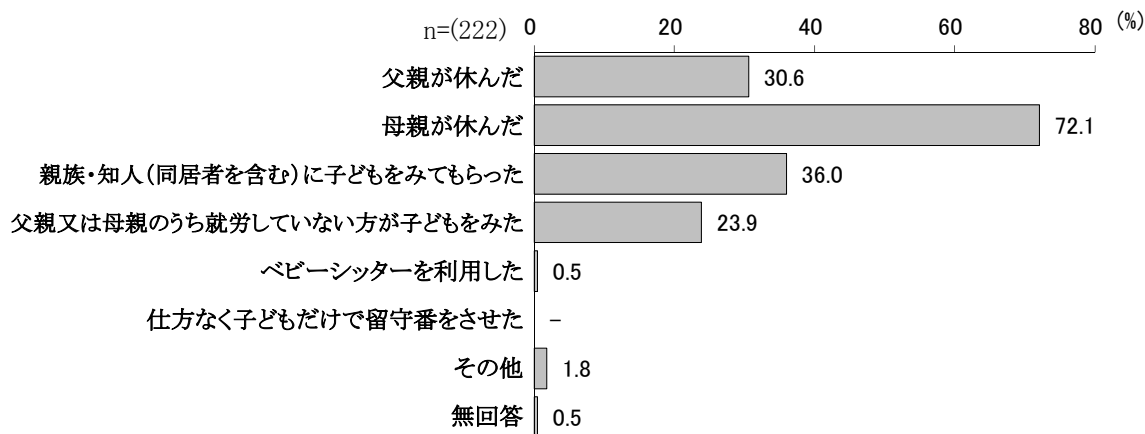
問18 あて名のお子さんを現在、幼稚園や保育所などに預けている方にお伺いします。該当しない方は問19へお進みください。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



この1年間に病気やケガで普段の事業を利用できなかったことでは、「あった」75.3%、「なかった」22.0%となっています。

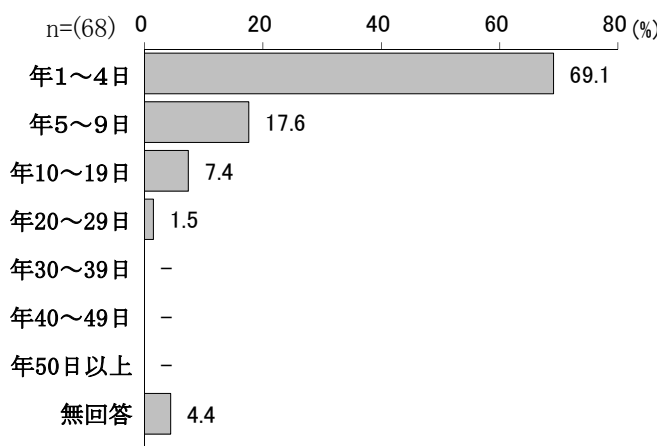
（2）子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法

問18-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）



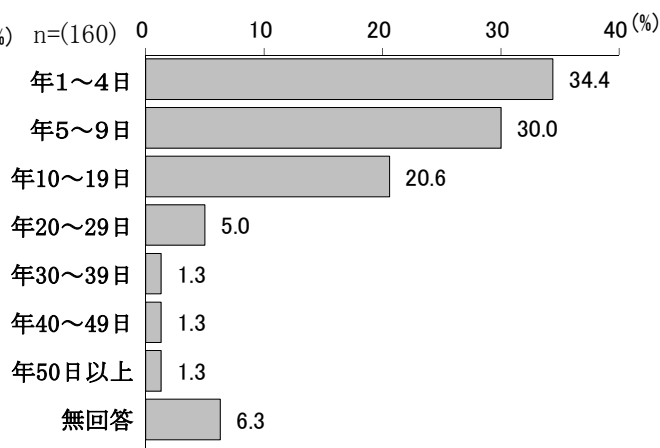
この1年間の病気やケガの時の対処方法では、「母親が休んだ」72.1%が最も高く、以下「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」36.0%、「父親が休んだ」30.6%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」23.9%となっています。

【1. 父親が休んだ】



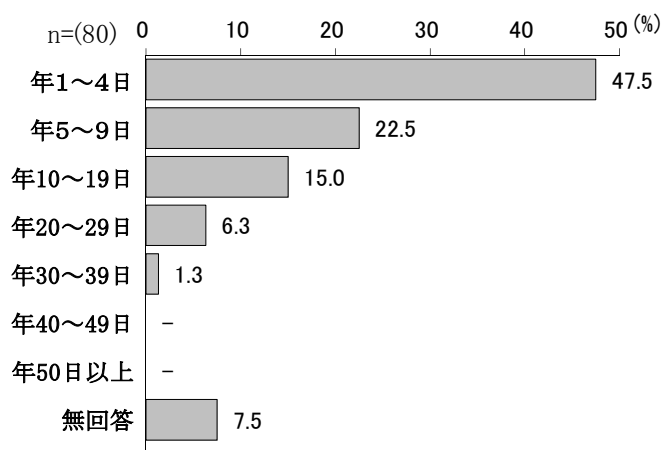
「父親が休んだ」では、「年1～4日」69.1%が最も高く、以下「年5～9日」17.6%、「年10～19日」7.4%となっています。

【2. 母親が休んだ】



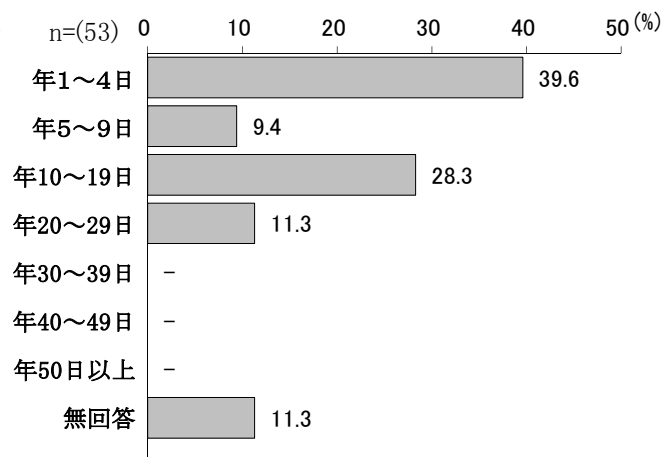
「母親が休んだ」では、「年1～4日」34.4%が最も高く、以下「年5～9日」30.0%、「年10～19日」20.6%となっています。

【3. 親族・知人に子どもをみてもらった】



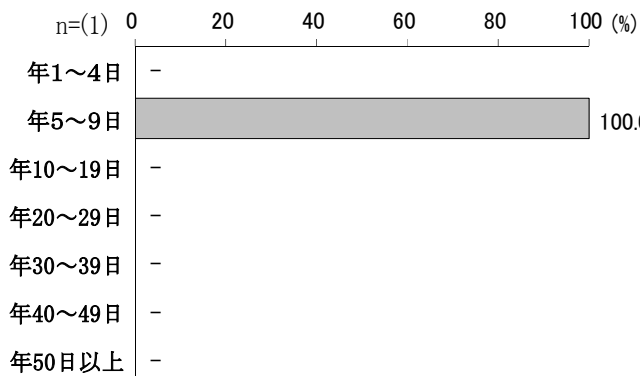
「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」では、「年1~4日」47.5%が最も高く、以下「年5~9日」22.5%、「年10~19日」15.0%となっています。

【4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた】



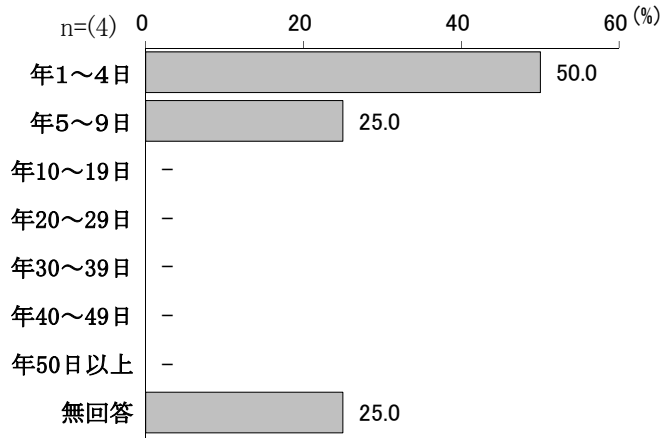
「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」では、「年1~4日」39.6%が最も高く、以下「年10~19日」28.3%、「年20~29日」11.3%となっています。

【5. ベビーシッターを利用した】



「ベビーシッターを利用した」では、「年5~9日」が100.0%となっています。

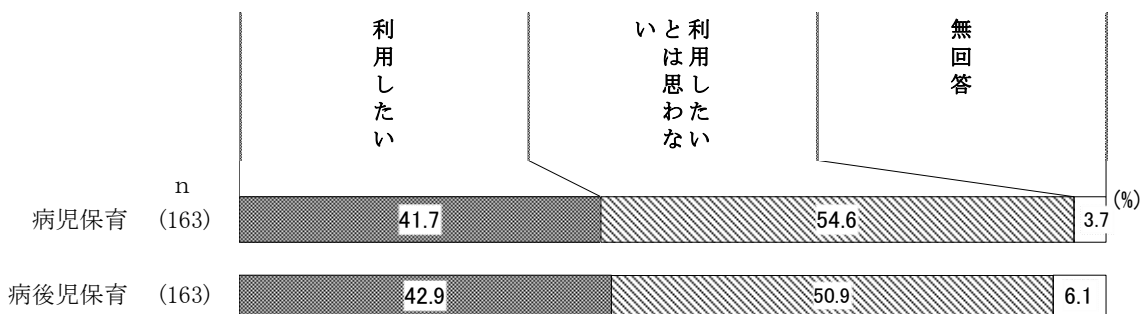
【7. その他】



「その他」では、「年1~4日」50.0%が最も高く、以下「年5~9日」25.0%となっています。

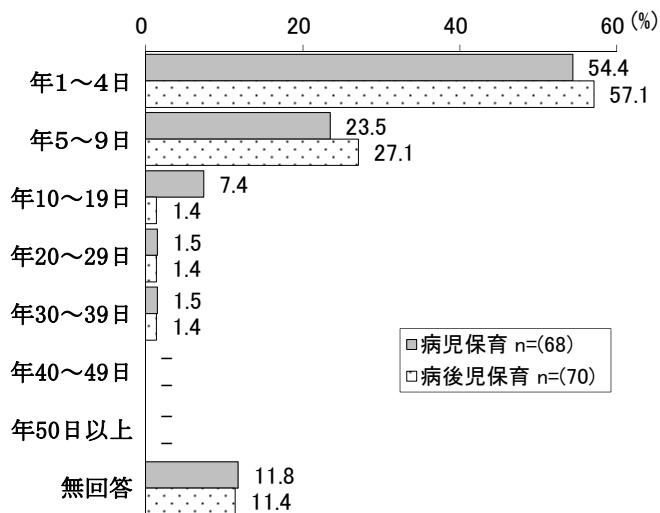
（3）病児・病後児のための保育施設等の利用希望

問18-2 問18-1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」に○をつけた方にお伺いします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。①病児保育・②病後児保育それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけ、枠内に利用日数をご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



病児保育施設等の利用希望では、「利用したい」は病後児保育42.9%、病児保育41.7%となっています。一方、「利用したいとは思わない」は病児保育54.6%、病後児保育50.9%となっています。

【利用希望日数】

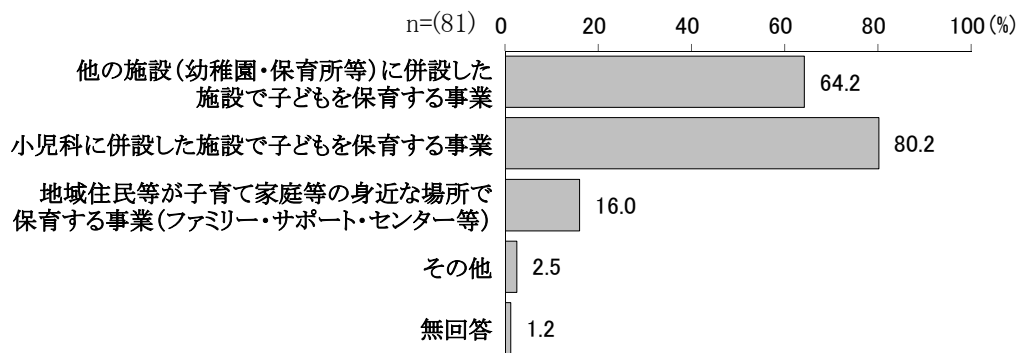


病児保育施設等の利用希望日数では、「年1～4日」54.4%が最も高く、以下「年5～9日」23.5%、「年10～19日」7.4%となっています。

病後児保育施設等の利用希望日数では「年1～4日」57.1%が最も高く、以下「年5～9日」27.1%となっています。

（4）病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

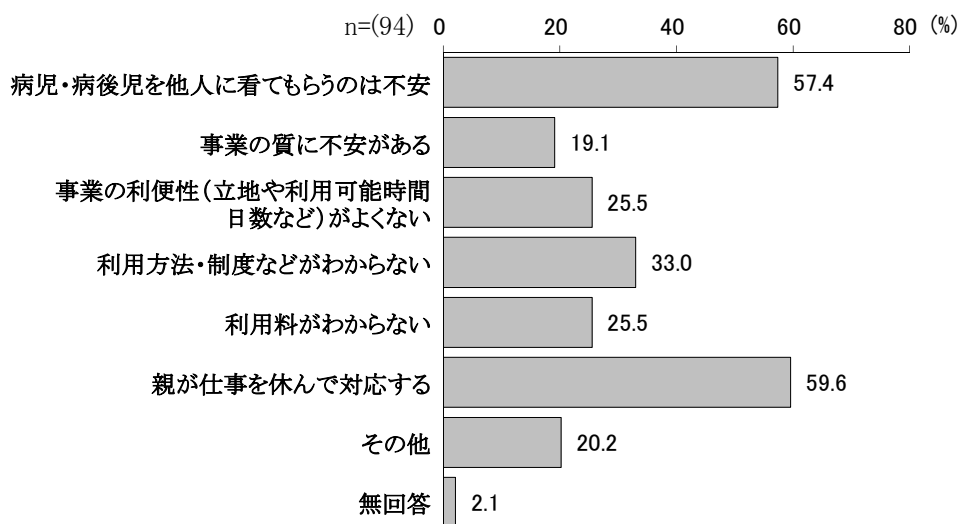
問18-3 問18-2で「利用したい」に○をつけた方にお伺いします。前述の目的で子どもを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」80.2%が最も高く、以下「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」64.2%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」16.0%となっています。

（5）病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

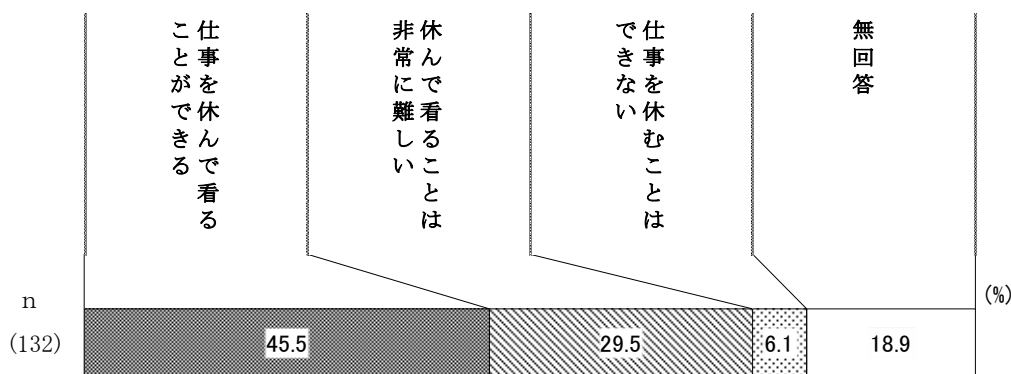
問18-4 問18-2で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



病児・病後児保育施設等を利用したくない理由では、「親が仕事を休んで対応する」59.6%が最も高く、以下「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」57.4%、「利用方法・制度などがわからない」33.0%となっています。

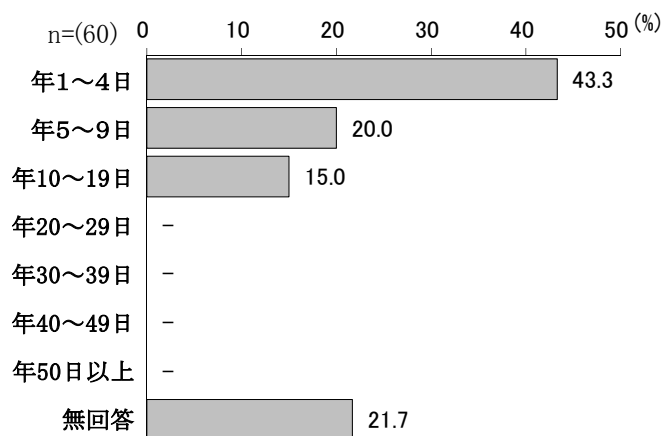
（6）病気等で事業が利用できなかった場合、父母のいずれかが仕事を休むこと

問18-5 問18-1で、「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」、「ベビーシッターを利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」、「その他」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、仕事を休んで見たかった日数についても、枠内にご記入ください。



子どもが病気やケガの時に普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、父母のいずれかが仕事を休むことについては、「仕事を休んで看ることができる」45.5%が最も高く、以下「休んで看することは非常に難しい」29.5%、「仕事を休むことはできない」6.1%となっています。

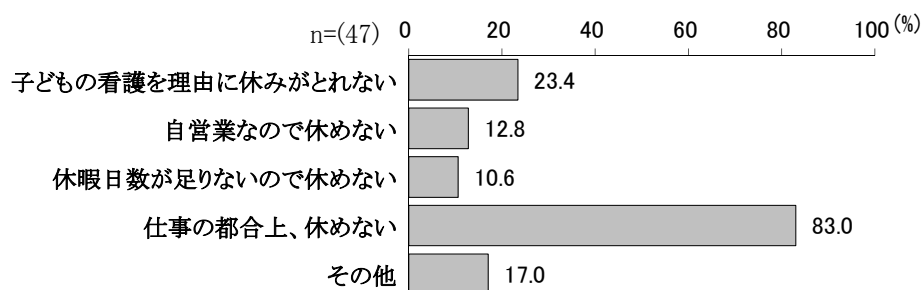
【仕事を休んで見たかった日数】



仕事を休んで見たかった日数では、「年1～4日」43.3%が最も高く、以下「年5～9日」20.0%、「年10～19日」15.0%となっています。

（7）休んで看ることが困難、あるいは不可の理由

問18-6 問18-5で「休んで看ことは非常に難しい」または「仕事を休むことはできない」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

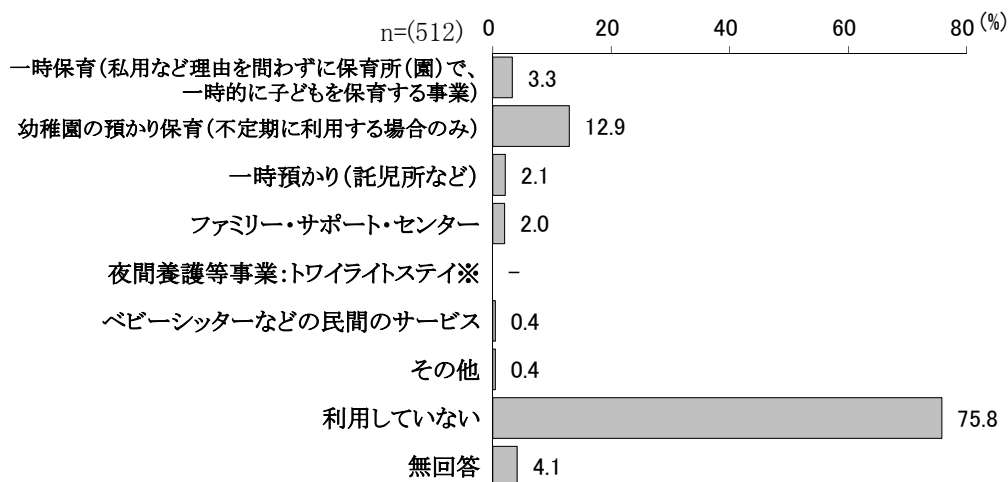


仕事を休んで看ることが難しい理由では、「仕事の都合上、休めない」83.0%が最も高く、以下「子どもの看護を理由に休みがとれない」23.4%となっています。

7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

（1）不定期に利用している教育・保育事業

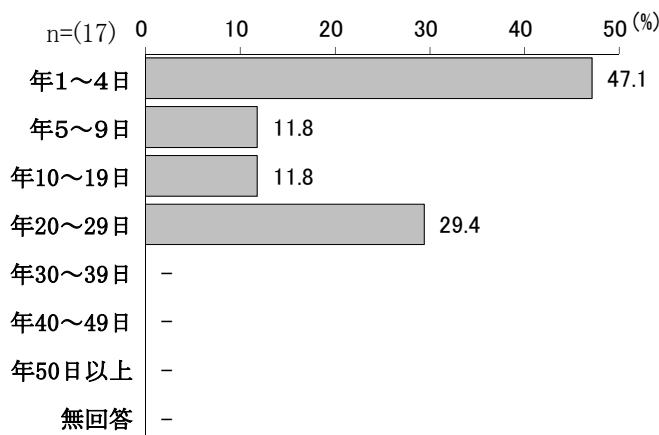
問19 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を枠内にご記入ください。



※トワイライトステイ… 保護者が仕事・その他の理由により、平日の夜間または休日に不在となることで家庭において児童を養育することが困難となった場合やその他緊急の場合に、児童を児童養護施設等において保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業です。（二宮町では実施しておりません。）

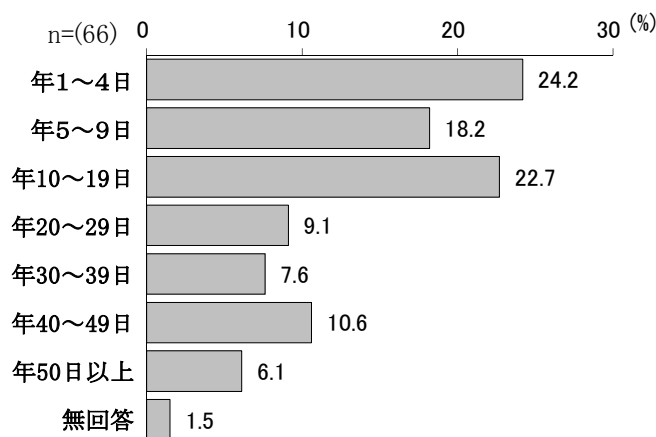
病気やケガ以外の不定期な保育事業の利用状況では、「利用していない」75.8%が最も高く、以下「幼稚園の預かり保育（不定期に利用する場合のみ）」12.9%、「一時保育（私用など理由を問わずに保育所（園）で、一時的に子どもを保育する事業）」3.3%となっています。

【1. 一時保育（私用など理由を問わずに保育所（園）で、一時的に子どもを保育する事業）】



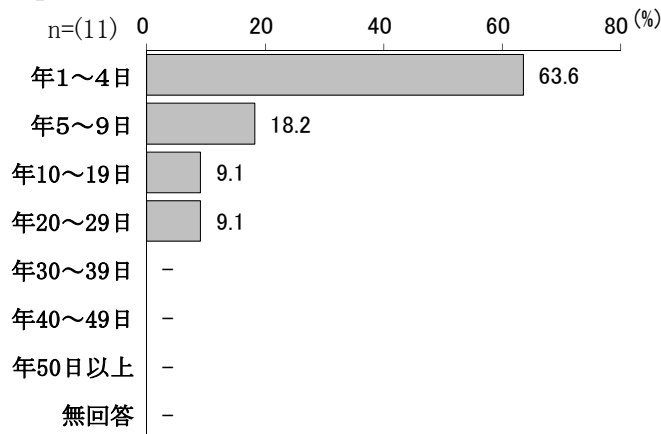
一時保育（私用など理由を問わずに保育所（園）で、一時的に子どもを保育する事業）では、「年1～4日」47.1%が最も高く、以下「年20～29日」29.4%、「年5～9日」11.8%、「年10～19日」11.8%となっています。

【2. 幼稚園の預かり保育（不定期に利用する場合のみ）】



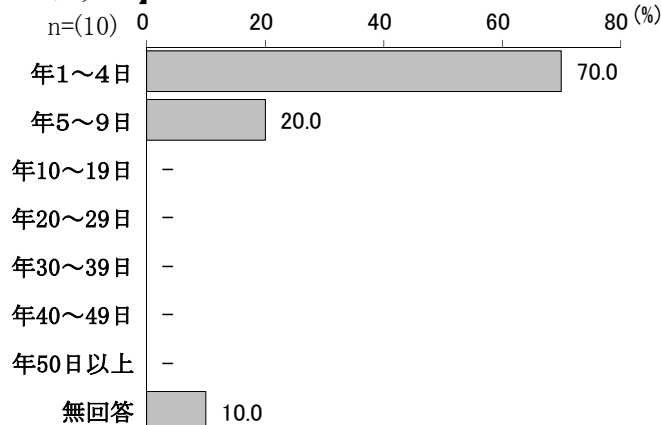
幼稚園の預かり保育（不定期に利用する場合のみ）では、「年1～4日」24.2%が最も高く、以下「年10～19日」22.7%、「年5～9日」18.2%となっています。

【3. 一時預かり（託児所など）】



一時預かり（託児所など）では、「年1～4日」63.6%が最も高く、以下「年5～9日」18.2%、「年10～19日」9.1%、「年20～29日」9.1%となっています。

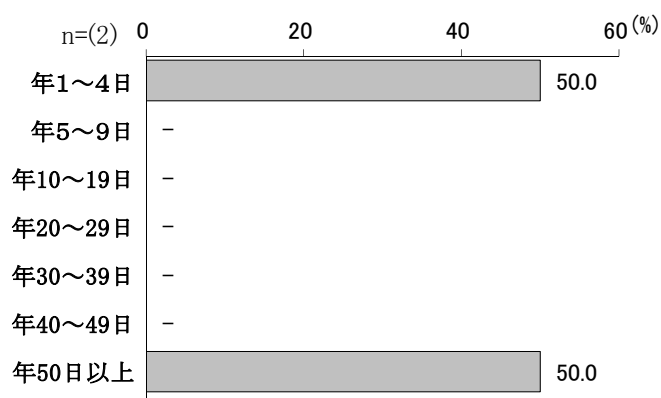
【4. ファミリー・サポート・センター】



ファミリー・サポート・センターでは、「年1～4日」70.0%が最も高く、以下「年5～9日」20.0%となっています。

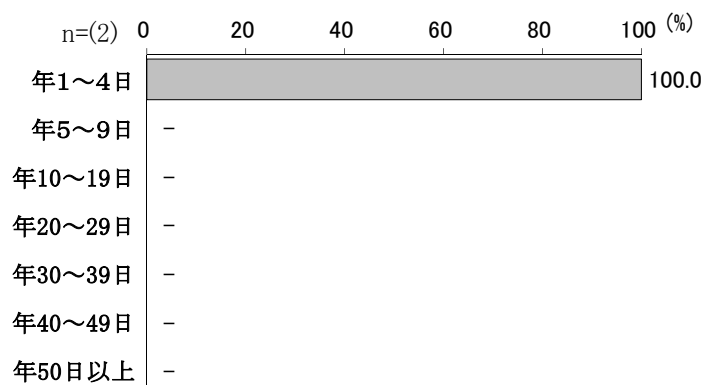
第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

【6. ベビーシッターなどの民間のサービス】



ベビーシッターなどの民間のサービスでは、「年1～4日」50.0%、「年50日以上」50.0%となっています。

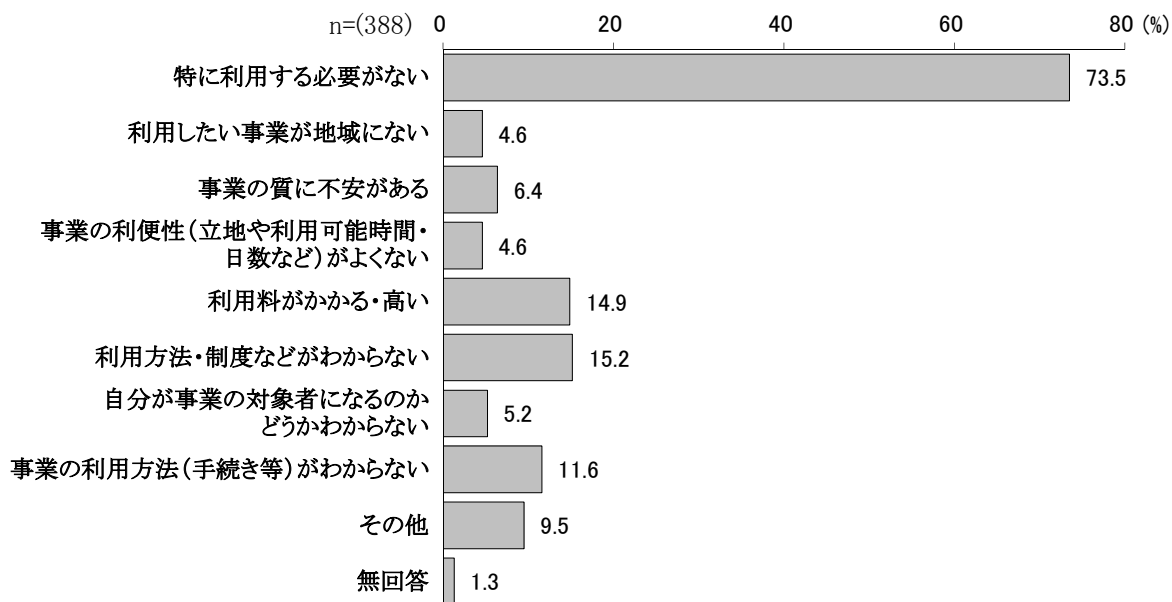
【7. その他】



その他では、「年1～4日」100.0%となっています。

（2）不定期の教育・保育事業を利用していない理由

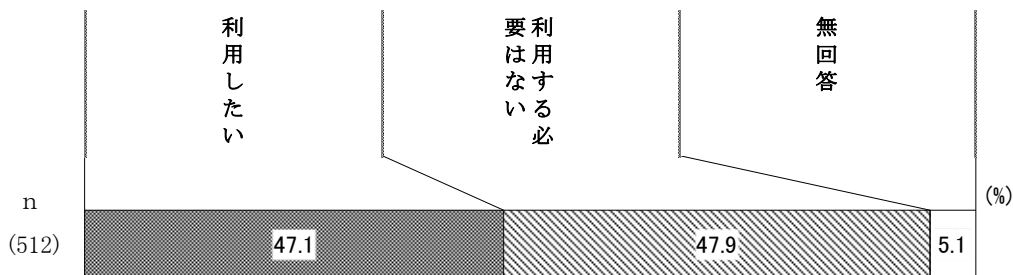
問19-1 問19で「利用していない」に○をつけた方にお伺いします。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



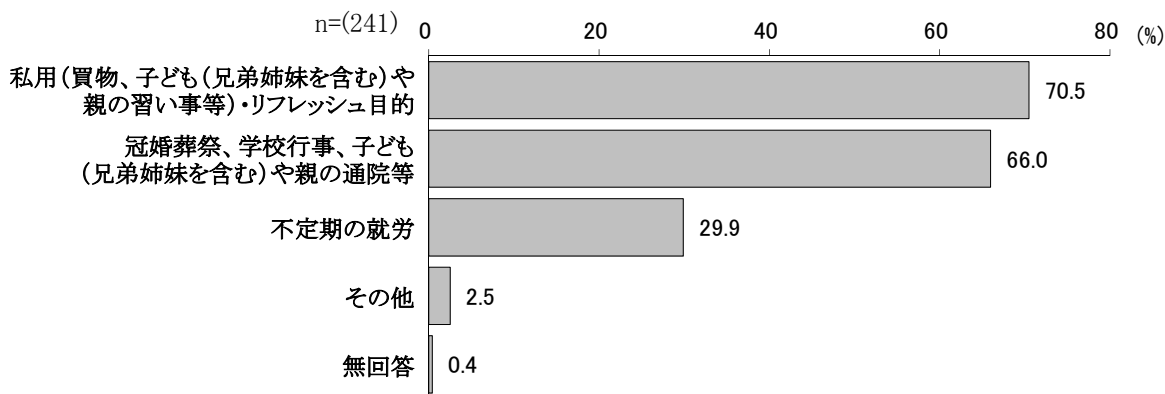
不定期の保育事業を利用していない理由では、「特に利用する必要がない」73.5%が最も高く、以下「利用方法・制度などがわからない」15.2%、「利用料がかかる・高い」14.9%となっています。

（3）私用等の目的のための不定期な教育・保育事業の利用希望

問20 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問19の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を枠内にご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

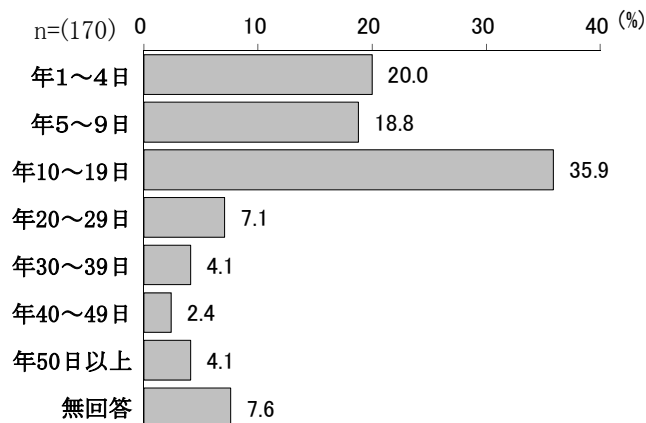


私用等による不定期な保育事業の利用意向では、「利用したい」47.1%と「利用する必要はない」47.9%が二分しています。



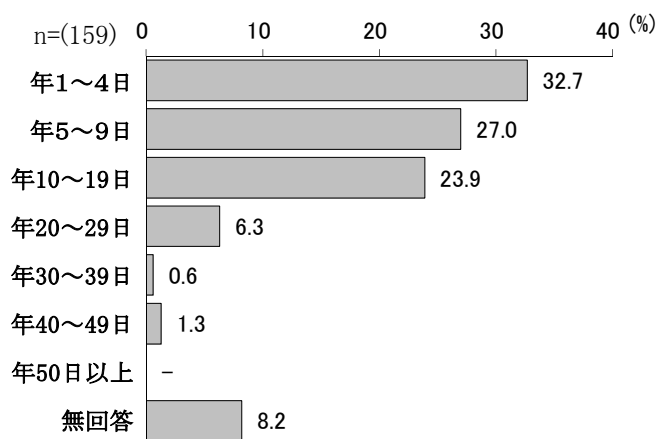
保育事業の利用意向目的では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が70.5%で最も高く、以下「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」66.0%、「不定期の就労」29.9%となっています。

【ア．私用・リフレッシュ目的】



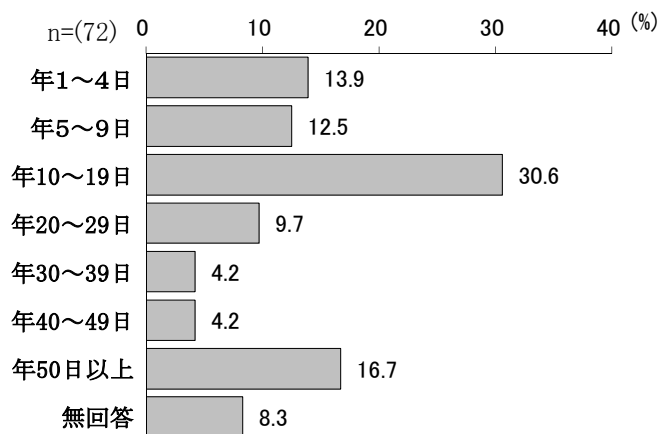
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的では、「年10～19日」35.9%が最も高く、以下「年1～4日」20.0%、「年5～9日」18.8%となっています。

【イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】



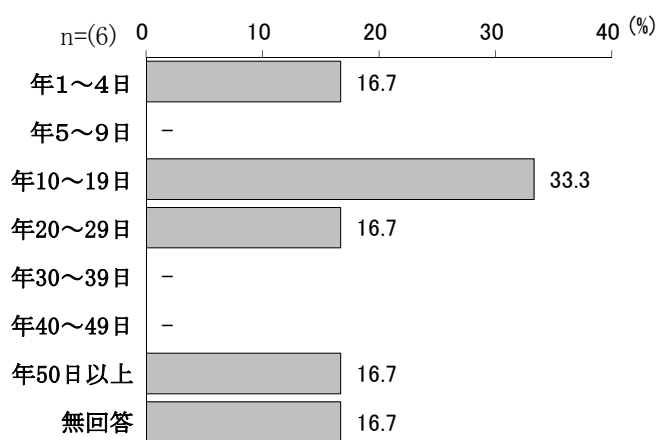
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等では、「年1～4日」32.7%が最も高く、以下「年5～9日」27.0%、「年10～19日」23.9%となっています。

【ウ. 不定期の就労】



不定期の就労では、「年10～19日」30.6%が最も高く、以下「年50日以上」16.7%、「年1～4日」13.9%となっています。

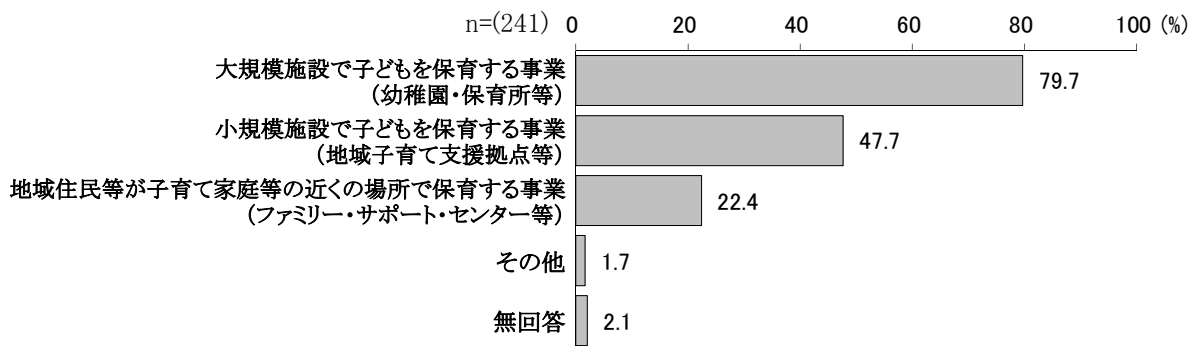
【エ. その他】



その他では、「年10～19日」33.3%が最も高く、以下「年1～4日」16.7%、「年20～29日」16.7%、「年50日以上」16.7%となっています。

（4）私用等の目的で子どもを預ける場合、望ましい事業形態

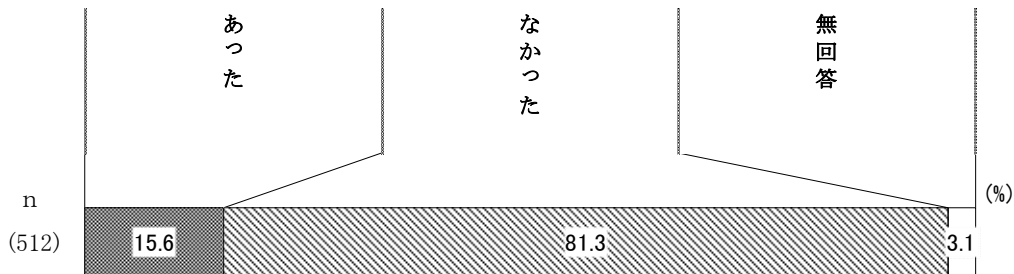
問20-1 問20で「利用したい」に○をつけた方にお伺いします。問20の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



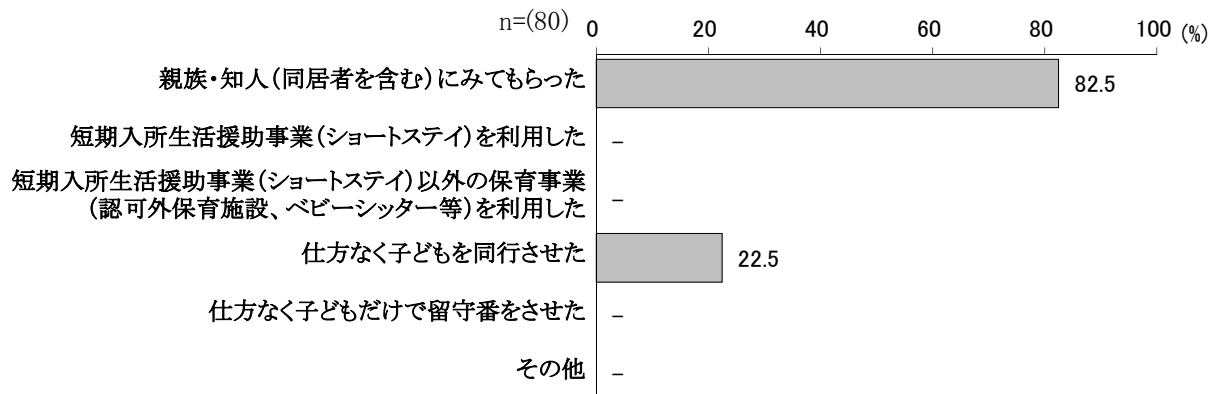
私用等による不定期的な目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態では、「大規模施設で子どもを保育する事業(幼稚園・保育所等)」79.7%が最も高く、以下「小規模施設で子どもを保育する事業(地域子育て支援拠点等)」47.7%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)」22.4%となっています。

（5）泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった場合の対処方法

問21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内にご記入ください。

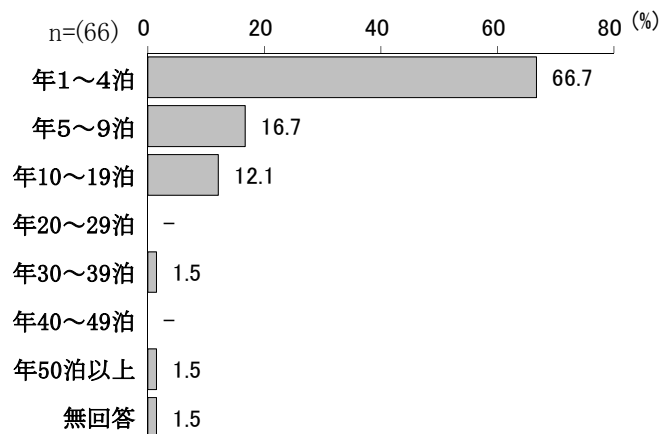


保護者の用事による泊りがけでの対応の有無では、「あった」15.6%、「なかった」81.3%となっています。



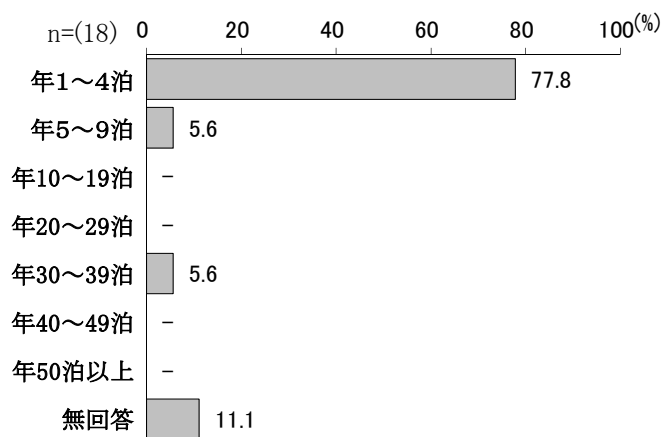
泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった場合の対処方法では、「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」82.5%が最も高く、「仕方なく子どもを同行させた」22.5%となっています。

【ア．親族・知人（同居者を含む）にみてもらった】



親族・知人（同居者を含む）にみてもらったでは、「年1～4泊」66.7%が最も高く、以下「年5～9泊」16.7%、「年10～19泊」12.1%となっています。

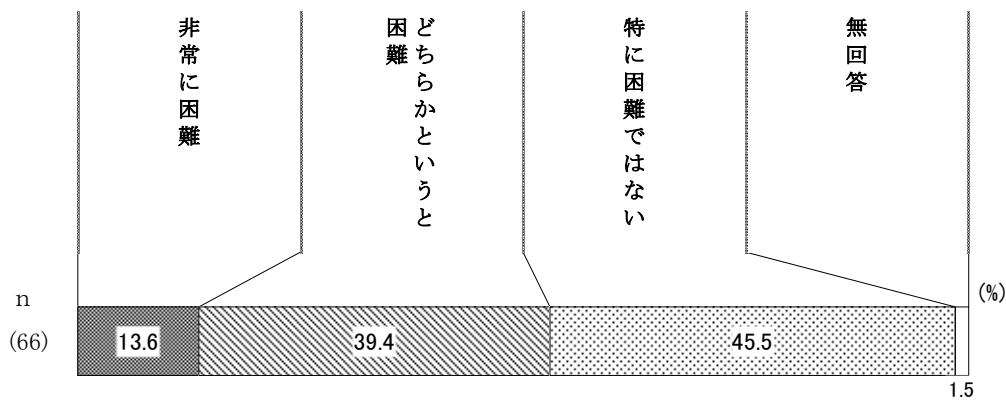
【エ. 仕方なく子どもを同行させた】



仕方なく子どもを同行させたでは、「年1~4泊」77.8%が最も高くなっています。

(6) 親族・知人にみてもらった場合の困難度

問21-1 問21で「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」と答えた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



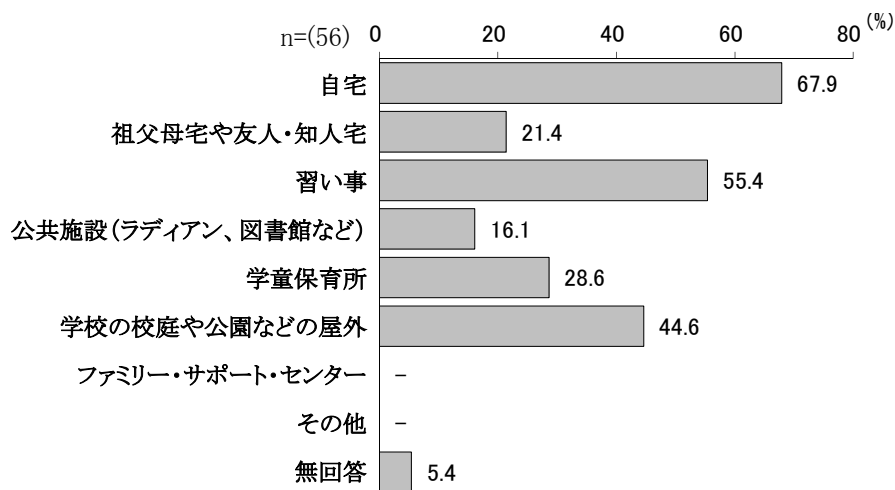
親族・知人にみてもらった場合の困難度では、「非常に困難」13.6%、「どちらかという困難」39.4%と困難であった人は53.0%となっています。一方、「特に困難ではない」45.5%となっています。

8. 小学校就学後の放課後の過ごし方（子どもが5歳以上〔年長児〕対象）

（1）小学校低学年時に放課後を過ごさせたい場所

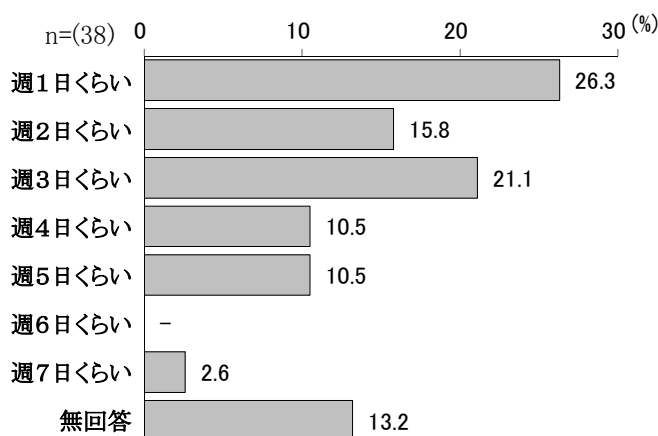
問22 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も枠内に数字でご記入ください。

「学童保育所」・・・保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



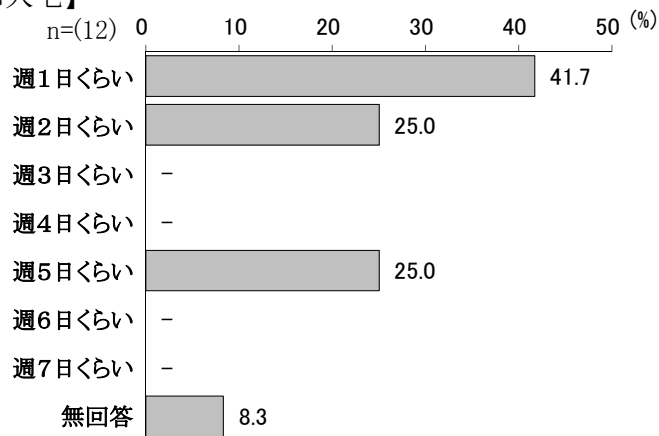
小学校低学年時に放課後を過ごさせたい場所では、「自宅」が67.9%で最も高く、以下「習い事」55.4%、「学校の校庭や公園などの屋外」44.6%となっています。

【1. 自宅】



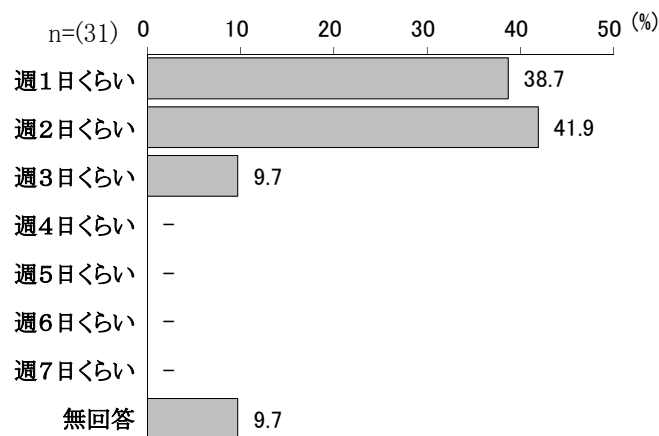
自宅では、「週1日くらい」26.3%が最も高く、以下「週3日くらい」21.1%、「週2日くらい」15.8%となっています。

【2. 祖父母宅や友人・知人宅】



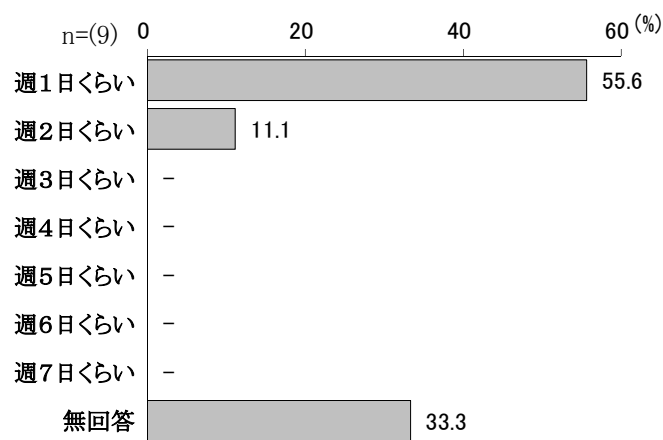
祖父母宅や友人・知人宅では、「週1日くらい」41.7%が最も高く、以下「週2日くらい」25.0%、「週5日くらい」25.0%となっています。

【3. 習い事】



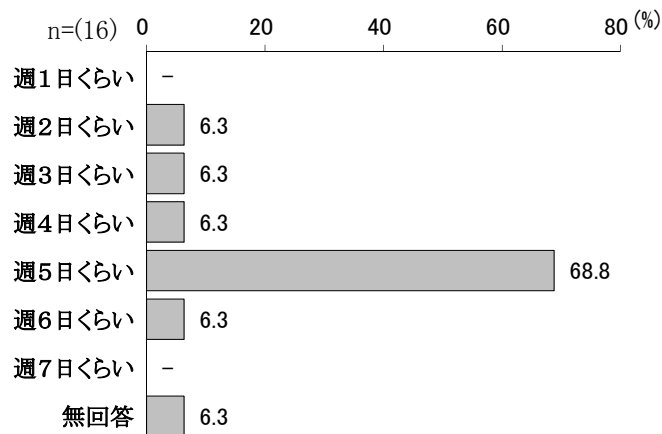
習い事では、「週2日くらい」41.9%が最も高く、以下「週1日くらい」38.7%となっています。

【4. 公共施設（ラヂアン、図書館など）】

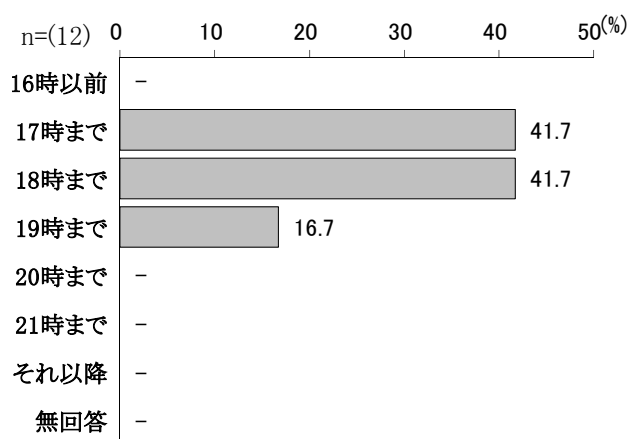


公共施設（ラヂアン、図書館など）では、「週1日くらい」55.6%が最も高く、以下「週2日くらい」11.1%となっています。

【5. 学童保育所】

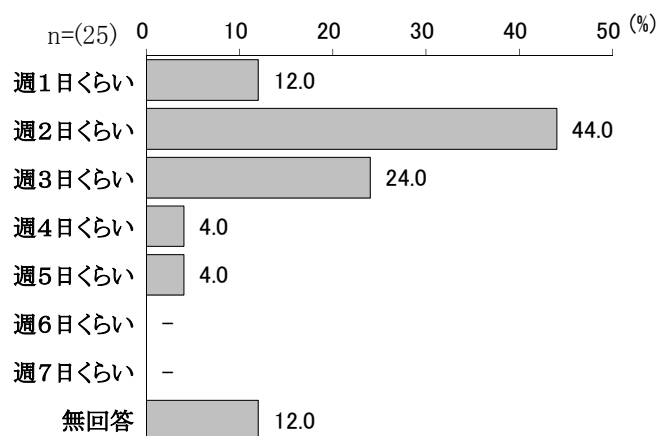


学童保育所では、「週5日くらい」68.8%が最も高くなっています。



学童保育所の希望する終了時刻では、「17時まで」41.7%、「18時まで」41.7%となっています。

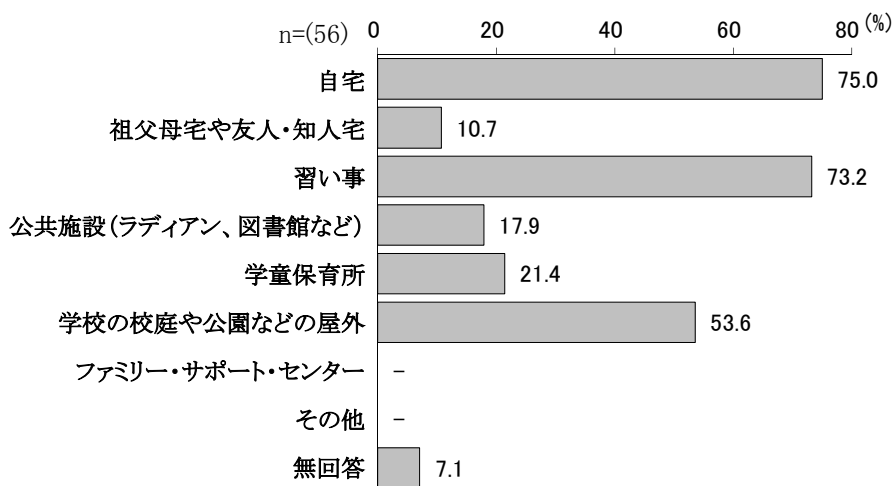
【6. 学校の校庭や公園などの屋外】



学校の校庭や公園などの屋外では、「週2日くらい」44.0%が最も高く、以下「週3日くらい」24.0%、「週1日くらい」12.0%となっています。

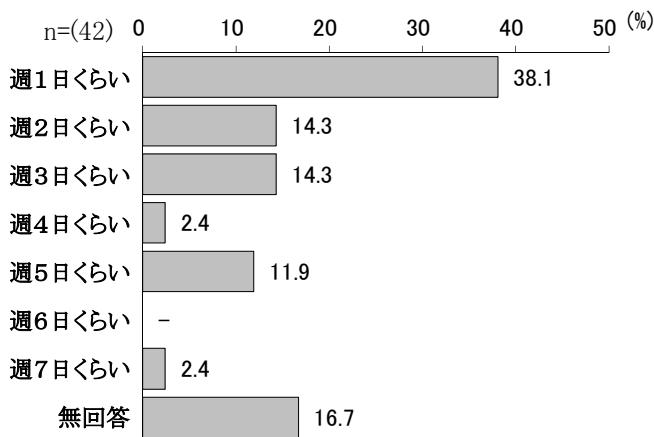
（2）小学校高学年時に放課後を過ごさせたい場所

問23 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を枠内にご記入ください。また、「5. 学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も枠内に24時間制でお答えください。
※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。



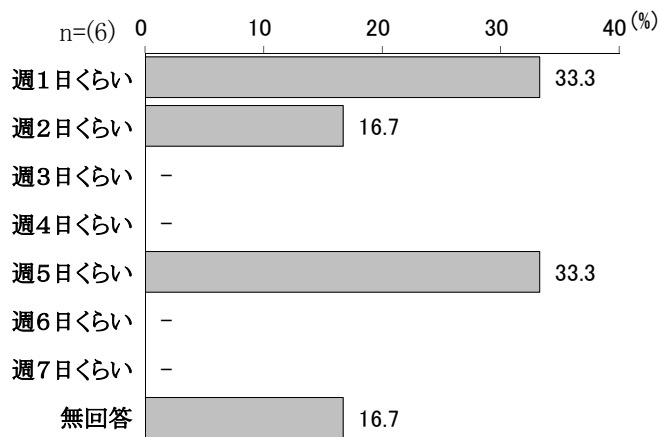
小学校高学年時に放課後を過ごさせたい場所では、「自宅」が75.0%で最も高く、以下「習い事」が73.2%、「学校の校庭や公園などの屋外」が53.6%となっています。

【1. 自宅】



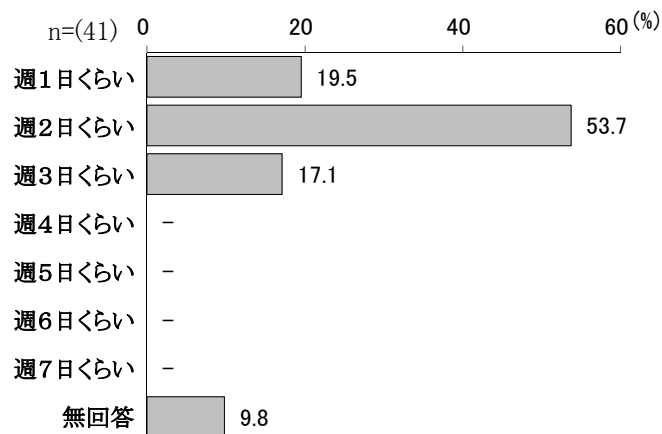
自宅では、「週1日くらい」38.1%が最も高く、以下「週2日くらい」14.3%、「週3日くらい」14.3%となっています。

【2. 祖父母宅や友人・知人宅】



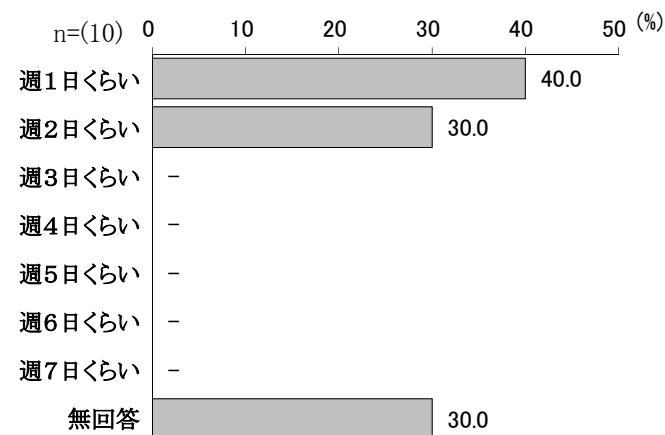
祖父母宅や友人・知人宅では、「週1日くらい」33.3%が最も高く、以下「週5日くらい」33.3%、「週2日くらい」16.7%となっています。

【3. 習い事】



習い事では、「週2日くらい」53.7%が最も高く、以下「週1日くらい」19.5%、「週3日くらい」17.1%となっています。

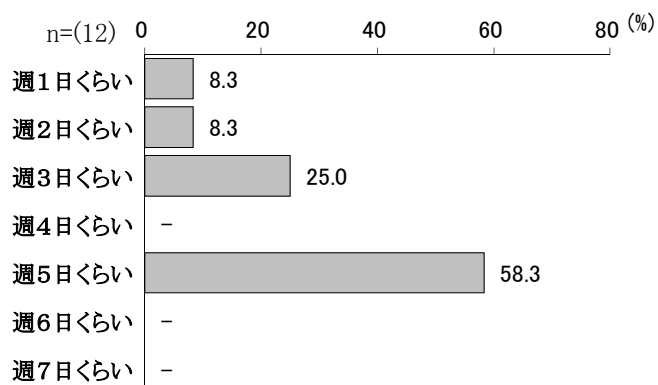
【4. 公共施設（ラディアン、図書館など）】



公共施設（ラディアン、図書館など）では、「週1日くらい」40.0%が最も高く、以下「週2日くらい」30.0%となっています。

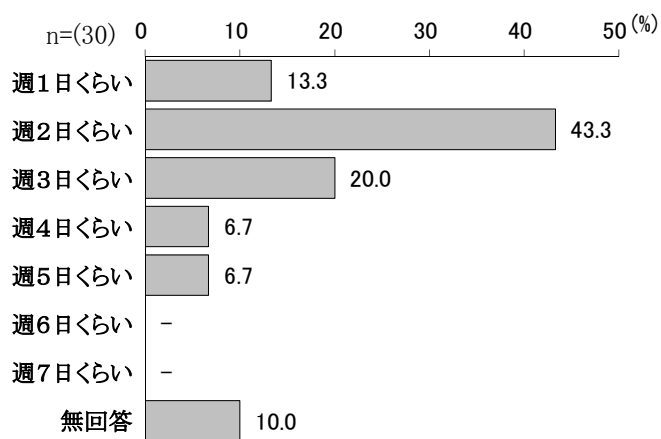
第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

【5. 学童保育所】



学童保育所では、「週5日くらい」58.3%が最も高く、以下「週3日くらい」25.0%、「週1日くらい」8.3%、「週2日くらい」8.3%となっています。

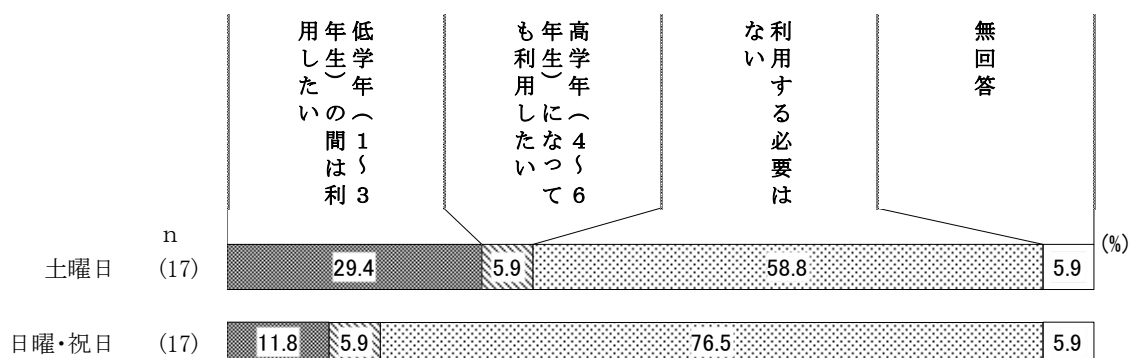
【6. 学校の校庭や公園などの屋外】



学校の校庭や公園などの屋外では、「週2日くらい」43.3%が最も高く、以下「週3日くらい」20.0%、「週1日くらい」13.3%となっています。

（3）土曜日、日曜日・祝日の学童保育所の利用希望

問24 問22または問23で「5. 学童保育所」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。①土曜日・②日曜・祝日それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また利用したい時間帯を、枠内に数字で記入してください。
 なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

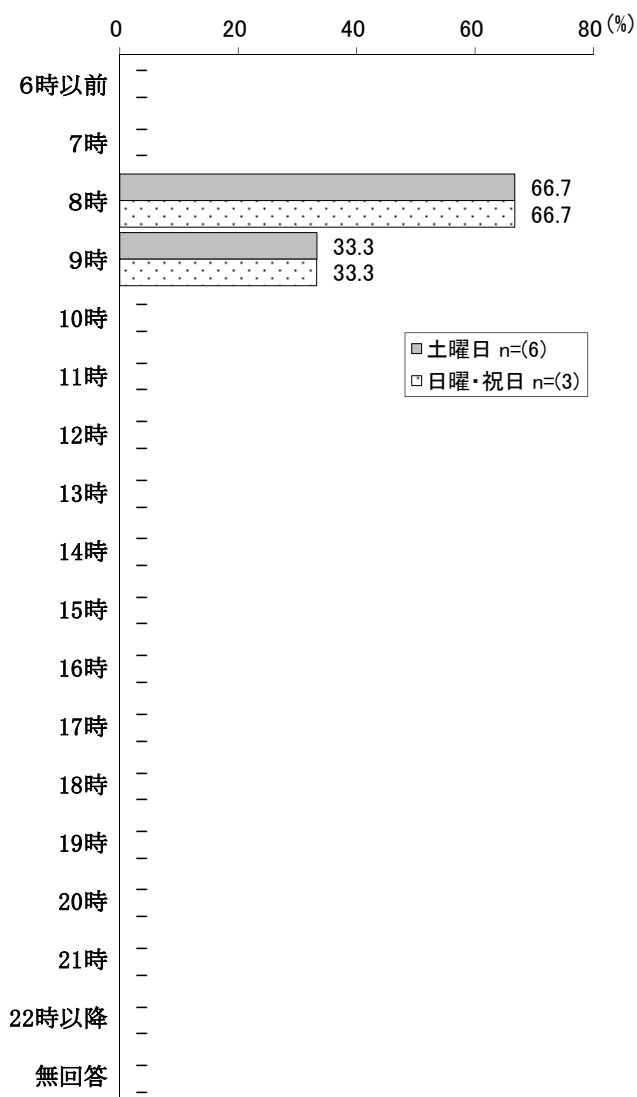


学童保育所の利用希望は、土曜日では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」29.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」5.9%と利用希望は35.3%となっています。

日曜・祝日では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」11.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」5.9%と利用希望は17.7%と土曜日の半数程度となっています。一方、「利用する必要はない」は土曜日、日曜・祝日ともに5割を超え、特に日曜・祝日では76.5%となっています。

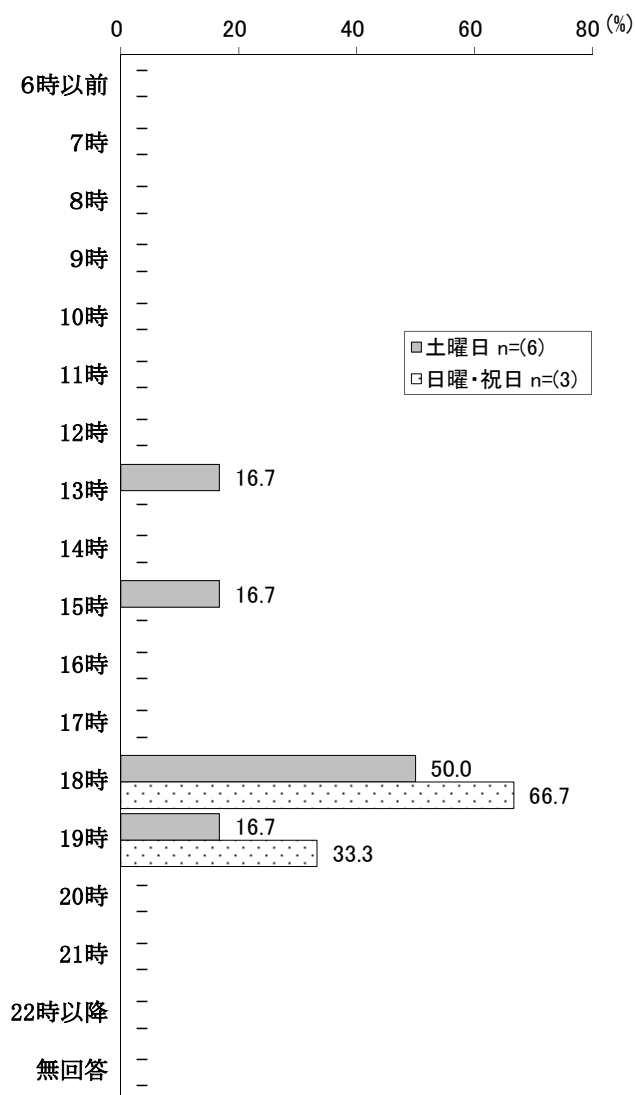
第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

【利用希望開始時間】



学童保育所の利用希望開始時間では、土曜日、日曜・祝日ともに「8時」66.7%が最も高く、以下「9時」33.3%となっています。

【利用希望終了時間】

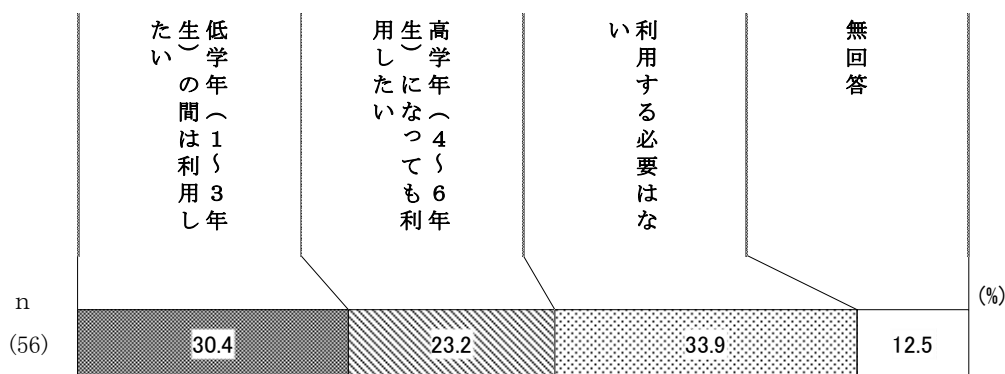


学童保育所の利用希望終了時間では、土曜日は「18時」50.0%が最も高く、以下「13時」16.7%、「15時」16.7%、「19時」16.7%、となっています。

日曜・祝日は「18時」66.7%が最も高く、以下「19時」33.3%となっています。

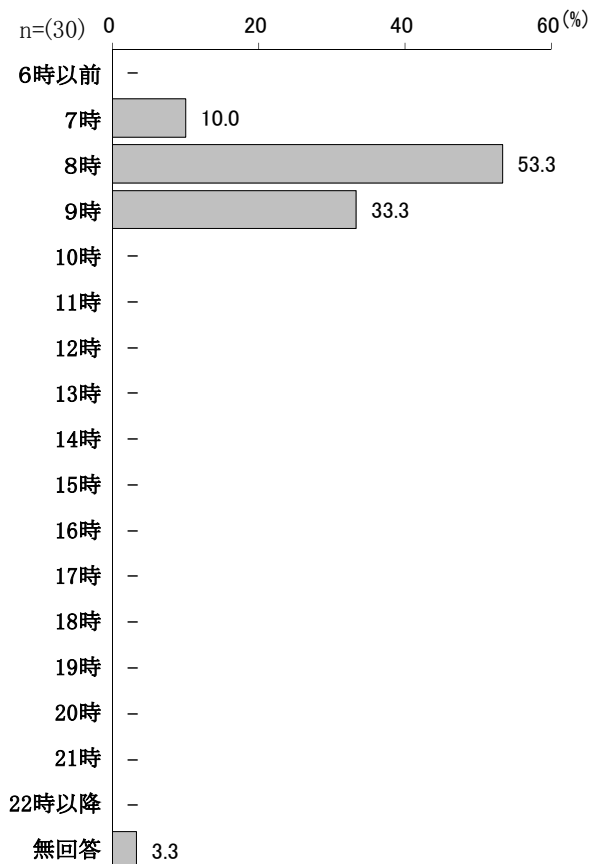
（4）長期休暇期間中の学童保育所の利用希望

問25 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また利用したい時間帯を、枠内に24時間制でお答えください。



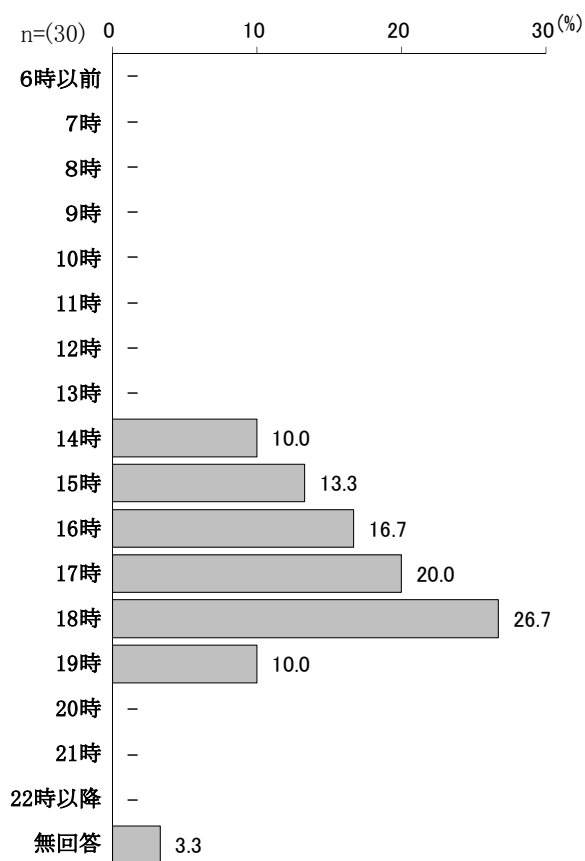
長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」30.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が23.2%と利用希望は53.6%となっています。一方、「利用する必要はない」33.9%となっています。

【利用開始時間】



長期の休暇期間中の学童保育所の利用開始時間では、「8時」53.3%が最も高く、以下「9時」33.3%、「7時」10.0%、となっています。

【利用終了時間】

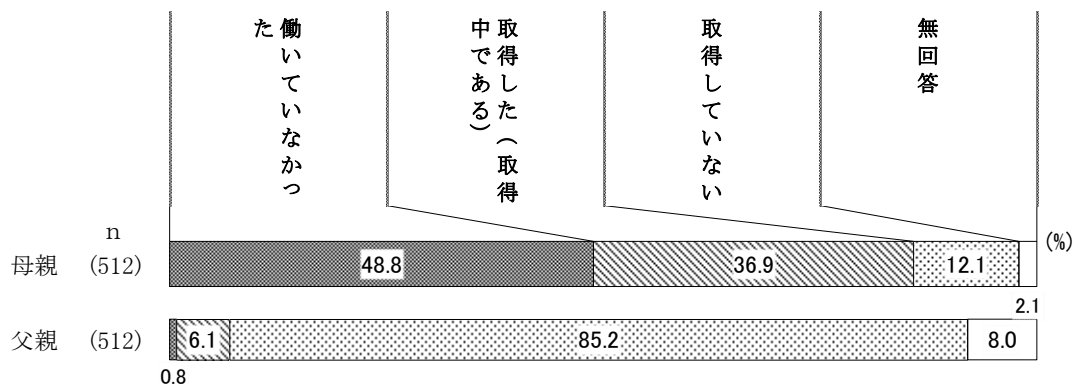


長期の休暇期間中の学童保育所の利用終了時間では、「18時」26.7%が最も高く、以下「17時」20.0%、「16時」16.7%、「15時」13.3%となっています。

9. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度

（1）育児休業の取得状況

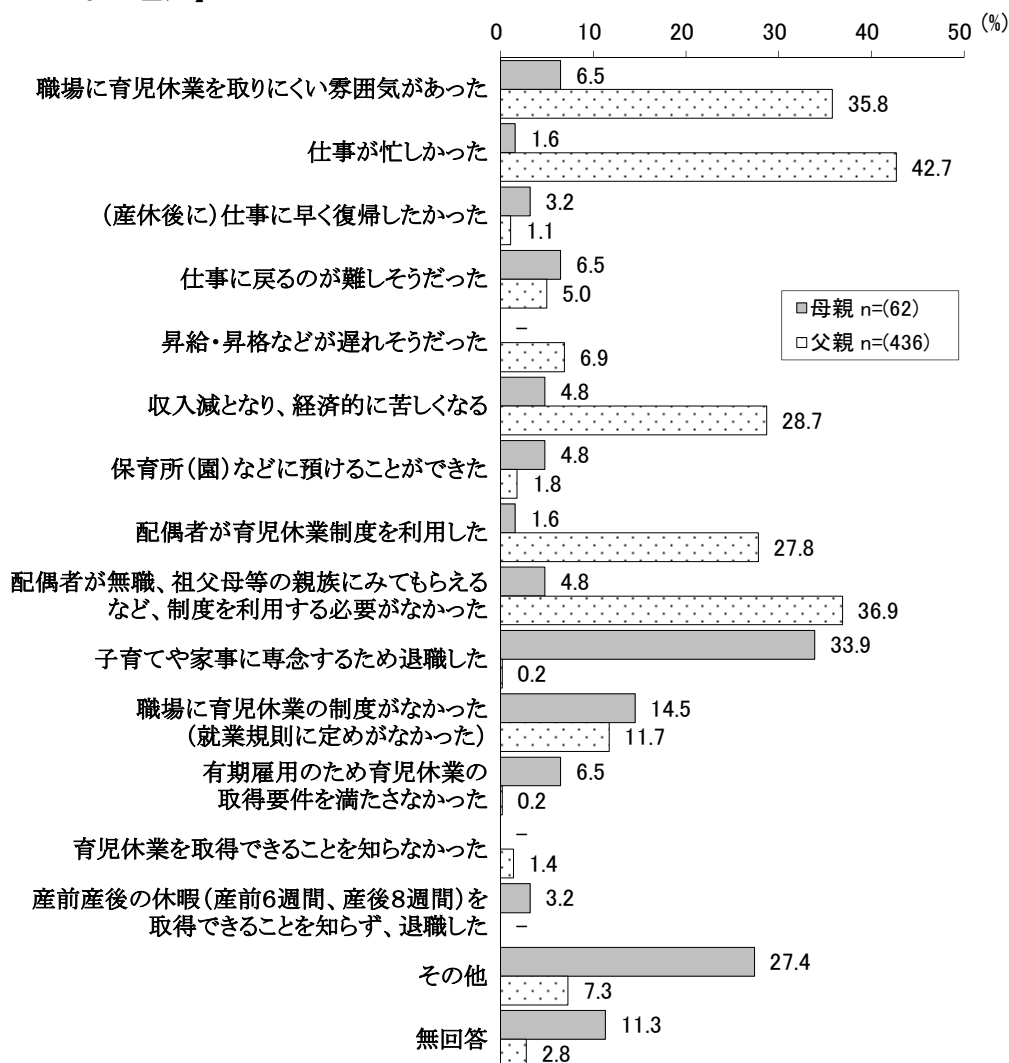
問26 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、「取得していない」を選択した場合は、その理由にあてはまる番号すべてを枠内にご記入ください。



育児休業の取得状況では、母親は「取得した（取得中である）」36.9%、「取得していない」が12.1%となっています。また、「働いていなかった」48.8%となっています。

父親は「取得していない」85.2%と最も高く、「取得した（取得中である）」6.1%にとどまっています。

【取得していない理由】

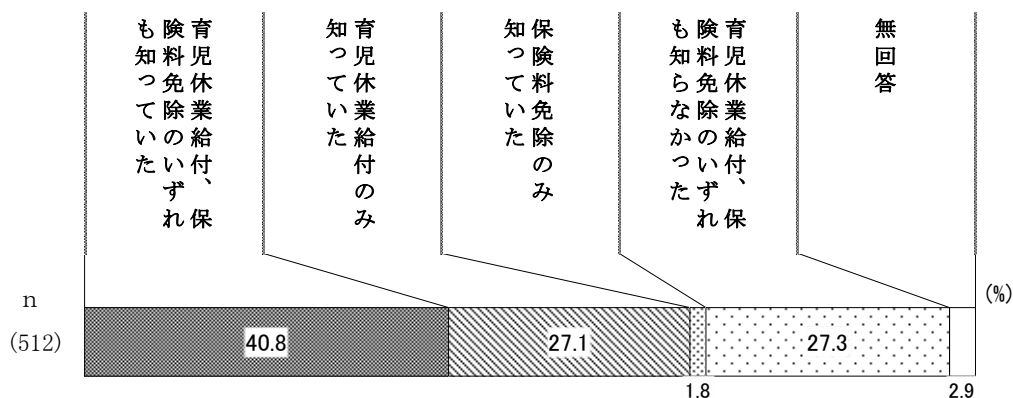


育児休業を取得しなかった理由では、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が33.9%で最も高く、以下「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」14.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」6.5%、「仕事に戻るのが難しそうだった」6.5%、「有期雇用のため育児休業の取得条件を満たさなかった」6.5%となっています。

父親は「仕事が忙しかった」42.7%が最も多く、以下「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」36.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」35.8%となっています。

（2）育児休業給付、保険料等の免除制度の認知状況

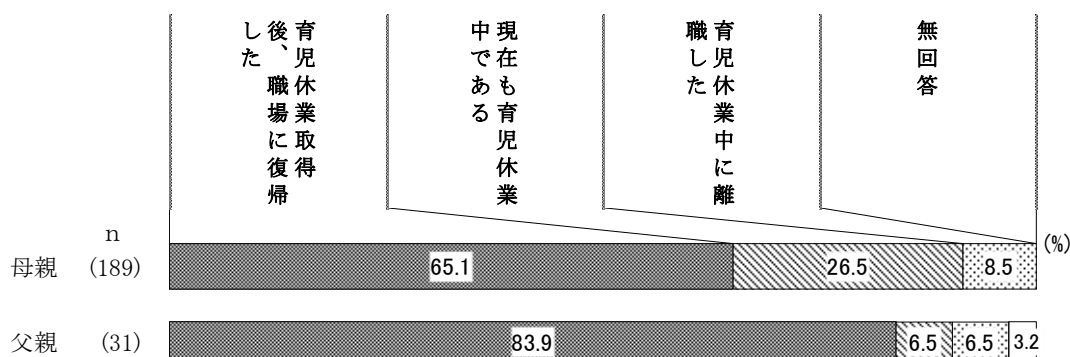
問26-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



育児休業給付、保険料等の免除制度の認知状況では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が40.8%、「育児休業給付のみ知っていた」27.1%、「保険料免除のみ知っていた」1.8%となっており、両方、あるいはいずれかを知っている人は69.7%となっています。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」27.3%となっています。

（3）育児休業取得後の職場復帰の状況

問26-2 問26で「取得した（取得中である）」と回答した方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

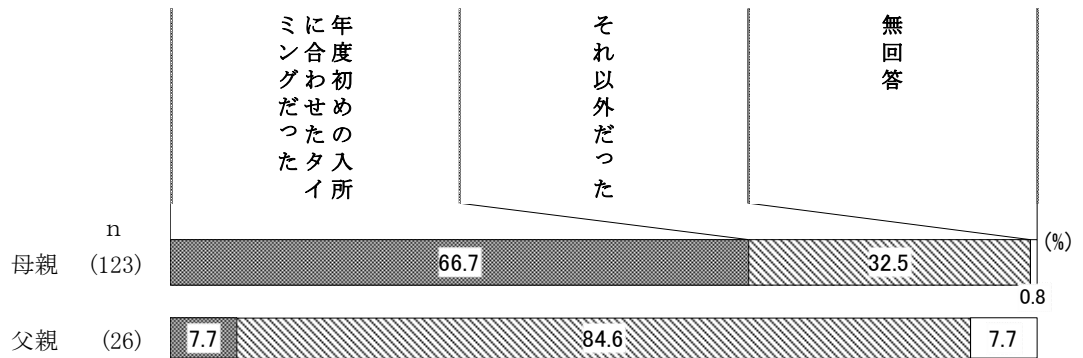


育児休業取得後の職場復帰の状況では、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」65.1%、「現在も育児休業中である」26.5%となっています。父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」83.9%となっています。

（4）職場復帰のタイミング

問26-3 問26-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども年度初めに合わせたこととなります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も同様です。

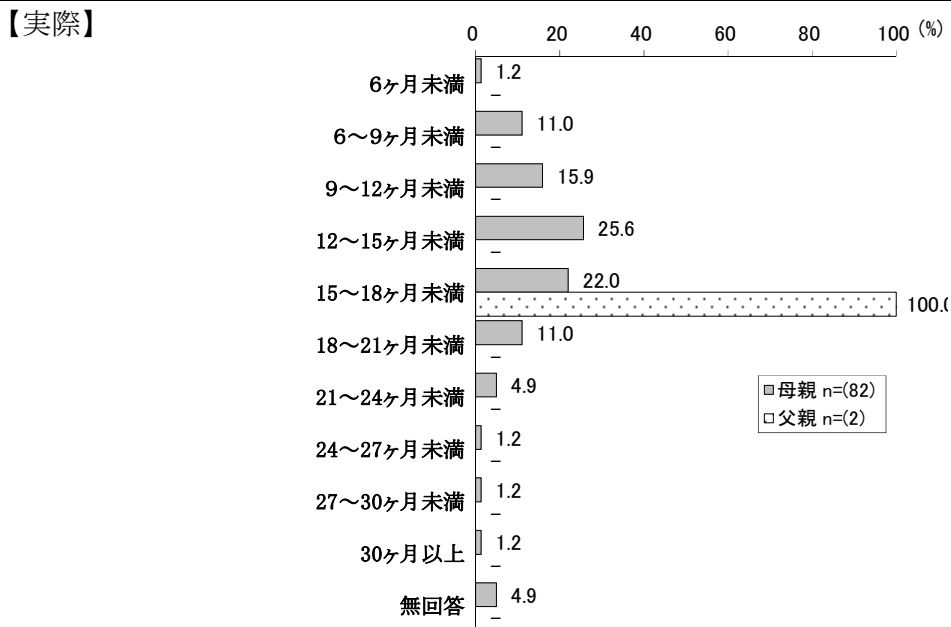


職場復帰と保育所入所のタイミングでは、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」66.7%、「それ以外だった」が32.5%となっています。

父親は「それ以外だった」84.6%となっています。

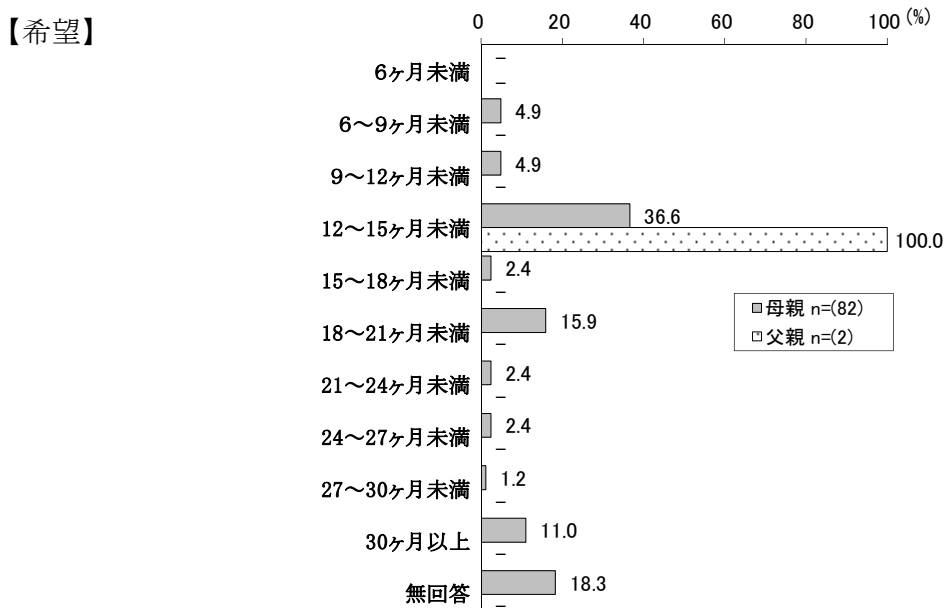
（5）実際と希望の職場復帰までの期間

問26-4 問26-3で「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した方にお伺いします。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に数字でご記入ください。



職場復帰までの期間では、母親／実際は「12～15ヶ月未満」25.6%が最も高く、以下「15～18ヶ月未満」22.0%、「9～12ヶ月未満」15.9%となっています。

父親／実際は「15～18ヶ月未満」100.0%となっています。

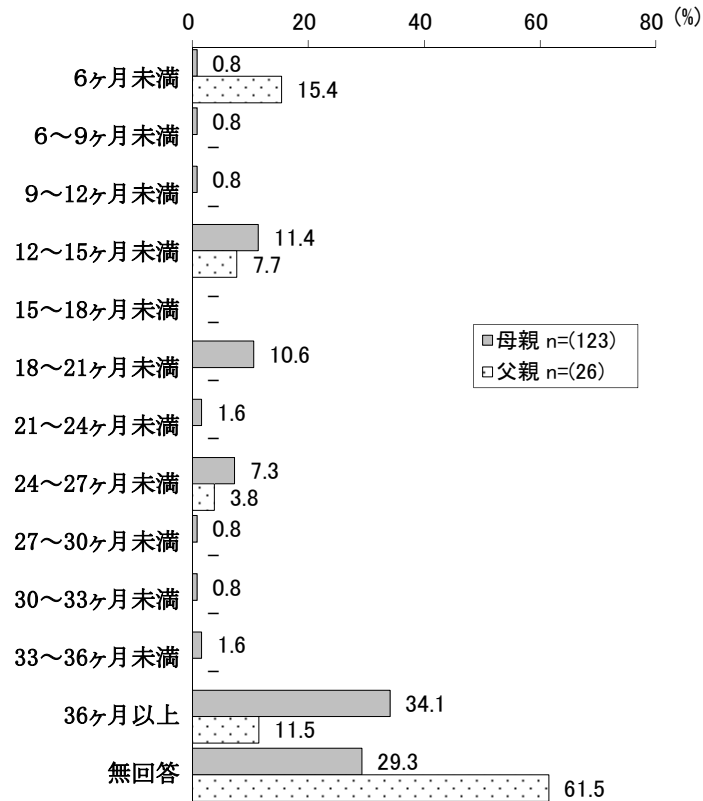


母親／希望は「12～15ヶ月未満」36.6%が最も高く、以下「18～21ヶ月未満」15.9%、「9～12ヶ月未満」4.9%となっています。

父親／希望は「12～15ヶ月未満」100.0%となっています。

（6）実際と希望の育児休業取得期間

問26-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に数字でご記入ください。



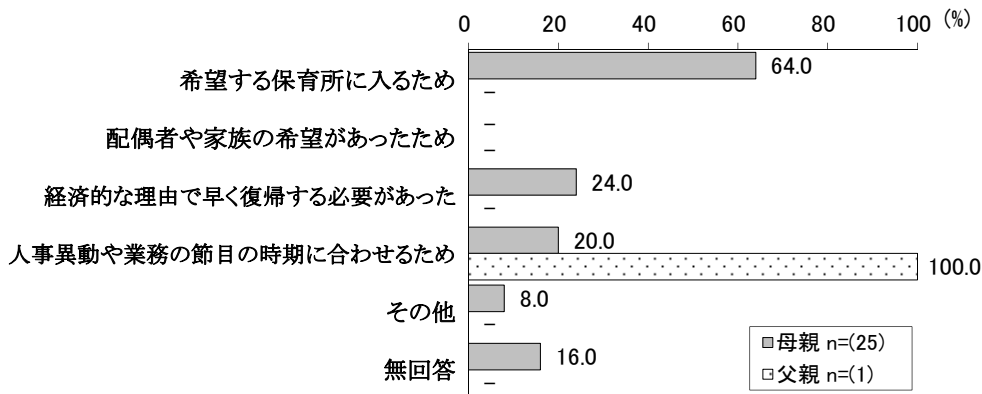
勤め先に育児のために休暇を取得できる制度があった場合、希望として子どもが生後何ヶ月になるまで取得したかったでは、母親は「36ヶ月以上」34.1%が最も高く、以下「12～15ヶ月未満」11.4%、「18～21ヶ月未満」10.6%となっています。

父親では、「6ヶ月未満」15.4%が最も高く、以下「36ヶ月以上」11.5%となっています。

（7）希望の時期に職場復帰しなかった理由

問26-6 問26-4 で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

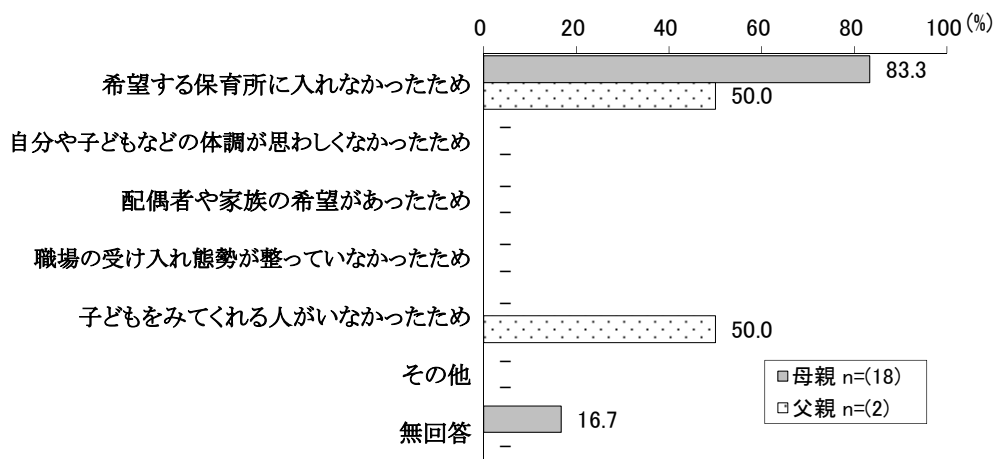
【希望より早く復帰した理由】



希望より早く職場復帰した理由では、母親は「希望する保育所に入るため」64.0%が最も高く、以下「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」24.0%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」20.0%となっています。

父親では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」100.0%となっています。

【希望より遅く復帰した理由】

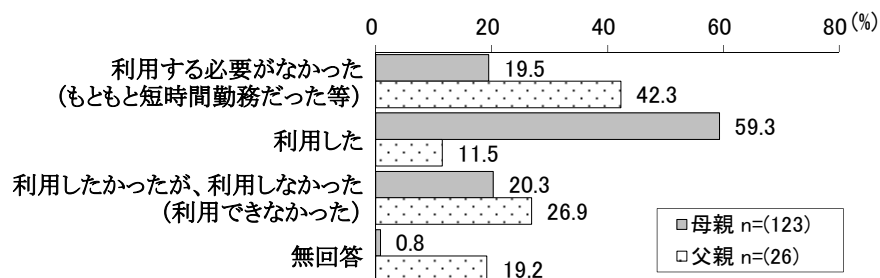


希望より遅く復帰した理由では、母親は「希望する保育所に入れなかったため」83.3%が最も高くなっています。

父親では、「希望する保育所に入れなかったため」50.0%、「子どもをみてる人がいなかったため」50.0%となっています。

（8）職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問26-7 問26-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

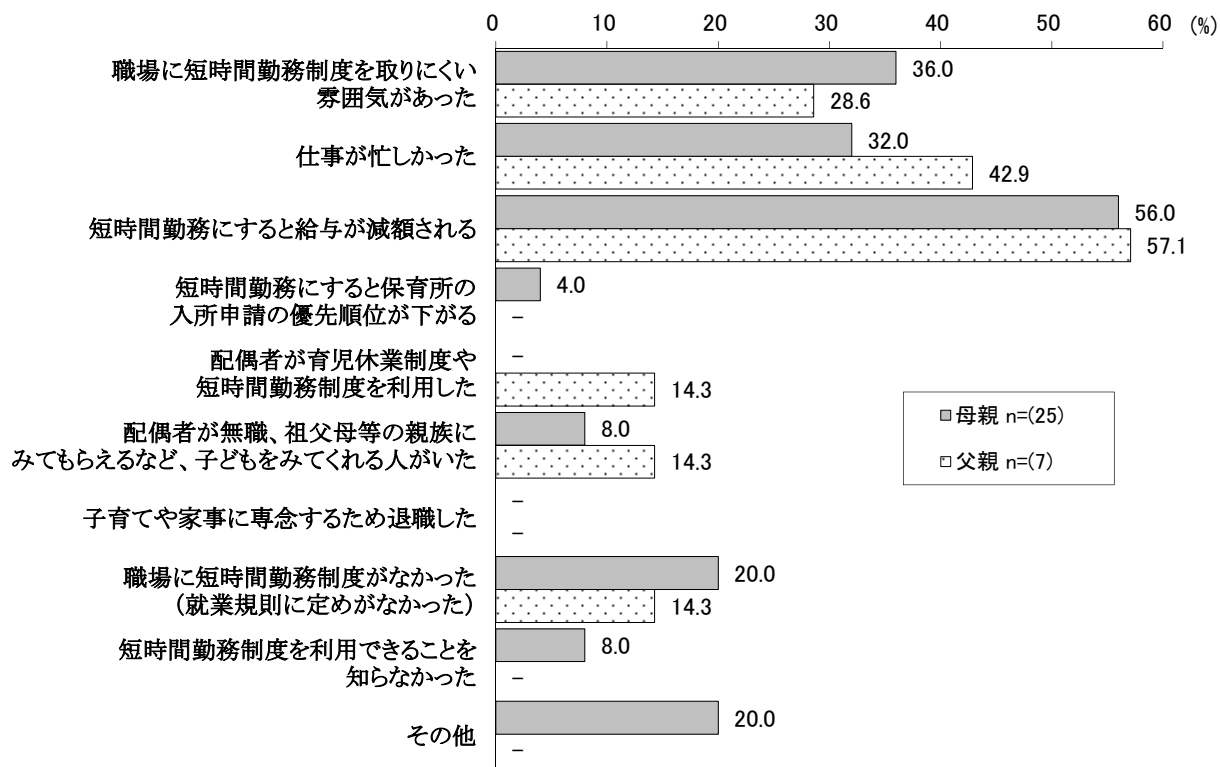


職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況では、母親は「利用した」59.3%が最も高く、以下「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」20.3%、「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務だった等）」19.5%となっています。

父親は「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務だった等）」42.3%が最も高く、以下「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」26.9%、「利用した」11.5%となっています。

（9）短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由

問26-8 問26-7で「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にお伺いします。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

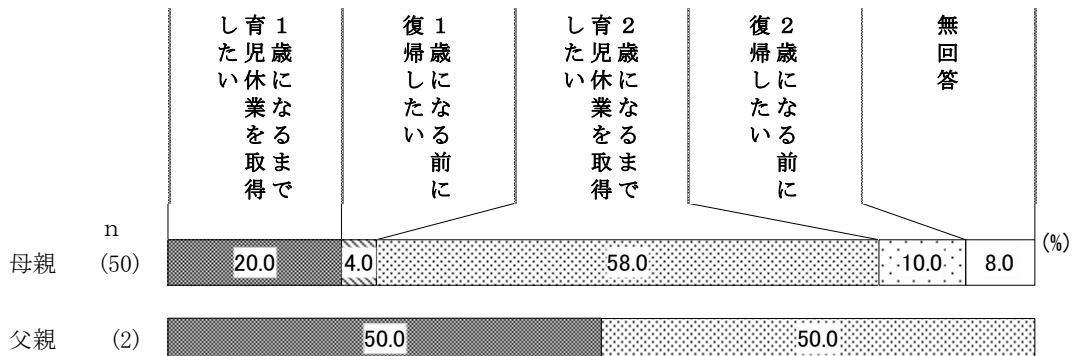


短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由では、母親は「短時間勤務にすると給与が減額される」56.0%が最も高く、以下「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」36.0%、「仕事が忙しかった」32.0%となっています。

父親では、「短時間勤務にすると給与が減額される」57.1%が最も高く、以下「仕事が忙しかった」42.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」28.6%となっています。

(10) 1、2歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得予定

問26-9 問26-2で「現在も育児休業中である」と回答した方にお伺いします。あて名のお子さんが1歳もしくは2歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳もしくは2歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳もしくは2歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

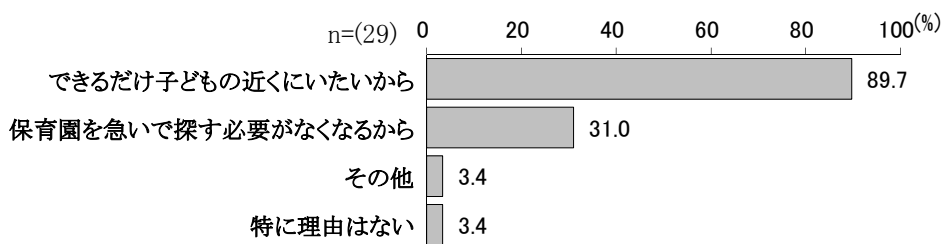


子どもが1歳もしくは2歳になったときに必ず利用できる事業があれば、それまで育児休業を取得するか、または預けられる事業があっても1歳もしくは2歳になる前に復帰するかを聞いたところ、母親は「2歳になるまで育児休業を取得したい」58.0%、「1歳になるまで育児休業を取得したい」20.0%、復帰を希望する人では「2歳になる前に復帰したい」10.0%、「1歳になる前に復帰したい」4.0%となっています。

父親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」50.0%、「2歳になるまで育児休業を取得したい」50.0%となっています。

(11) 育児休業を2歳になるまで取得したいと考える理由

問26-10 問26-9で「2歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した方にお伺いします。あなたが育児休業を2歳になるまで取得したいと考える理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

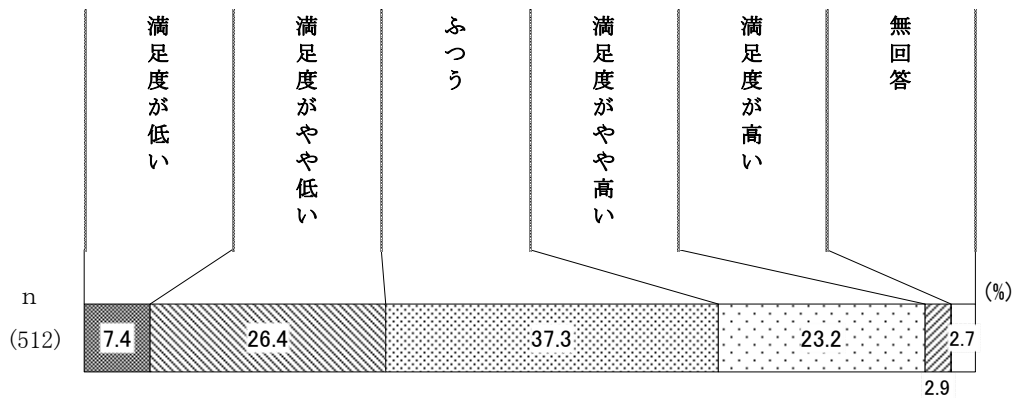


子どもが2歳になるまで育児休業を取得したい理由では、「できるだけ子どもの近くにいたいから」89.7%が最も高く、以下「保育園を急いで探す必要がなくなる」31.0%となっています。

10. 子育て全般

（1）町の子育ての環境や支援への満足度

問27 本町における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

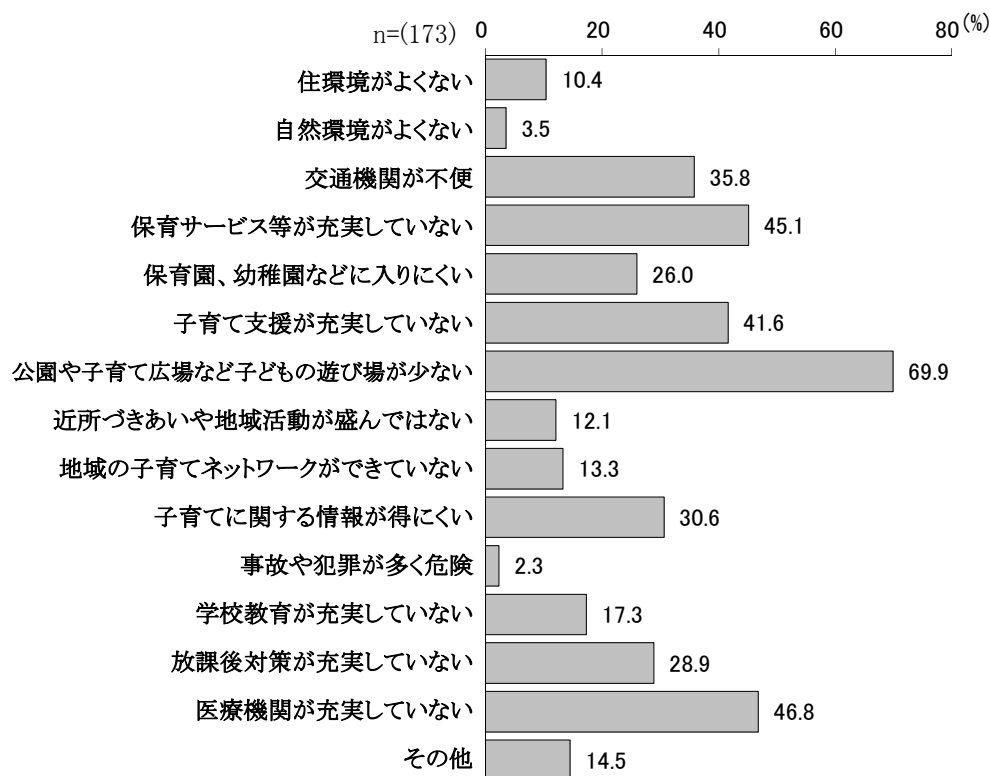


子育ての環境や支援への満足度では、「満足度が高い」2.9%、「満足度がやや高い」23.2%、「ふつう」37.3%となっており、満足度の高さは63.4%、一方、「満足度が低い」7.4%、「満足度がやや低い」26.4%となっており、満足度の低さは33.8%となっています。

（2）その満足度の理由

問27-1 問27の回答の理由をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

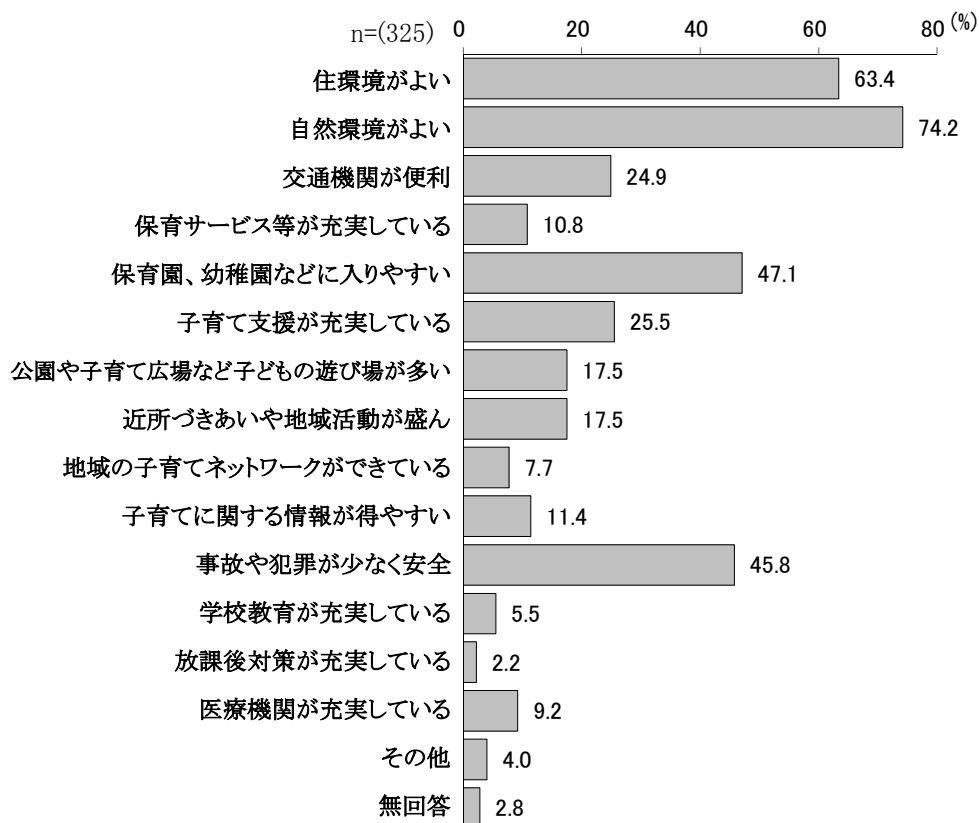
【「満足度が低い」、「満足度がやや低い」に回答した理由】



満足度が低い理由では、「公園や子育て広場など子どもの遊び場が少ない」69.9%が最も高く、以下「医療機関が充実していない」46.8%、「保育サービス等が充実していない」45.1%、「子育て支援が充実していない」41.6%となっています。

第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

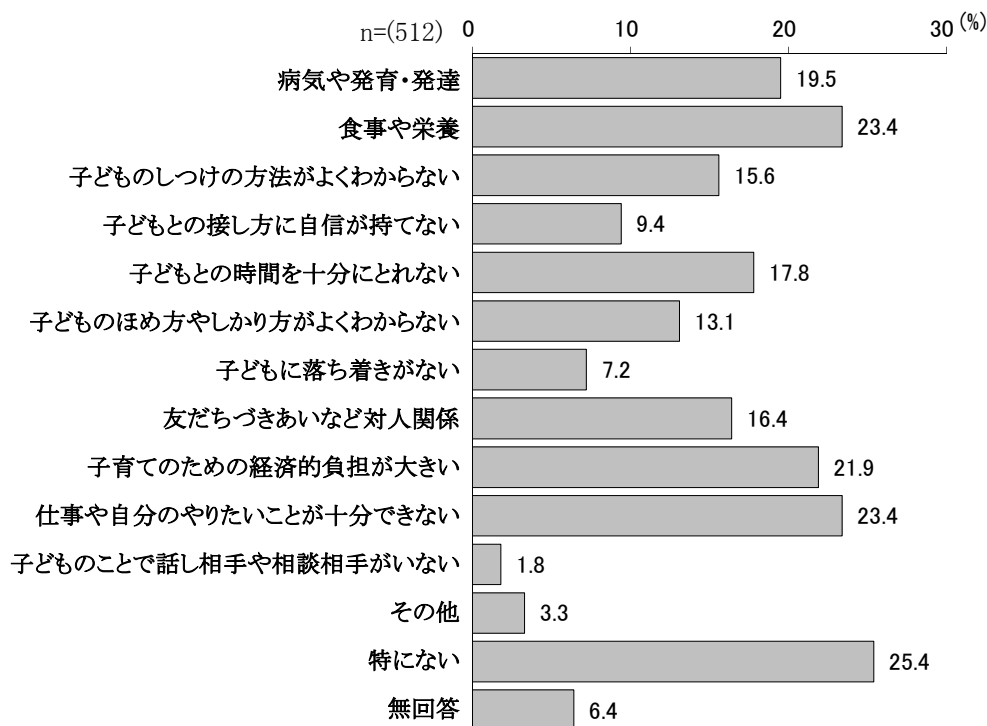
【「満足度が高い」、「満足度がやや高い」、「ふつう」に回答した理由】



満足度が高い理由では、「自然環境がよい」74.2%が最も高く、以下「住環境がよい」63.4%、「保育園、幼稚園などに入りやすい」47.1%、「事故や犯罪が少なく安全」45.8%となっています。

（3）子育てに関して悩んでいること、気になること

問28 子育てに関して悩んでいること、又は気になることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

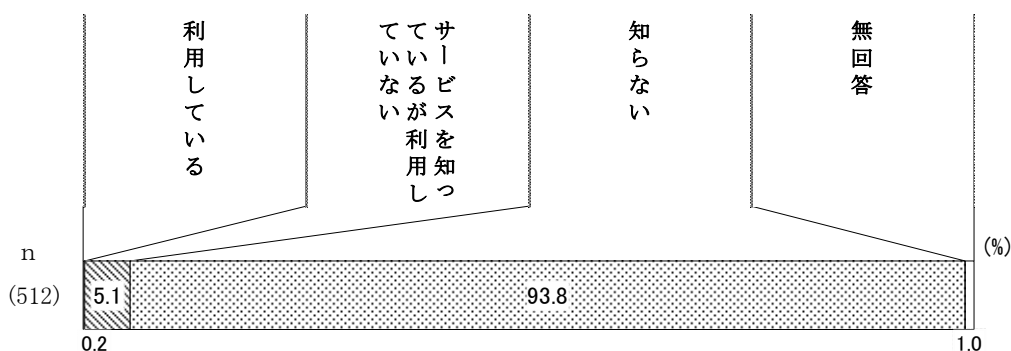


子育てに関して悩んでいること、気になることでは、「食事や栄養」と「仕事や自分のやりたいことが十分できない」23.4%の2項目が同率で最も高く、「子育てのための経済的負担が大きい」21.9%となっています。また、「特にない」25.4%となっています。

（4）子育てワンストップサービスの利用状況

問29 子育てワンストップサービスについてお伺いします。あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

「子育てワンストップサービス」… 地方公共団体の子育てに関するサービスの検索や、オンライン申請が可能です。本町では現状、児童手当の現況届けのみ利用可能ですが、今後、多種の手続きが可能になる見込みです。利用には「マイナンバーカード」と「カードリーダー」（有償）が必要となります。

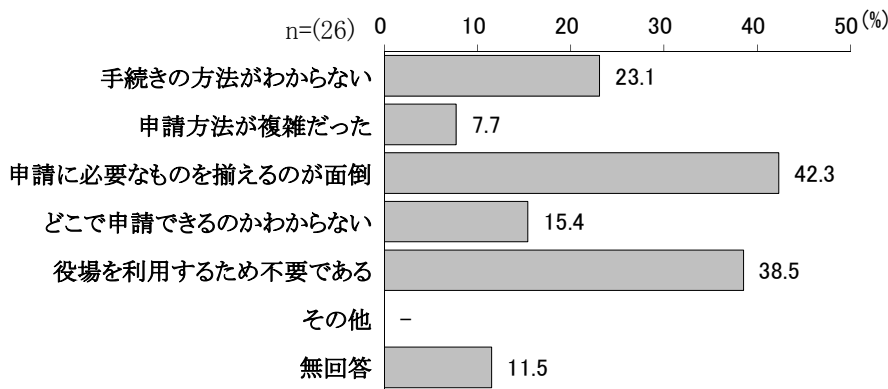


子育てワンストップサービスの利用状況では、「利用している」0.2%とわずかで、「サービスを知っているが利用していない」5.1%となっています。一方、「知らない」93.8%と高くなっています。

（5）子育てワンストップサービスを利用していない理由

問29-1 問29で「サービスを知っているが利用していない」に○をつけた方にお伺いします。サービスを知っていて利用しない理由はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「子育てワンストップサービス」… 地方公共団体の子育てに関するサービスの検索や、オンライン申請が可能です。本町では現状、児童手当の現況届けのみ利用可能ですが、今後、多種の手続きが可能になる見込みです。利用には「マイナンバーカード」と「カードリーダー」（有償）が必要となります。



子育てワンストップサービスを知っていて利用しない理由では、「申請に必要なものを揃えるのが面倒」42.3%が最も高く、以下「役場を利用するため不要である」38.5%、「手続きの方法がわからない」23.1%となっています。

11. 自由意見

(1) 自由記述

最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

※1人で2つ以上の内容が記述されている場合は、それぞれ1とカウントしているため、下表の件数は延べ件数となる。

幼稚園・保育園について	124
預かり保育・一時保育の充実	28
保育園数・利用時間（曜日）の拡充	18
駐車場の設置・増設	13
保育環境の充実	10
保育園/幼稚園の整備（老朽化等）・屋外遊具に屋根を設置	9
保育士の待遇改善	8
保育園の質の向上・確保、保育士の意識改革	7
公立の保育園/幼稚園・こども園の設置	6
保育料の見直し	5
入園時期の多様化・情報開示の早期化	3
給食提供について	3
入所条件の改善・検討	3
PTA関係の仕事が負担	3
保育事業の長期休み利用の充実	2
保育園の行事を増やしてほしい	2
保育園のセキュリティ強化	2
保育園の先生方への感謝	1
入所方法の説明	1
遊び場について	152
公園の整備・遊具の充実	57
公園の増設・公園が少ない	22
室内で遊べる施設の増設	19
子どもが気軽に遊べる公園（ボール遊び等）	17
安心して遊べる公園・広場（水遊び場など）の提供	14
プールの整備・再開・増設	9
自然を通じて学べる（遊べる）場所を残してほしい	6
同月齢の子どもが集まれる場所の提供	4
ラディアンの利用について	4

交通について	28
道路・歩道・住宅地の整備	10
信号機・標識・街灯などの設置	6
移動支援（バス運行）	6
シルバー人材の派遣（交通安全活動、学力支援など）	3
交通環境の整備（交通マナー）	3
情報について	20
情報の開示・発信方法の検討	9
町ホームページの活用・充実	5
取り組みを知る機会がない	4
相談窓口の情報提供	2
保健・医療について	57
医療機関の充実（産科・小児科・皮膚科など）	20
保健センターの設備改善、駐車場の増設など	13
医療費負担の軽減・助成・所得制限	8
休日・夜間診療等の充実、相談機関の配置	7
定期検診の改善（曜日・時間・場所）・要望	5
育児相談の機会を増やしてほしい	2
保健センターの方への感謝	2
育児・保育サービスについて	70
子育てサロンの充実・増設・駐車場の設置	29
病児・病後児の保育	12
障がい児の支援施設・専門家の配置、質の向上	11
ファミリー・サポート・センター等子育て支援施策の充実、価格の見直し	6
出産・産後サポート	3
育児支援に満足（マタニティ教室等）	3
発達支援センターの配置、時間の延長	3
子育て支援・相談窓口等について	2
親が病気の際のサポート	1

第2章 調査結果の詳細（就学前児童）

教育について	57
小・中学校の整備（エアコン・プール等の設置）、老朽化	9
学校・学区整備、統合	7
教育の強化、自然を生かした教育	6
放課後の過ごし方（空き教室での習い事など）	5
習い事環境充実	3
学童保育の充実（長期休暇の時など）	3
児童館の開放、整備	3
学校のPTA関係の仕事が負担	3
学童保育の利用料が高い・無償化希望	2
少人数クラスの実現	2
町立と私立で教育・行事に差がある	2
長期休み中の教育事業利用	2
スクールバス・自転車通学の導入（中学校）	2
小学校の通学路の改善（迂回路が遠い）、整備	2
コミュニティスクールの活用	1
教育現場間での連携・交流	1
夏期プール講座などの開催	1
タブレット実習の廃止（小学校）	1
教育費の無償化（小・中・高）	1
校内の防犯について	1
市制について	33
子育て支援の強化・充実	6
イベントの充実	5
相談窓口の充実・質の向上	5
助成金の充実	5
子育て・こども会・幼稚園への行政参入	4
非営利活動の支援	2
職員の意識改革	2
ひとり親家庭の所得制限見直し	1
町役場と保健センターとの連携	1
育児相談のアドバイスが適切	1
町キャラクターの活用	1

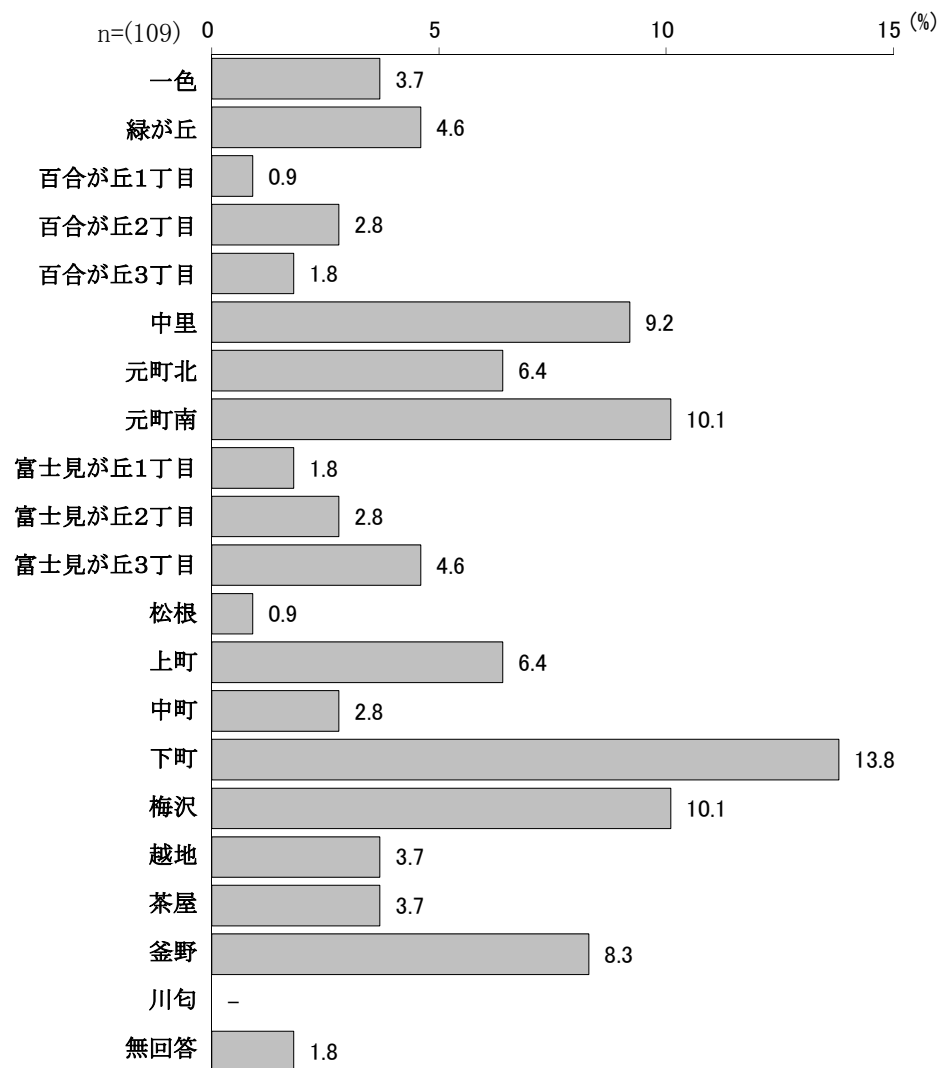
生活・環境について	43
店舗が少ない・施設の充実（授乳室など）	12
交流のある町づくり・孤立の防止	7
駅周辺の活性化（スーパー・ドラッグストアなど）	6
子育てサークルの拡大・整備	3
地域・周囲の子育てへの理解	3
野良猫、猫の放し飼い、野良猫のエサやり、犬のフン	3
自然が豊かで子育てには良い町	2
防犯対策（防犯カメラの設置、見守りなど）	2
異文化交流のできる環境	2
子どもと気軽に立ち寄れる場所の提供	1
公共施設内の喫煙所位置の改善	1
空き家の改善、県営住宅等の老朽化	1
就労について	2
ワークスペースの提供（ローカルワーク、モバイルワーク制度）	1
子どもが体調不良のときに親が休みやすい環境づくり	1
アンケートについて	15
現状に満足	2
その他	36

合計：639件

第3章 調査結果の詳細（小学生）

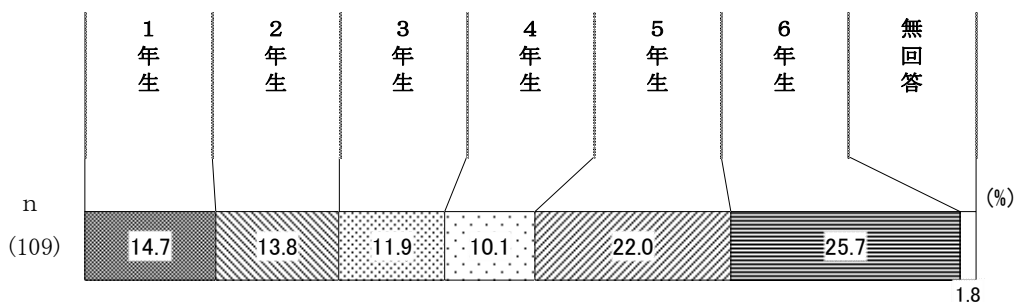
1. 居住地区と子どもと家族の状況

(1) 居住地区



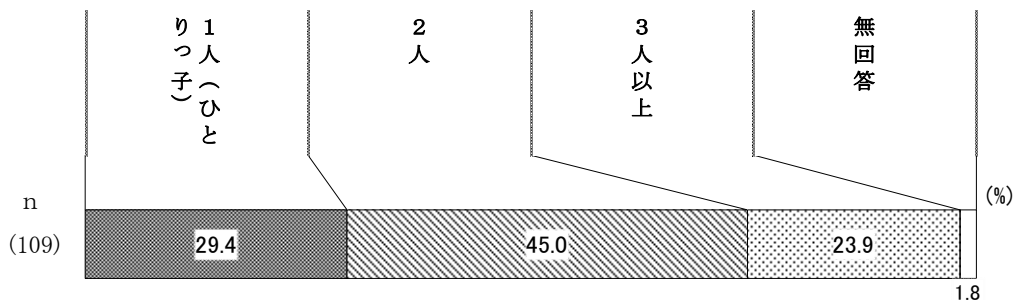
居住地区では、「下町」13.8%が最も高く、以下「元町南」10.1%、「梅沢」10.1%、「中里」9.2%、「釜野」8.3%となっています。

(2) 子どもの学年



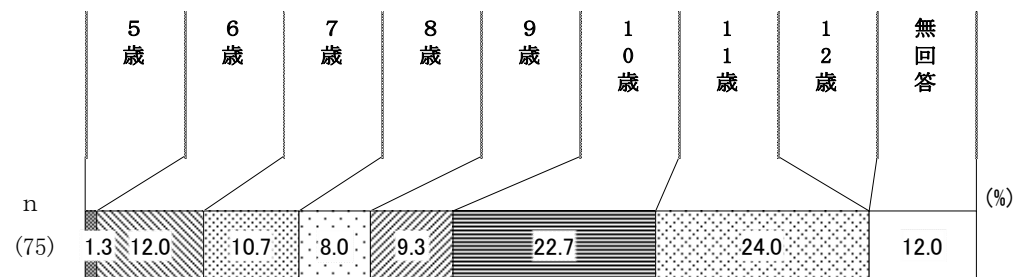
子どもの学年では、「6年生」25.7%が最も高く、以下「5年生」22.0%、「1年生」14.7%、「2年生」13.8%、「3年生」11.9%、「4年生」10.1%となっています。

(3) 兄弟姉妹人数



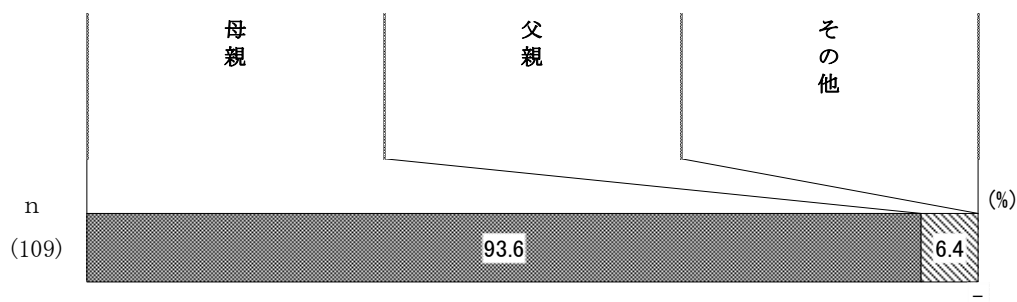
兄弟姉妹人数では、「2人」45.0%が最も高く、「3人以上」23.9%となっており、兄弟姉妹のいる世帯は68.9%、「1人(ひとりっ子)」29.4%となっています。

(4) 末子の年齢（ひとりっ子を除く）



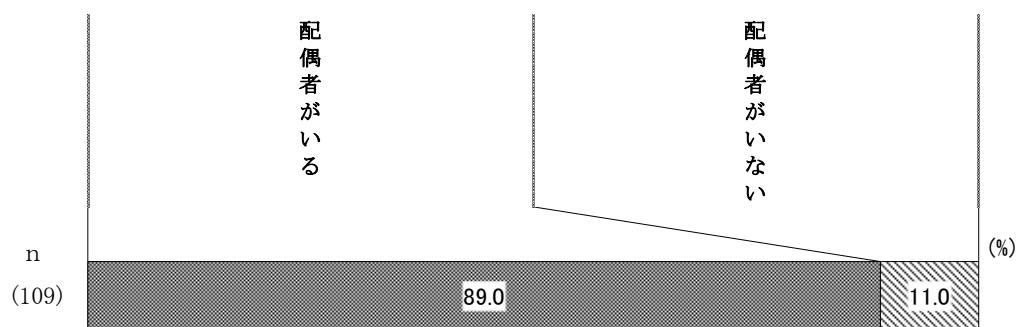
末子の年齢（ひとりっ子を除く）では、「11歳」24.0%が最も高く、以下「10歳」22.7%、「6歳」12.0%、「7歳」10.7%となっています。

(5) 調査票回答者



調査票回答者では、「母親」93.6%、「父親」6.4%となっています。

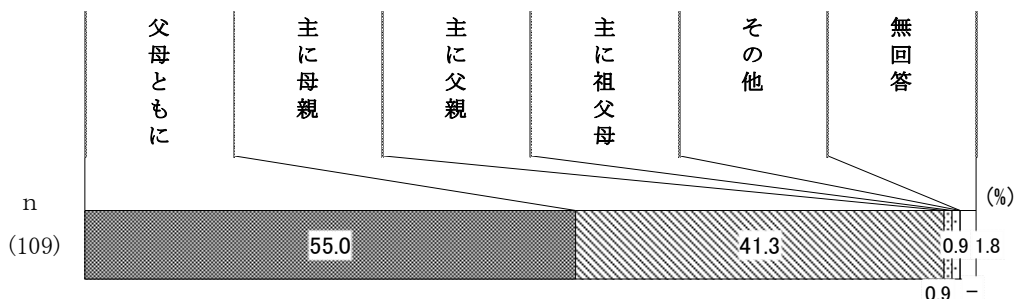
(6) 回答者の配偶関係



回答者の配偶関係では、「配偶者がいる」89.0%、「配偶者がいない」11.0%となっています。

（7）子育て（教育を含む）を主にしている人

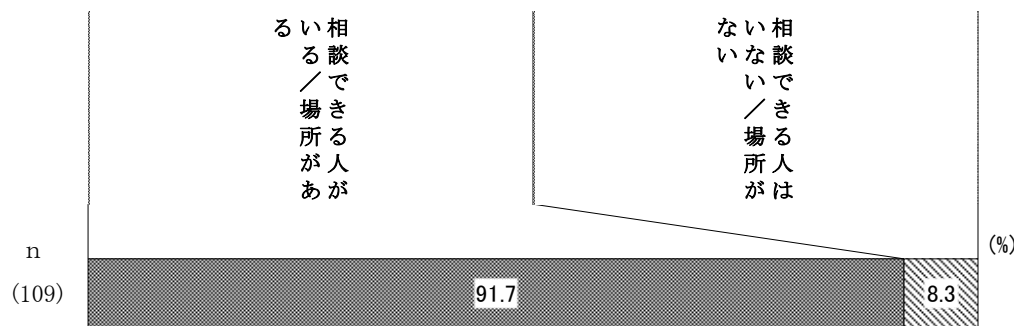
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方として、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。



子育て（教育を含む）を主にしている人では、「父母ともに」55.0%が最も高く、以下「主に母親」41.3%、「主に父親」0.9%、「主に祖父母」0.9%となっています。

（8）子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人及び場所の有無

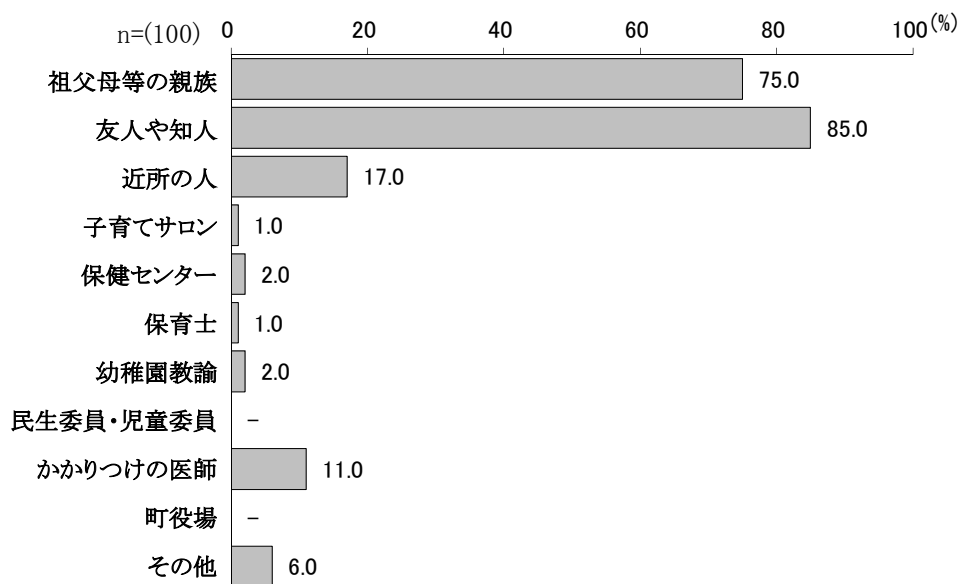
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人及び場所の有無では、「相談できる人がある／場所がある」91.7%、「相談できる人はいない／場所がない」8.3%となっています。

（9）子育て（教育を含む）に関する相談先

問7-1 問7で「相談できる人がいる／場所がある」に○をつけた方にお伺いします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

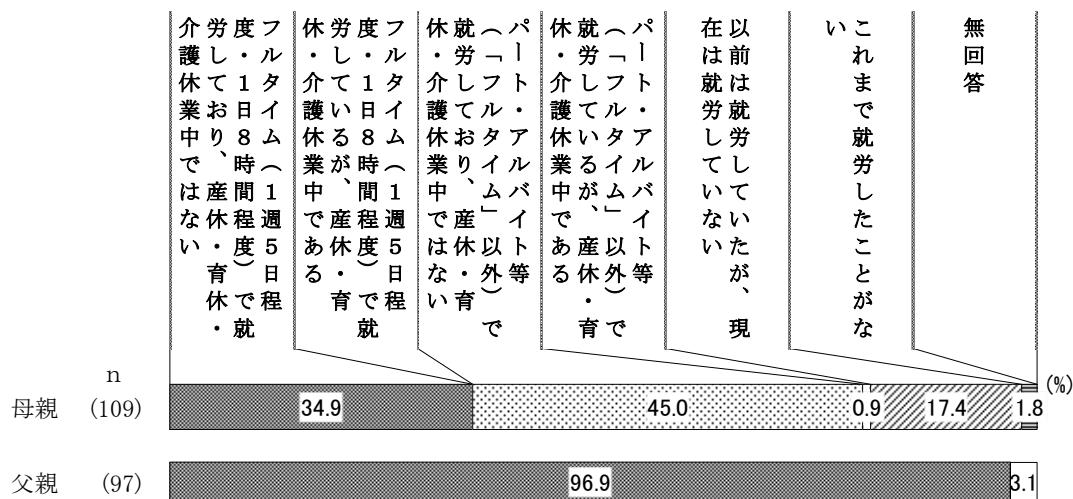


子育て（教育を含む）に関する相談先では、「友人や知人」85.0%が最も高く、以下「祖父母等の親族」75.0%、「近所の人」17.0%、「かかりつけの医師」11.0%となっています。

2. 保護者の就労状況

（1）保護者の就労状況

問8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をお伺いします。



母親では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」45.0%が最も高く、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」34.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」17.4%となっています。

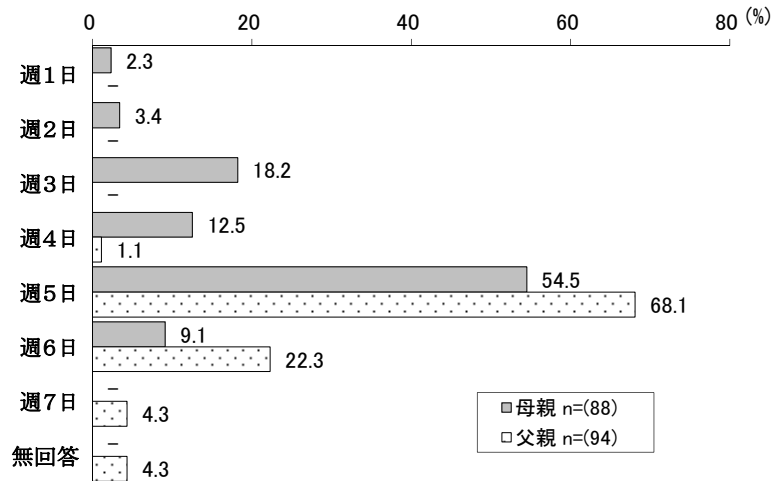
父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」96.9%が最も高くなっています。

（2）就労日数と就労時間

問8-1 問8の（1）（2）で就労しているに○をつけた方にお伺いします。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてご記入ください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

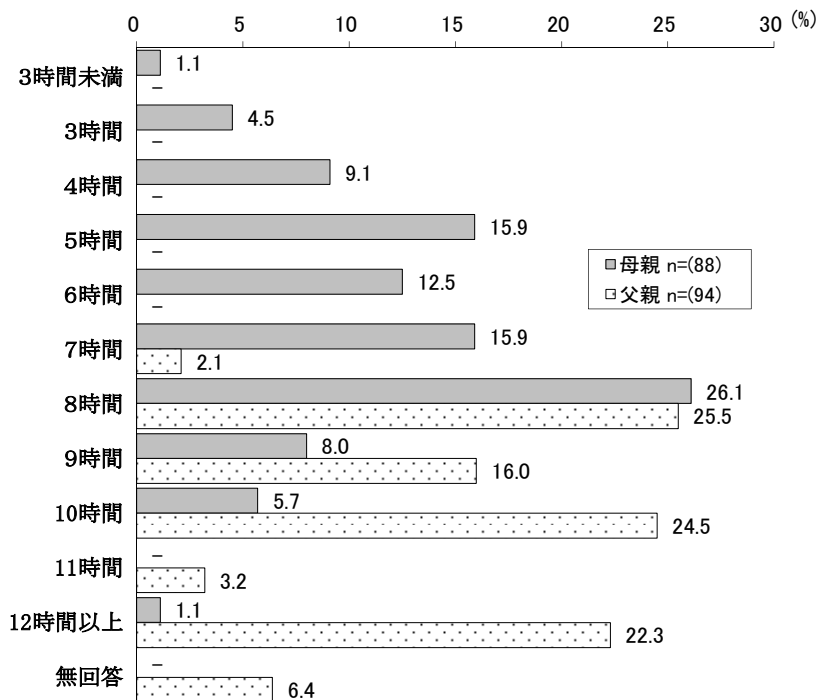
【就労日数】



母親では、「週5日」54.5%が最も高く、以下「週3日」18.2%、「週4日」12.5%となっています。

父親では、「週5日」68.1%が最も高く、以下「週6日」22.3%、「週7日」4.3%となっています。

【就労時間】



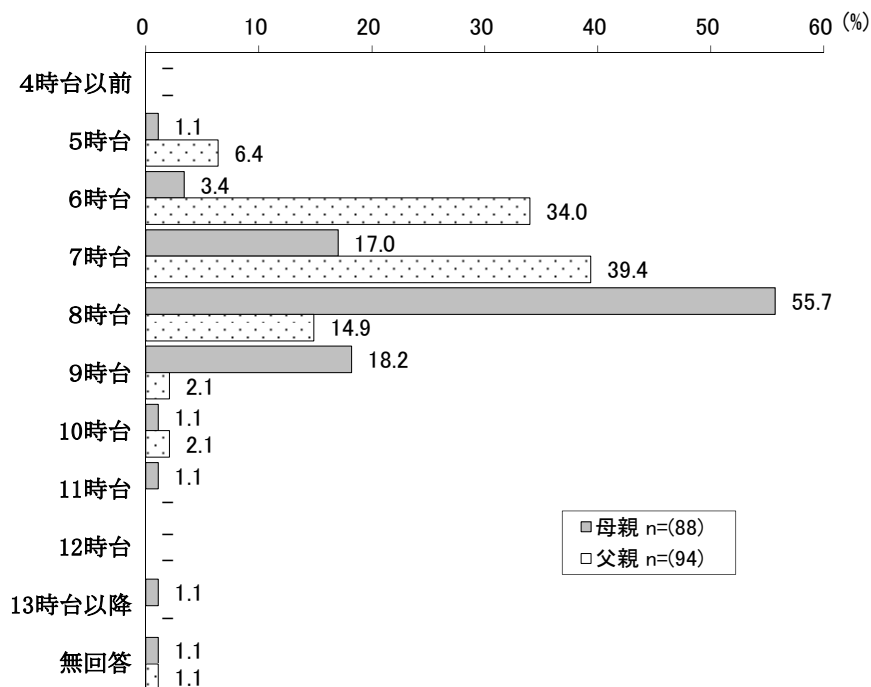
母親では、「8時間」26.1%が最も高く、以下「5時間」15.9%、「7時間」15.9%となっています。

父親では、「8時間」25.5%が最も高く、以下「10時間」24.5%、「12時間以上」22.3%となっています。

（3）保護者の外出時刻と帰宅時刻

問8-2 問8の（1）（2）で就労しているに○をつけた方にお伺いします。家を出る時刻と帰宅時刻をご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

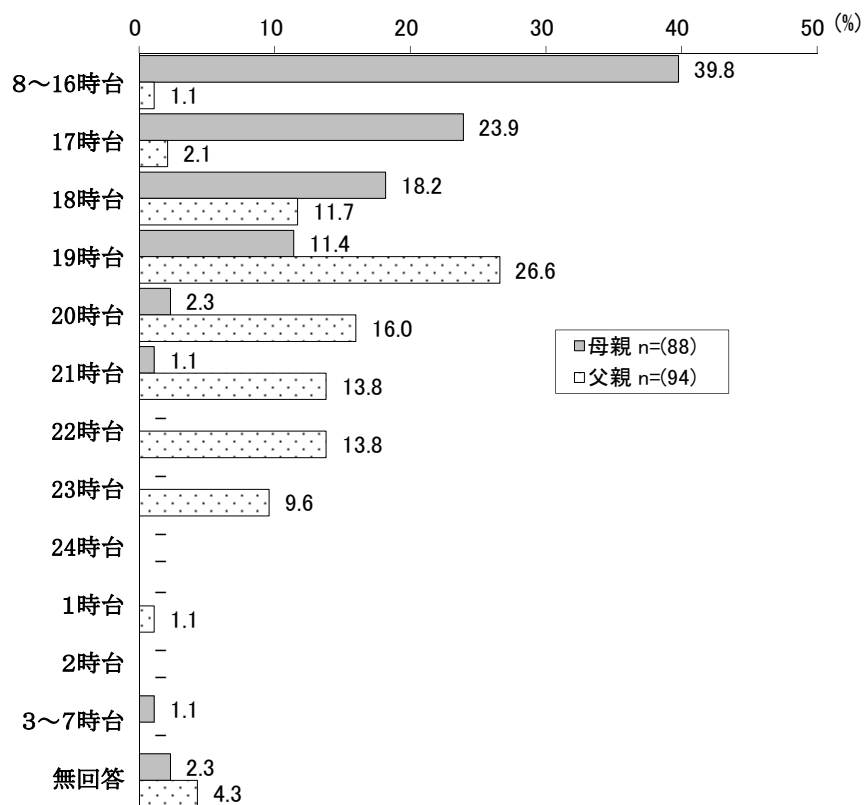
【家を出る時刻】



母親では、「8時台」55.7%が最も高く、以下「9時台」18.2%、「7時台」17.0%となっています。

父親では、「7時台」39.4%が最も高く、以下「6時台」34.0%、「8時台」14.9%となっています。

【帰宅時刻】

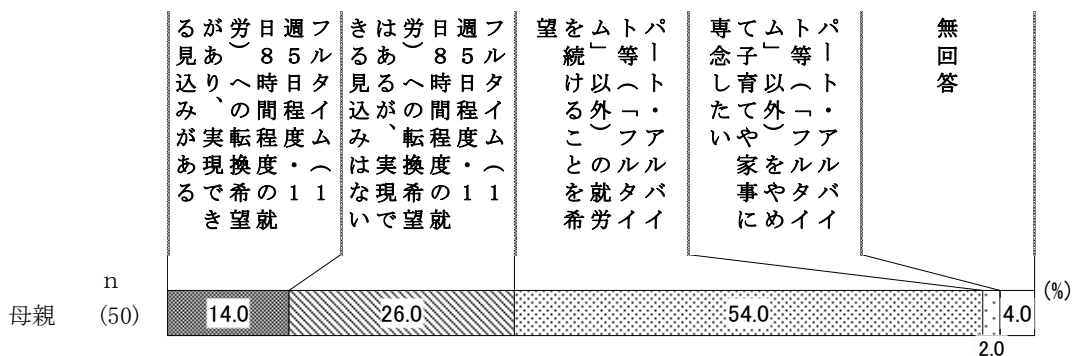


母親では、「8～16時台」39.8%が最も高く、以下「17時台」23.9%、「18時台」18.2%となっています。

父親では、「19時台」26.6%が最も高く、以下「20時台」16.0%、「21時台」13.8%、「22時台」13.8%、「18時台」11.7%となっています。

（4）フルタイムへの転換希望

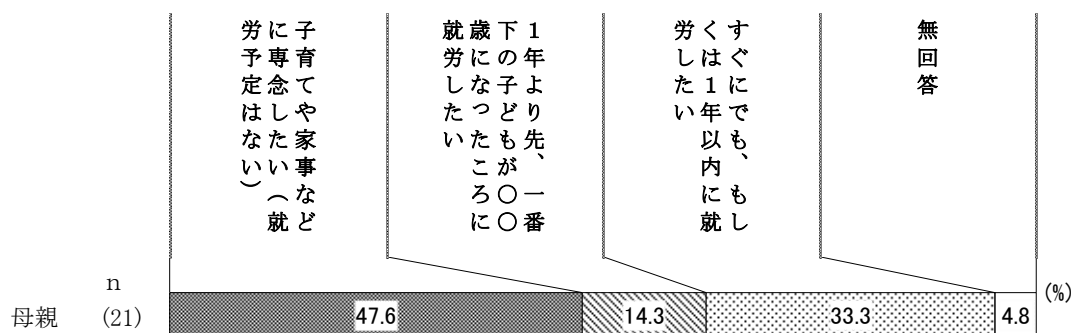
問8-3 問8の（1）（2）でパート・アルバイト等で就労しているに○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



母親では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」54.0%が最も高く、以下「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」26.0%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」14.0%となっています。

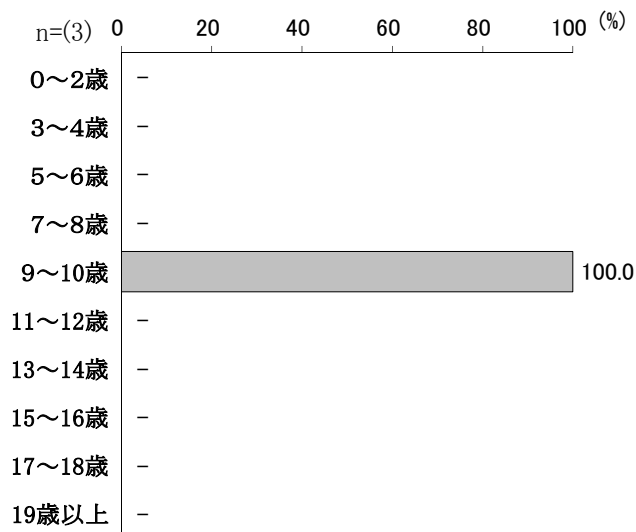
（5）就労希望と希望する就労形態

問8-4 問8の（1）（2）で就労していない（したことがない）に○をつけた方にお伺いします。就労希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれに1つだけ○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。



母親では、「子育てや家事などに専念したい（就労予定はない）」47.6%が最も高く、以下「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」33.3%、「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」14.3%となっています。

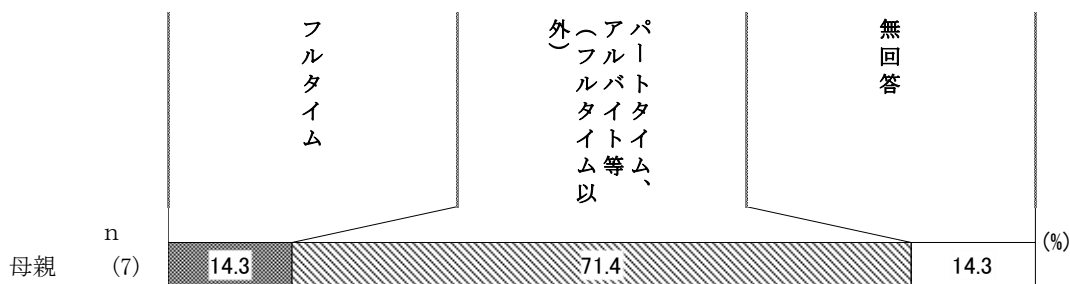
【末子の年齢による就労意向（母親）】



母親では、「9～10歳」100.0%となっています。

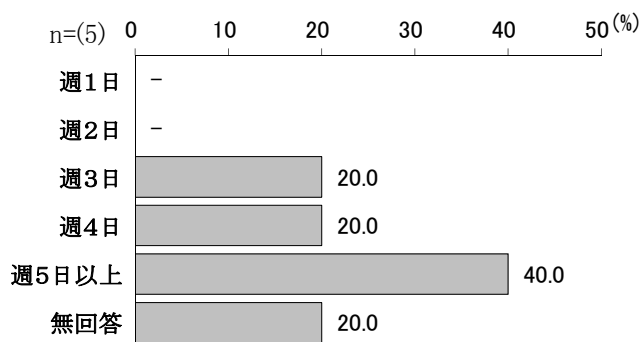
第3章 調査結果の詳細（小学生）

【希望する就労形態（母親）】

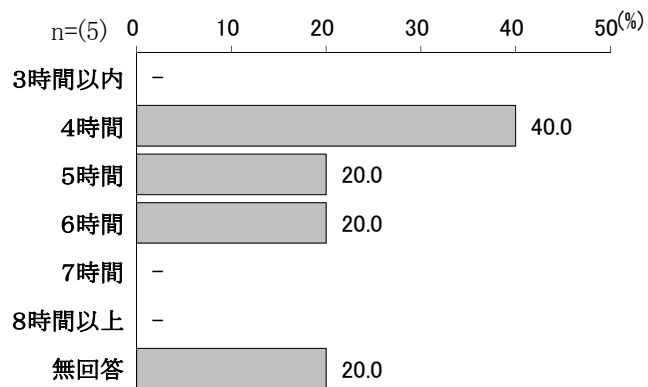


希望する就労形態は、母親では、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」71.4%、「フルタイム」14.3%となっています。

【希望する就労日数（母親）】



【希望する就労時間（1日当たり）（母親）】



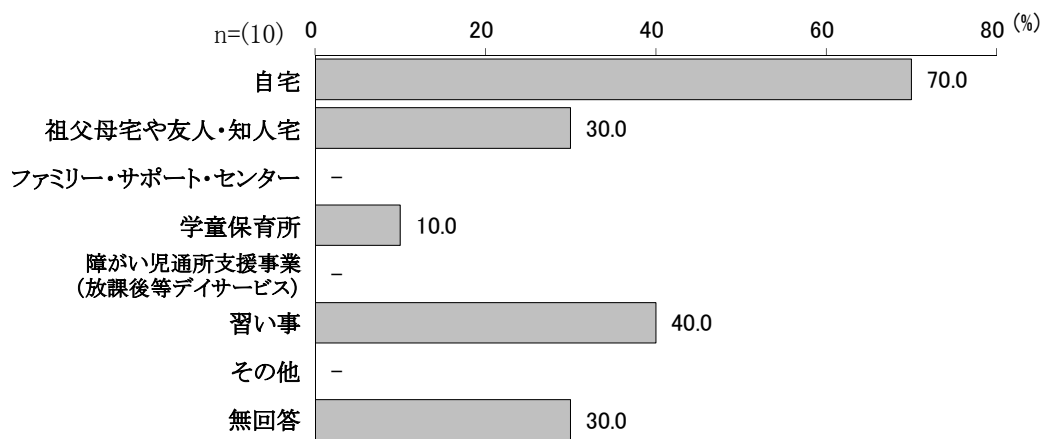
就労日数は、母親では、「週5日以上」40.0%が最も高く、以下「週3日」20.0%、「週4日」20.0%となっています。

希望する就労時間は、母親では、「4時間」40.0%が最も高く、以下「5時間」20.0%、「6時間」20.0%となっています。

（6）就労開始後の放課後の子どもの居場所

問8-5 問8-4の（1）（2）で「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に〇をつけた方にお伺いします。仕事を始めた後、対象のお子さんは放課後の時間をどのような場所で過ごしますか。あてはまる番号すべてに〇をつけてください。

【仕事開始後の放課後の子どもの居場所（母親）】

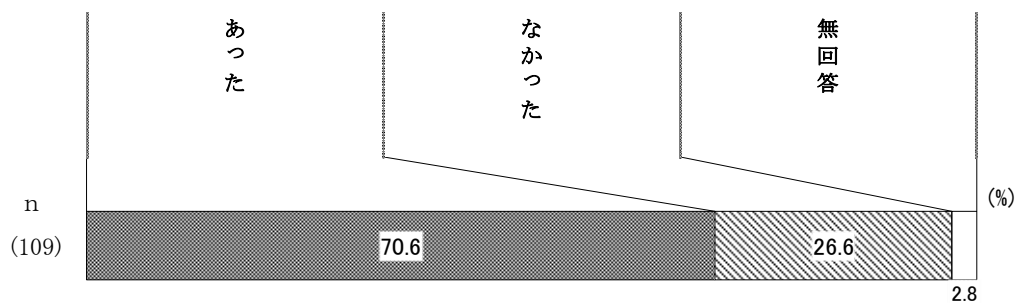


就労開始後の放課後の子どもの居場所は、母親では、「自宅」70.0%が最も高く、以下「習い事」40.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」30.0%、「学童保育所」10.0%となっています。

3. 子どもの病気の際の対応

（1）子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったこと

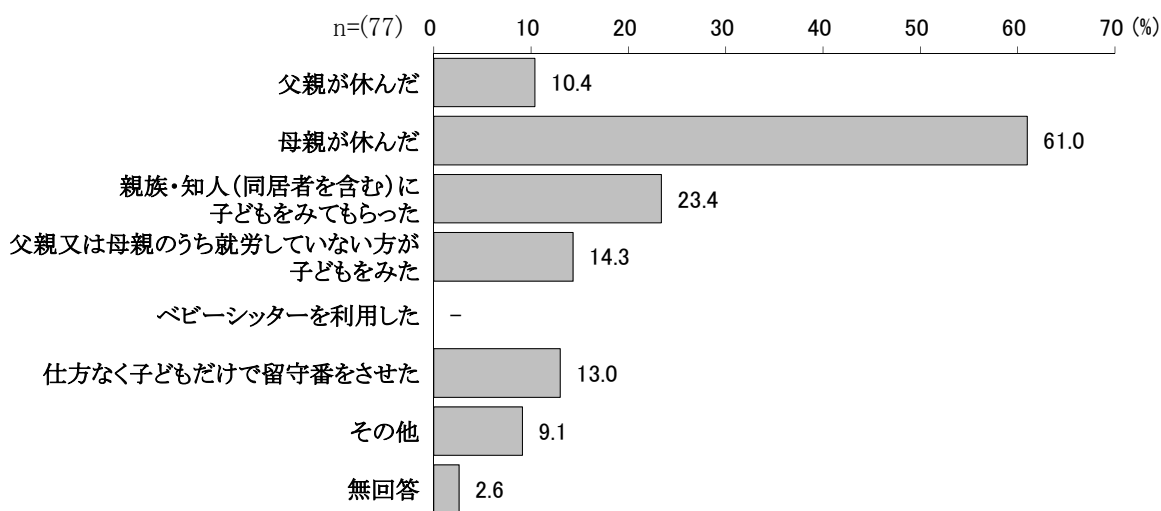
問9 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったことでは、「あった」70.6%、「なかった」26.6%となっています。

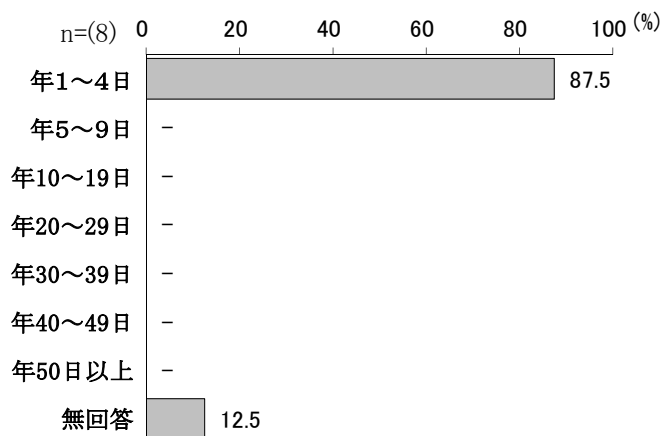
（2）子どもが病気やケガで小学校に通学できなかった場合の対処方法

問9-1 あて名のお子さんが病気やケガで小学校に通学できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）



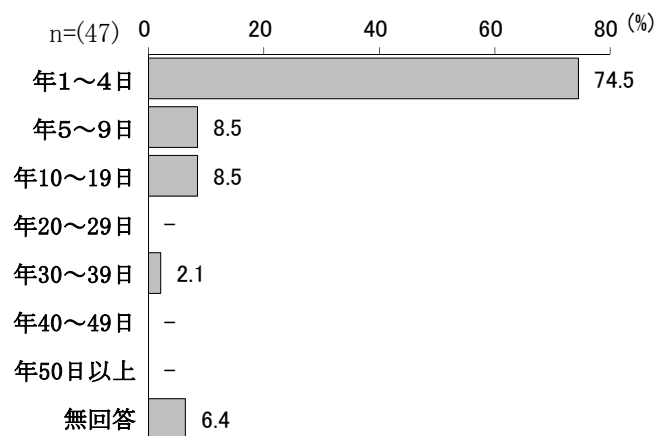
この1年間の病気やケガの時の対処方法では、「母親が休んだ」61.0%が最も高く、以下「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」23.4%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」14.3%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」13.0%となっています。

【1. 父親が休んだ】



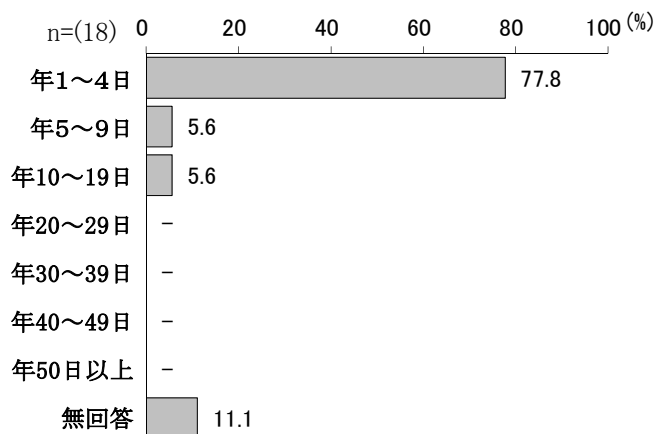
父親が休んだでは、「年1~4日」87.5%となっています。

【2. 母親が休んだ】



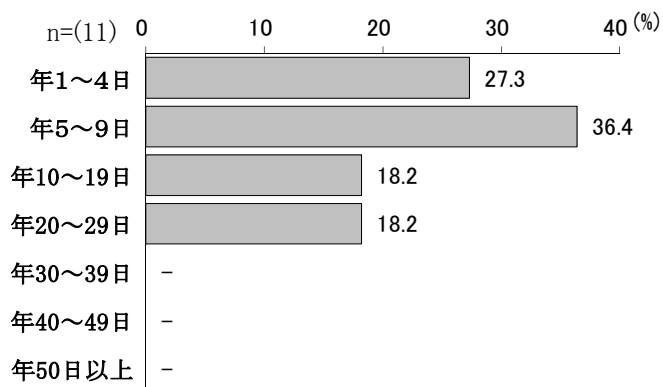
母親が休んだでは、「年1~4日」74.5%が最も高く、以下「年5~9日」8.5%、「年10~19日」8.5%となっています。

【3. 親族・知人に子どもをみてもらった】



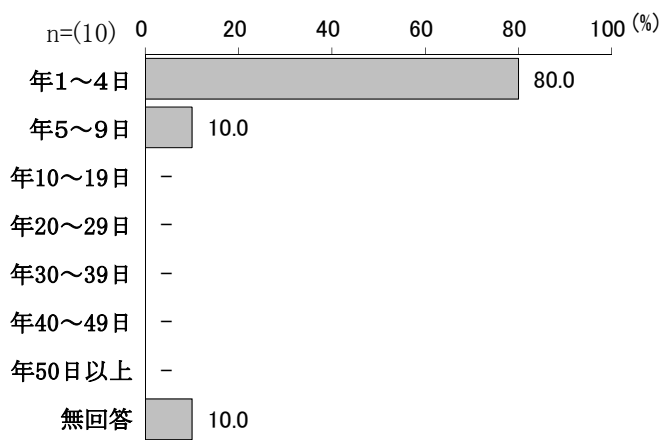
親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらったでは、「年1～4日」77.8%が最も高く、以下「年5～9日」5.6%、「年10～19日」5.6%となっています。

【4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた】



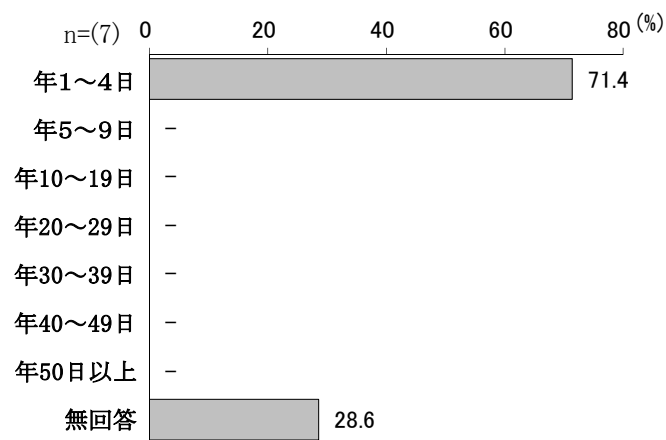
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみたでは、「年5～9日」36.4%が最も高く、以下「年1～4日」27.3%、「年10～19日」18.2%、「年20～29日」18.2%となっています。

【6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



仕方なく子どもだけで留守番をさせたでは、「年1～4日」80.0%が最も高く、以下「年5～9日」10.0%となっています。

【7. その他】

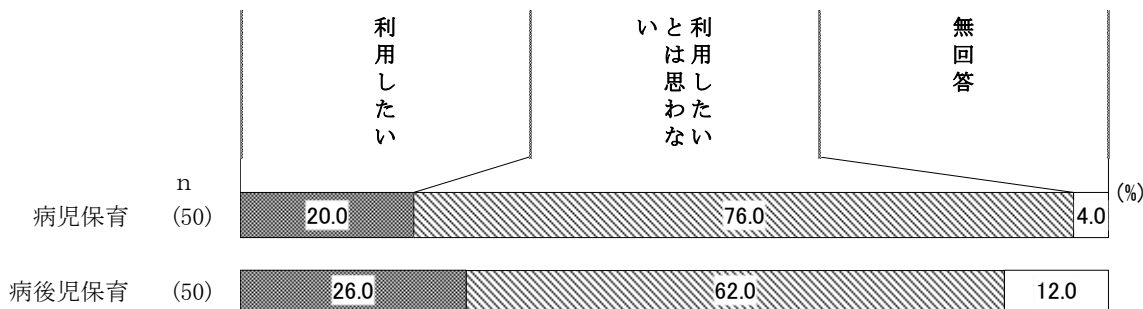


その他では、「年1～4日」71.4%となっています。

（3）病児・病後児のための保育施設等の利用希望

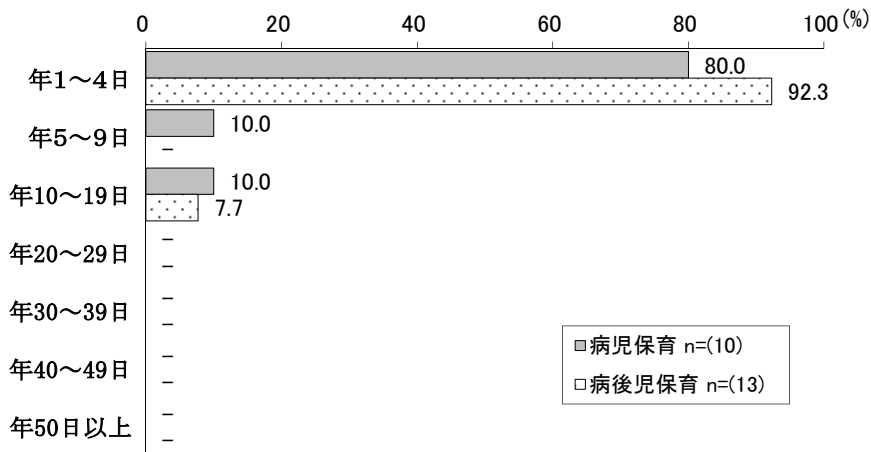
問9-2 問9-1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」に○をつけた方にお伺いします。その際、小学生が利用できる病児・病後児のための保育施設等があれば利用したいと思いませんか。①病児保育・②病後児保育それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけ、枠内に利用日数をご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



病児・病後児のための保育施設等の利用希望では、「利用したい」は病後児保育26.0%、病児保育20.0%となっています。一方、「利用したいとは思わない」は病児保育76.0%、病後児保育62.0%となっています。

【利用希望日数】

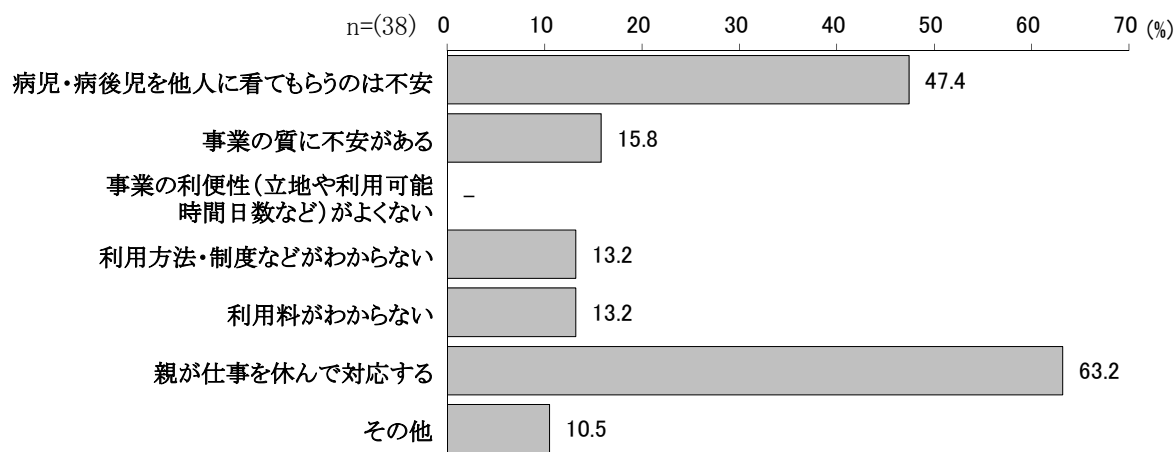


病児保育の利用希望日数では、「年1～4日」80.0%が最も高く、以下「年5～9日」10.0%、「年10～19日」10.0%となっています。

病後児保育の利用希望日数は、「年1～4日」92.3%が最も高く、以下「年10～19日」7.7%となっています。

（4）病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

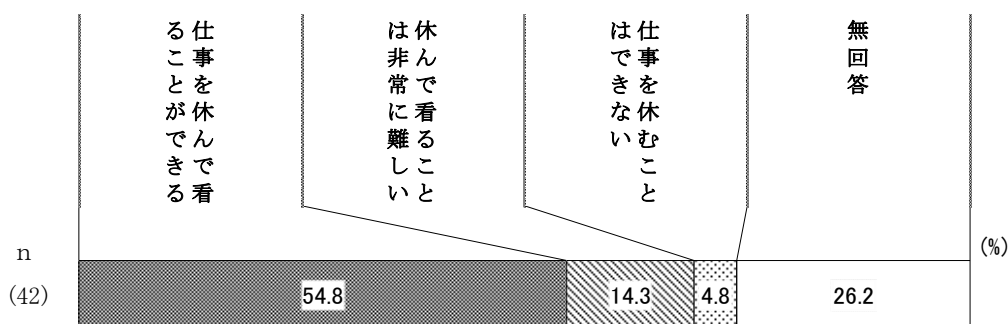
問9-3 問9-2で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



病児・病後児保育施設等を利用したくない理由では、「親が仕事を休んで対応する」63.2%が最も高く、以下「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」47.4%、「事業の質に不安がある」15.8%となっています。

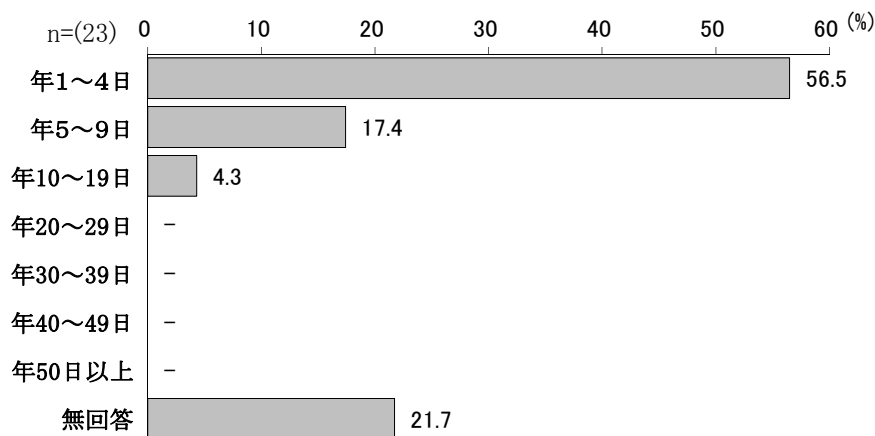
（5）病気等で事業が利用できなかった場合、父母のいずれかが仕事を休むこと

問9-4 問9-1で「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」、「ベビーシッターを利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」、「その他」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、仕事を休んで見たかった日数についても、枠内にご記入ください。



子どもが病気やケガの時に事業が利用できなかった場合、父母のいずれかが仕事を休むことでは、「仕事を休んで見ることができる」54.8%、「休んで見ることは非常に難しい」14.3%、「仕事を休むことはできない」4.8%となっています。

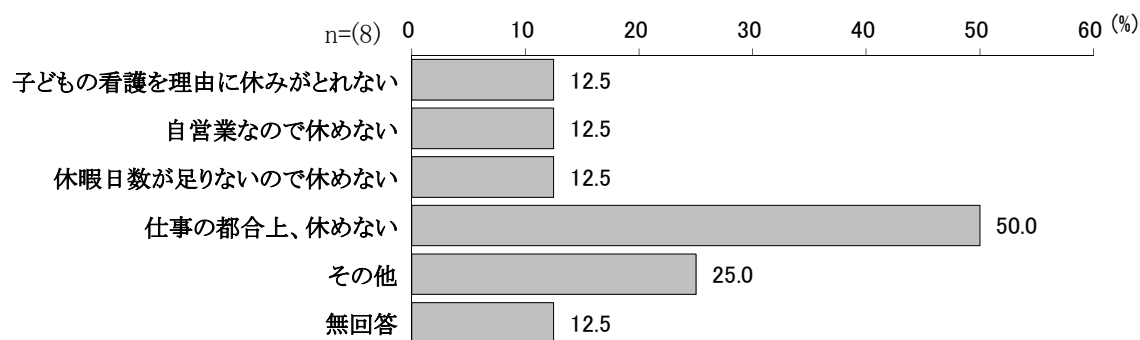
【仕事を休んで見たかった日数】



仕事を休んで見たかった日数では、「年1~4日」56.5%が最も高く、以下「年5~9日」17.4%、「年10~19日」4.3%となっています。

（6）休んで看ることが困難、あるいは不可の理由

問9-5 問9-4で「休んで看ことは非常に難しい」または「仕事を休むことはできない」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

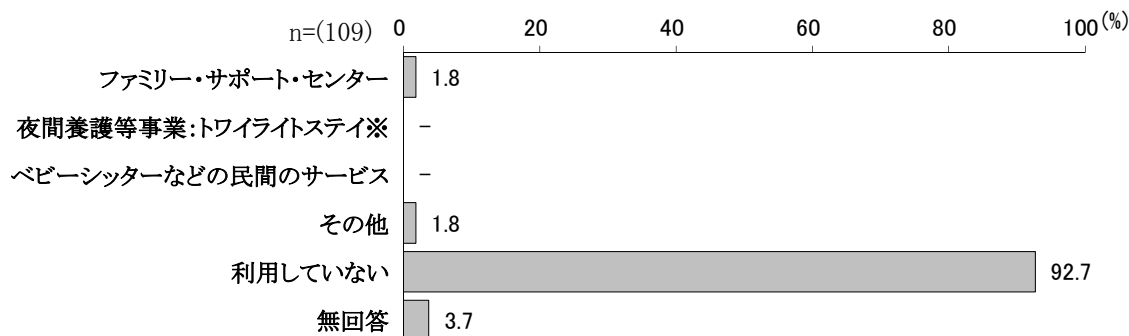


仕事を休んで看ることが難しい理由では、「仕事の都合上、休めない」50.0%が最も高く、「子どもの看護を理由に休みがとれない」12.5%、「自営業なので休めない」12.5%、「休暇日数が足りないので休めない」12.5%となっています。

4. 子どもの不定期の宿泊を伴う一時預かり等の利用

（1）不定期に利用している教育・保育事業

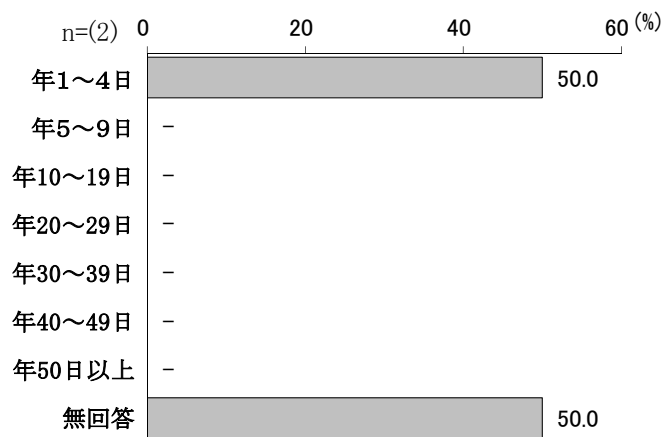
問10 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）をご記入ください。



※トワイライトステイ・・・保護者が仕事・その他の理由により、平日の夜間または休日に不在となることで家庭において児童を養育することが困難となった場合やその他緊急の場合に、児童を児童養護施設等において保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業です。（二宮町では実施しておりません。）

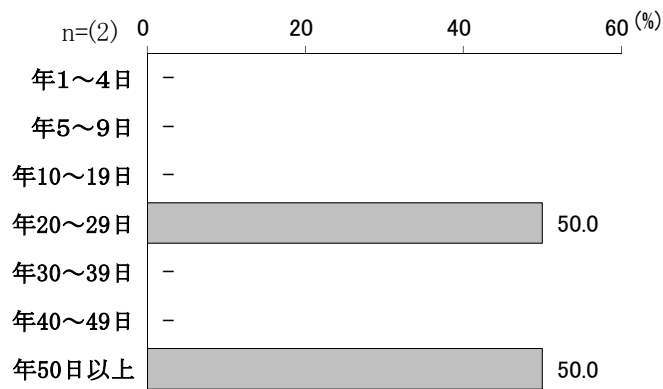
病気やケガ以外の不定期な保育事業の利用状況では、利用している事業は1割未満と低く、「利用していない」92.7%となっています。

【1. ファミリー・サポート・センター】



ファミリー・サポート・センターでは、「年1～4日」50.0%となっています。

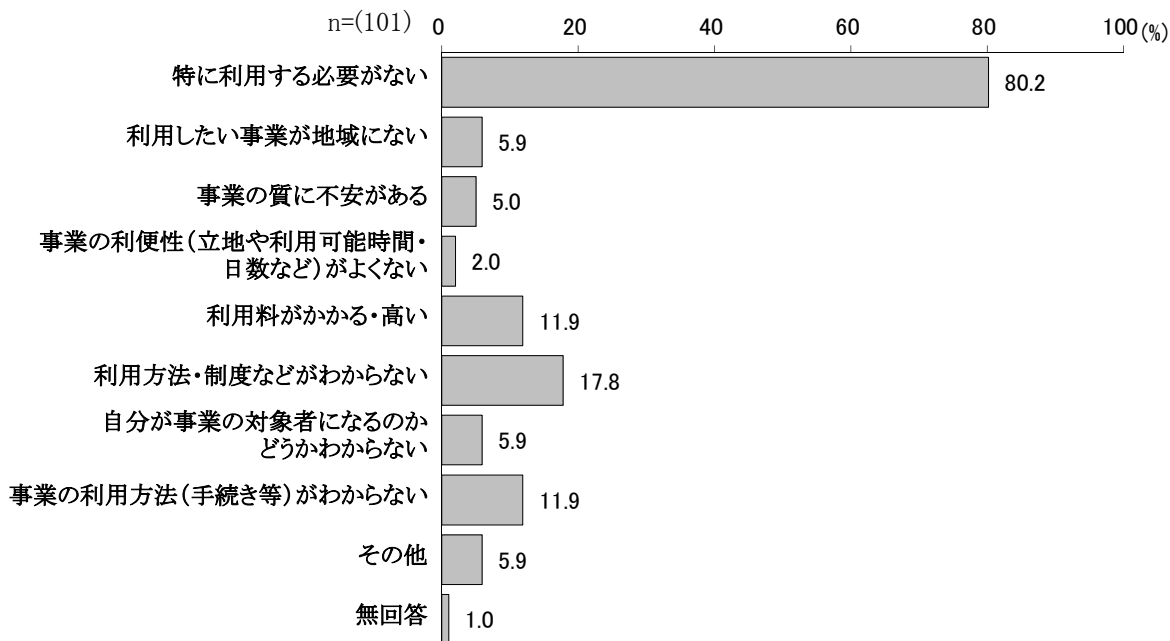
【4. その他】



その他では、「年20~29日」50.0%、「年50日以上」50.0%となっています。

(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

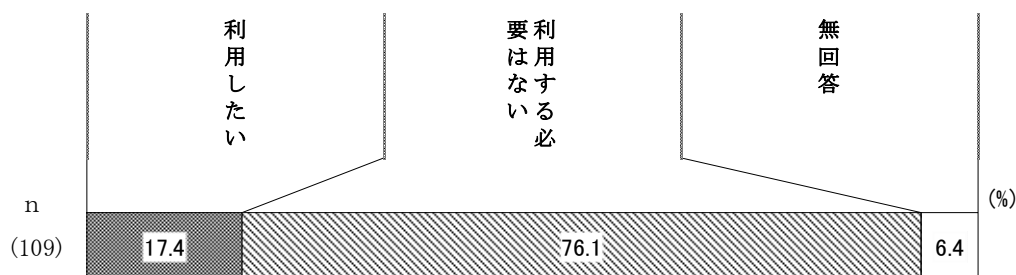
問10-1 問10で「利用していない」に○をつけた方にお伺いします。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



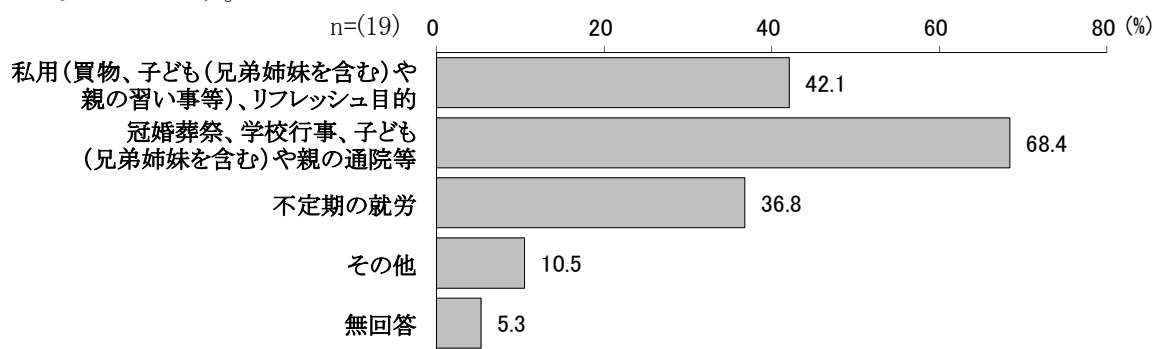
不定期の保育事業を利用していない理由では、「特に利用する必要がない」80.2%が最も高く、以下「利用方法・制度などがわからない」17.8%、「利用料がかかる・高い」11.9%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」11.9%となっています。

（3）私用等の目的のための不定期な教育・保育事業の利用希望

問11 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問10の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を枠内にご記入ください。
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

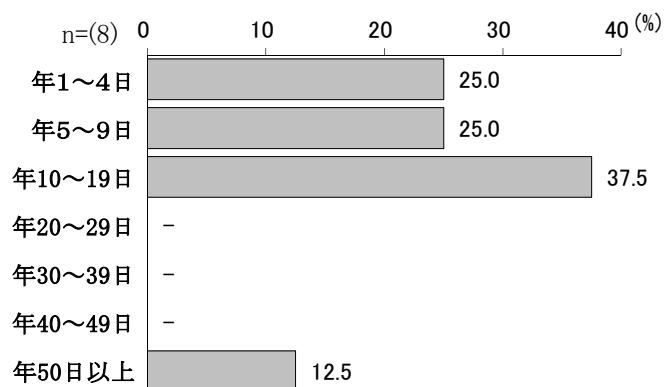


私用等による不定期な保育事業の利用意向では、「利用したい」17.4%、「利用する必要はない」76.1%となっています。



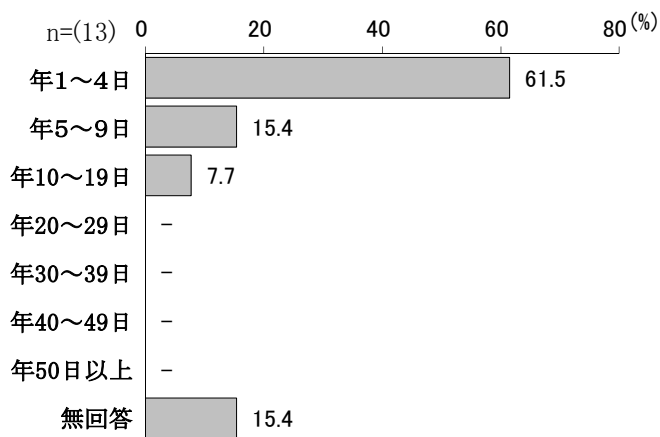
保育事業の利用意向目的では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」68.4%が最も高く、以下「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」42.1%、「不定期の就労」36.8%となっています。

【ア．私用・リフレッシュ目的】



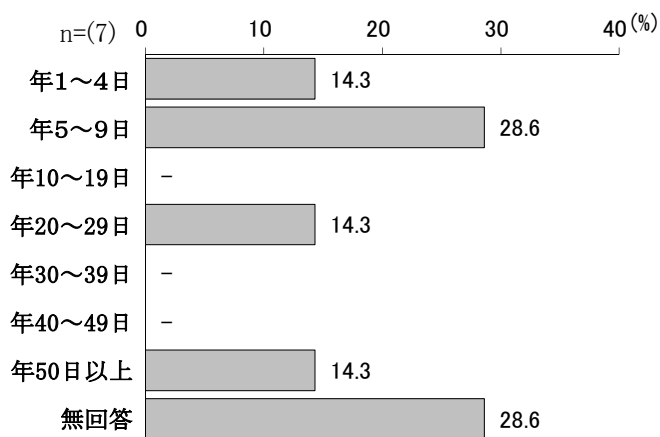
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的では、「年10～19日」37.5%が最も高く、以下「年1～4日」25.0%、「年5～9日」25.0%となっています。

【イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】



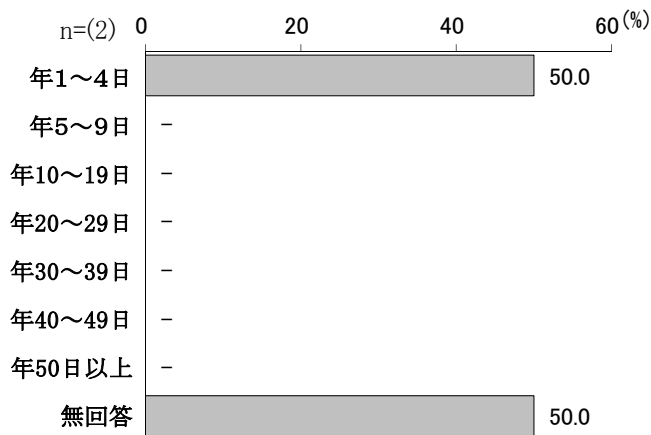
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等では、「年1～4日」61.5%が最も高く、以下「年5～9日」15.4%、「年10～19日」7.7%となっています。

【ウ. 不定期の就労】



不定期の就労では、「年5～9日」28.6%が最も高く、以下「年1～4日」14.3%、「年20～29日」14.3%、「年50日以上」14.3%となっています。

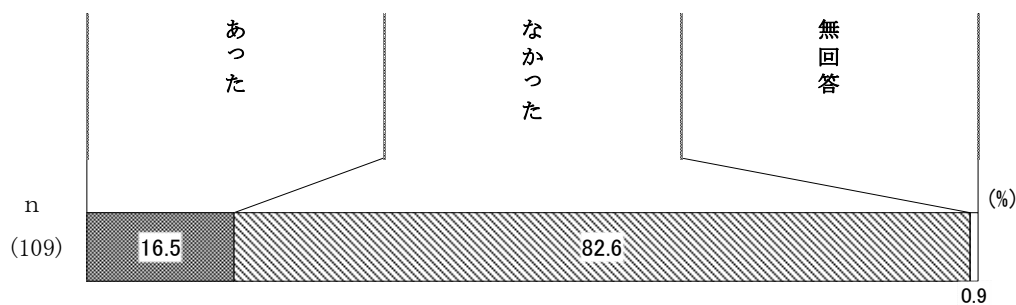
【エ. その他】



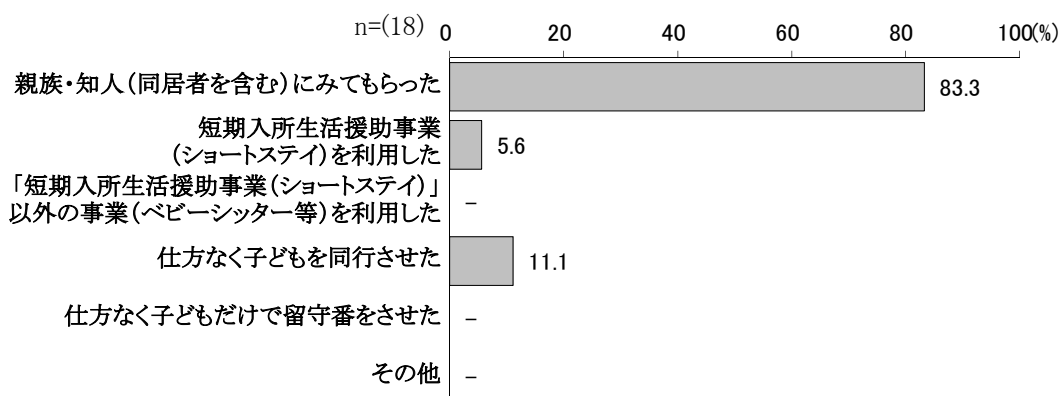
その他では、「年1～4日」50.0%となっています。

（4）泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった場合の対処方法

問12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内にご記入ください。



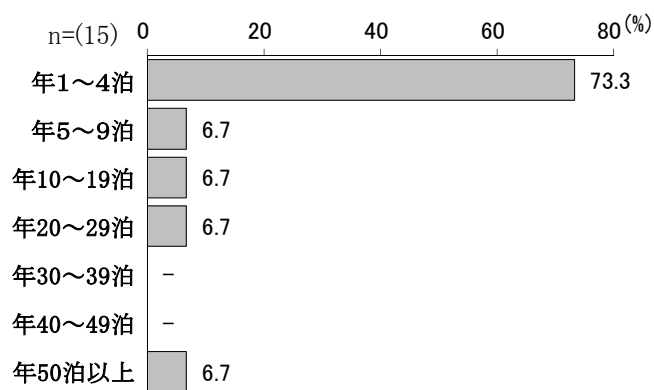
保護者の用事による泊りがけでの対応の有無では、「あった」16.5%、「なかった」82.6%となっています。



泊りがけでの対処方法では、「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」83.3%が最も高く、以下「仕方なく子どもを同行させた」11.1%、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」5.6%となっています。

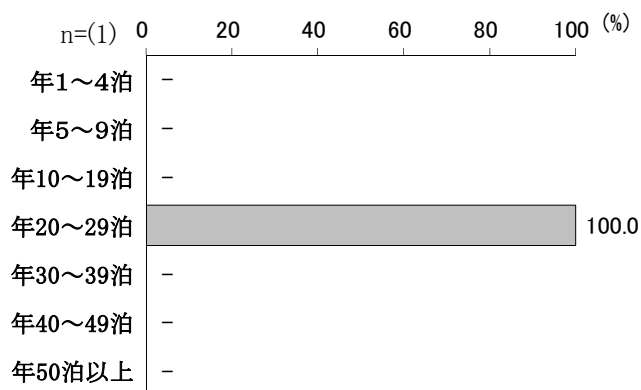
第3章 調査結果の詳細（小学生）

【ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった】



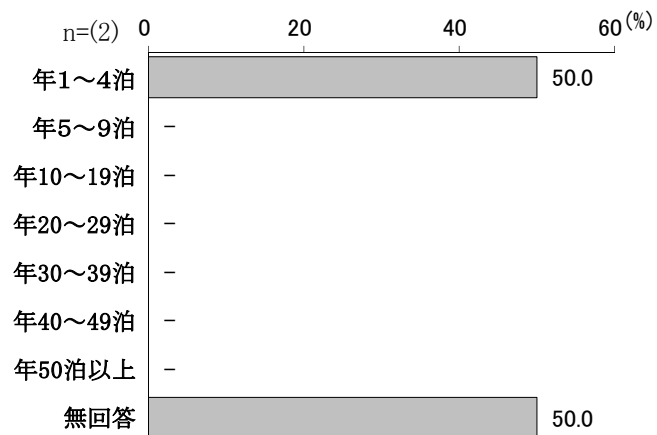
親族・知人（同居者を含む）にみてもらったでは、「年1~4泊」73.3%が最も高く、以下「年5~9泊」6.7%、「年10~19泊」6.7%、「年20~29泊」6.7%となっています。

【イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した】



短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したでは、「年20~29泊」100.0%となっています。

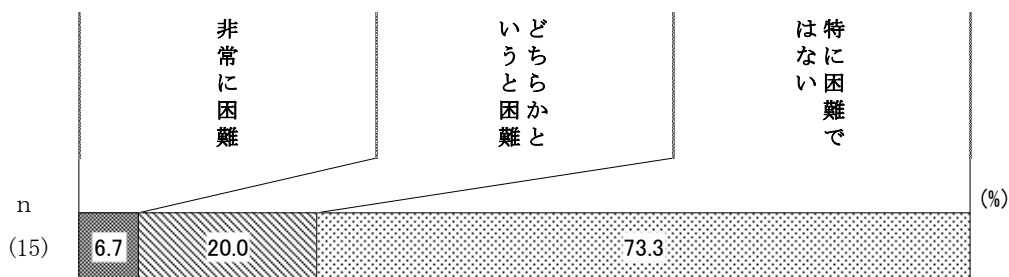
【エ. 仕方なく子どもを同行させた】



仕方なく子どもを同行させたでは、「年1~4泊」50.0%となっています。

（5）親族・知人にみてもらう場合の困難度

問12-1 問12で「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」と答えた方にお伺いします。
その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



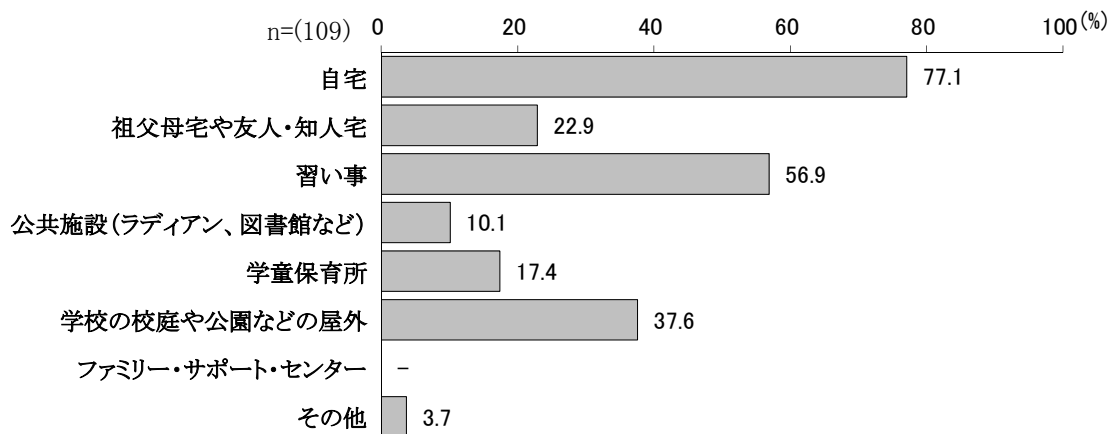
親族・知人にみてもらった場合の困難度では、「非常に困難」6.7%、「どちらかという困難」20.0%と困難であった人は26.7%となっています。一方、「特に困難ではない」73.3%となっています。

5. 子どもの放課後の過ごし方

（1）子どもの平日の放課後の過ごし方

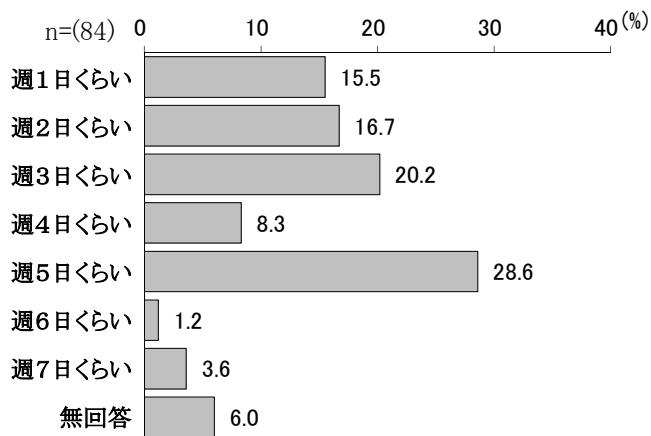
問13 あて名のお子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には、利用する時刻も枠内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「学童保育所」・・・保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



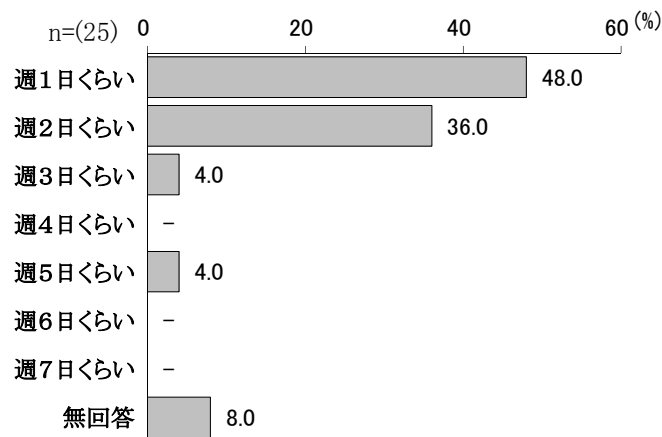
子どもの平日の放課後の過ごし方では、「自宅」77.1%が最も高く、以下「習い事」56.9%、「学校の校庭や公園などの屋外」37.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」22.9%となっています。

【1. 自宅】



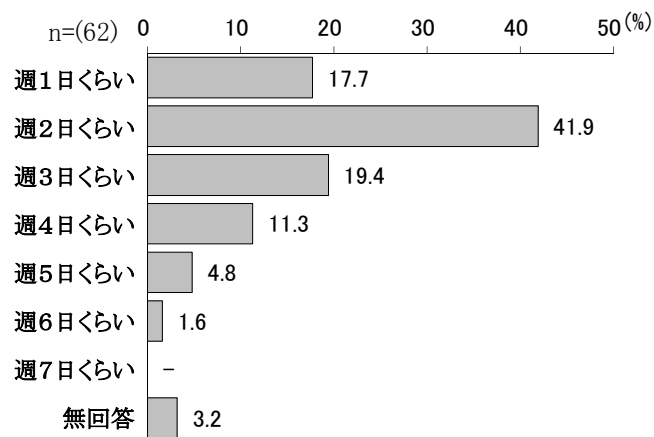
自宅では、「週5日くらい」28.6%が最も高く、以下「週3日くらい」20.2%、「週2日くらい」16.7%、「週1日くらい」15.5%となっています。

【2. 祖父母宅や友人・知人宅】



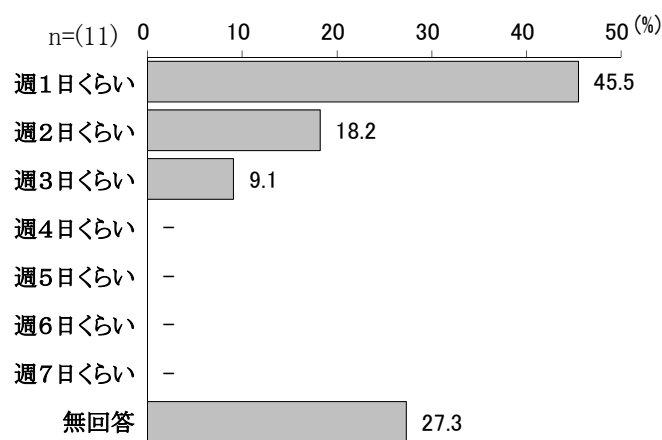
祖父母宅や友人・知人宅では、「週1日くらい」48.0%が最も高く、以下「週2日くらい」36.0%、「週3日くらい」4.0%、「週5日くらい」4.0%となっています。

【3. 習い事】



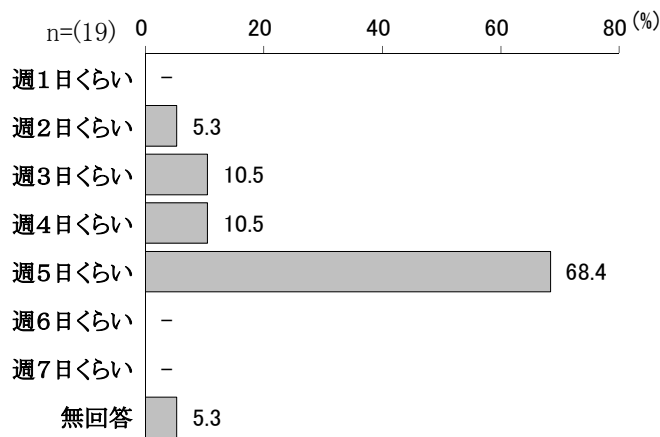
習い事では、「週2日くらい」41.9%が最も高く、以下「週3日くらい」19.4%、「週1日くらい」17.7%となっています。

【4. 公共施設（ラディアン、図書館など）】

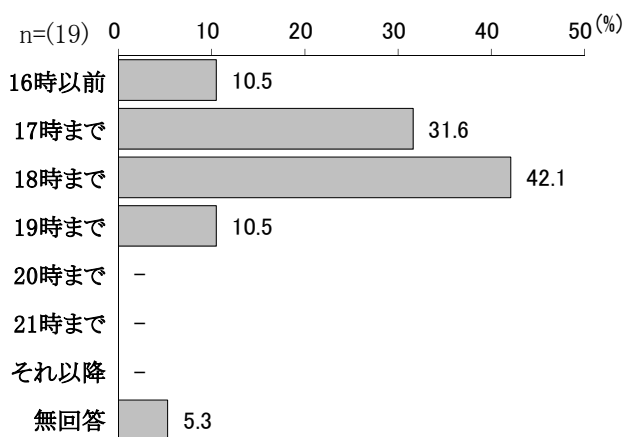


公共施設（ラディアン、図書館など）では、「週1日くらい」45.5%が最も高く、以下「週2日くらい」18.2%、「週3日くらい」9.1%となっています。

【5. 学童保育所】

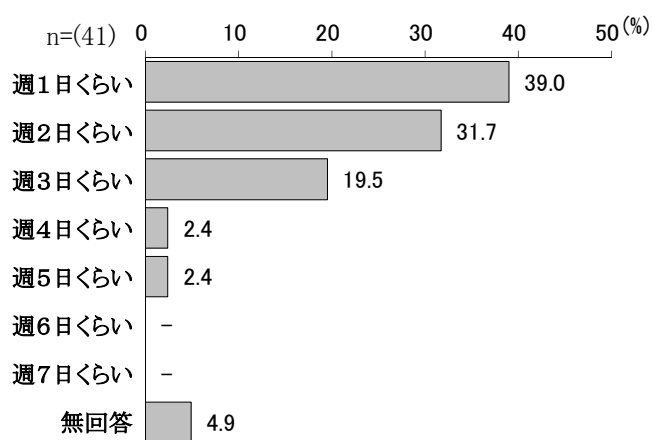


学童保育所では、「週5日くらい」68.4%が最も高く、以下「週3日くらい」10.5%、「週4日くらい」10.5%となっています。



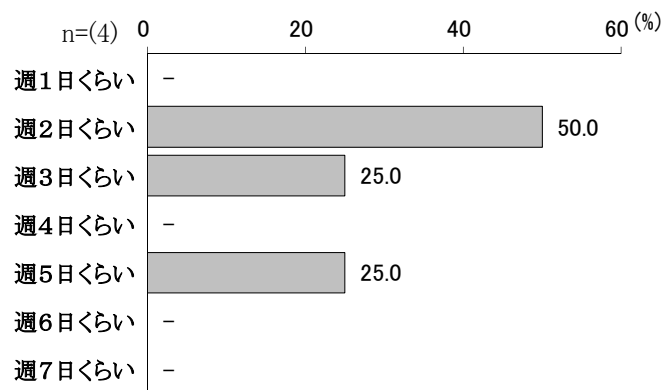
学童保育の希望する終了時間では、「18時まで」42.1%が最も高く、以下「17時まで」31.6%、「16時以前」10.5%、「19時まで」10.5%となっています。

【6. 学校の校庭や公園などの屋外】



学校の校庭や公園などの屋外では、「週1日くらい」39.0%が最も高く、以下「週2日くらい」31.7%、「週3日くらい」19.5%となっています。

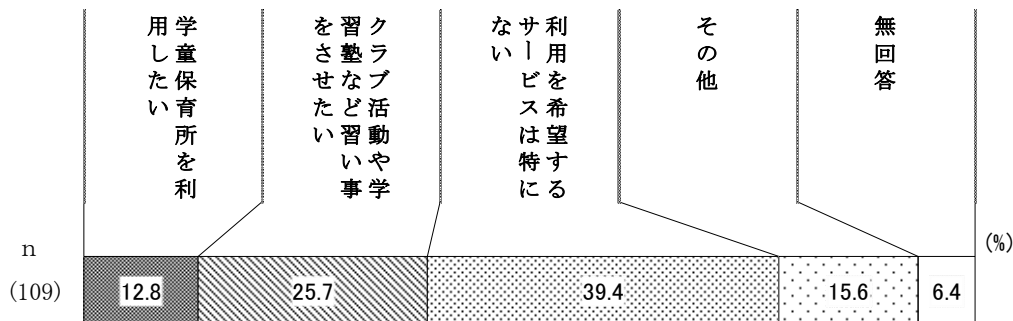
【8. その他】



その他では、「週2日くらい」50.0%が最も高く、以下「週3日くらい」25.0%、「週5日くらい」25.0%となっています。

（2）今後の子どもの放課後の過ごし方

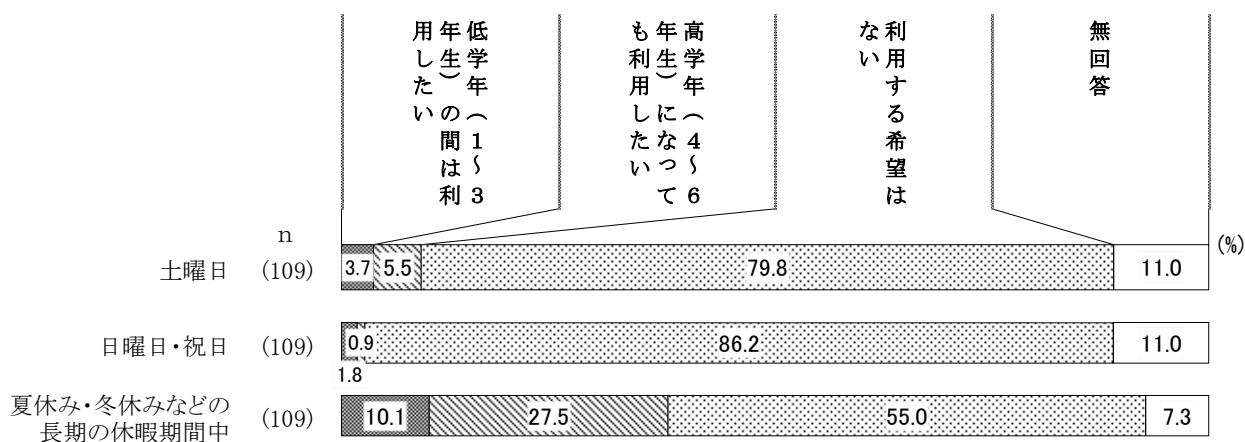
問14 あて名のお子さんの、放課後の過ごし方について、今後どのようなことを望みますか。もっとも当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。



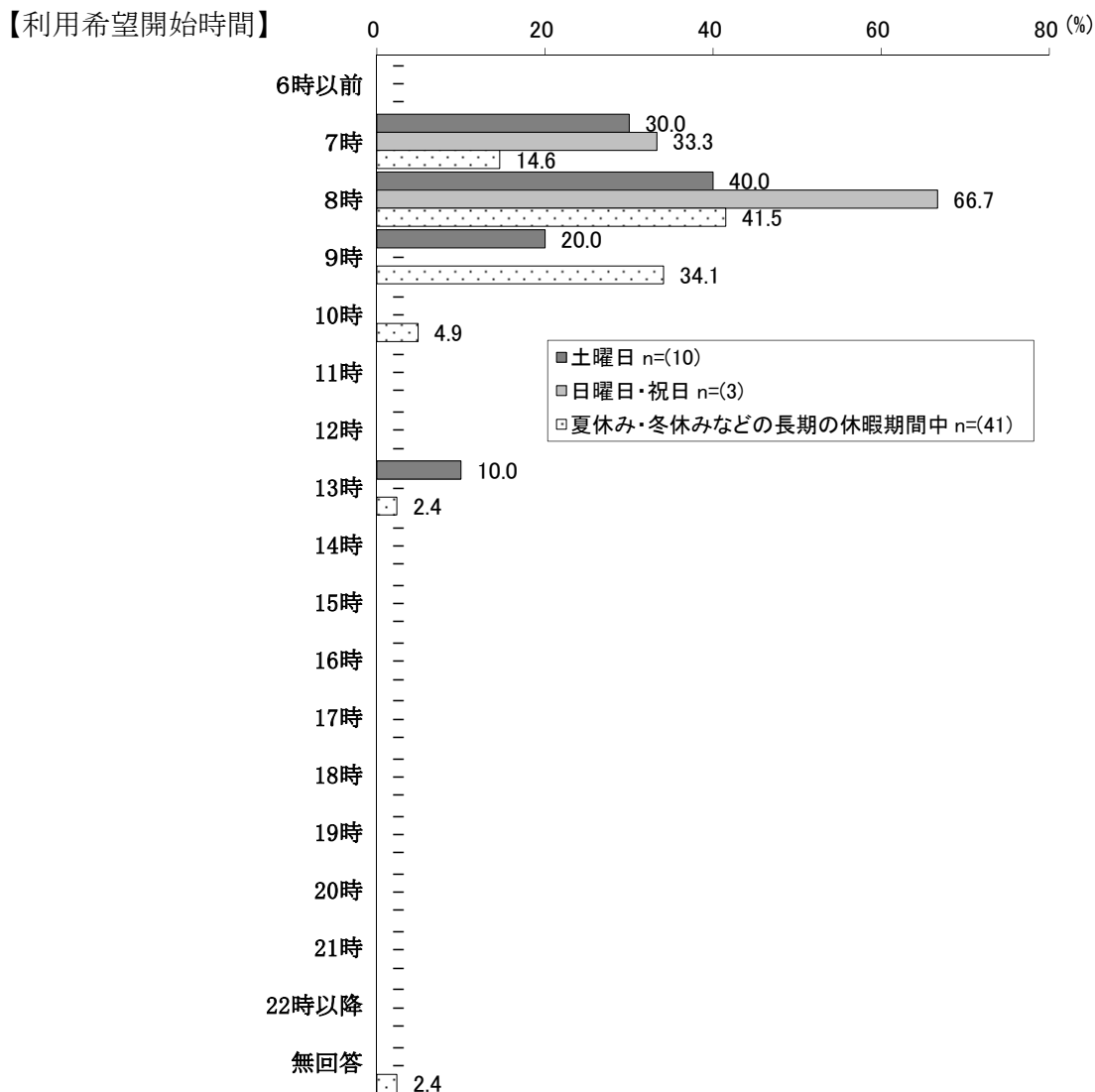
今後の子どもの放課後の過ごし方では、「利用を希望するサービスは特にない」39.4%が最も高く、以下「クラブ活動や学習塾など習い事をさせたい」25.7%、「その他」15.6%、「学童保育所を利用したい」12.8%となっています。

（3）土曜日、日曜日・祝日の学童保育所の利用希望

問15 土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童保育所の利用希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、利用したい時間帯を枠内に24時間制でお答えください。



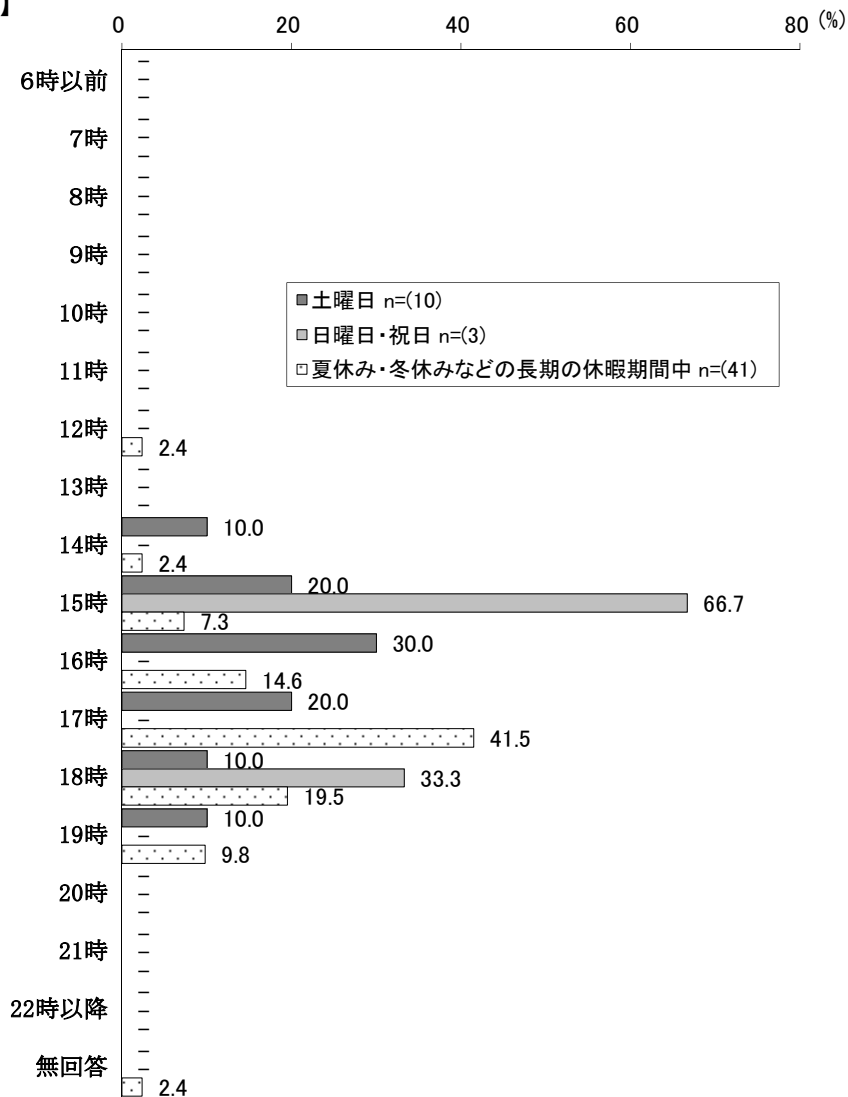
学童保育所の利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに利用希望（「低学年（1～3年生）の間は利用したい」＋「高学年（4～6年生）になっても利用したい」）は1割未満となっていますが、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」10.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」27.5%と利用希望は37.6%となっています。一方、「利用する希望はない」は、土曜日、日曜日・祝日で7割以上、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中55.0%となっています。



学童保育所の利用希望開始時間について、土曜日では、「8時」40.0%が最も高く、以下「7時」30.0%、「9時」20.0%となっています。

日曜日・祝日では、「8時」66.7%が最も高く、以下「7時」33.3%となっています。夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中では、「8時」41.5%が最も高く、以下「9時」34.1%、「7時」14.6%となっています。

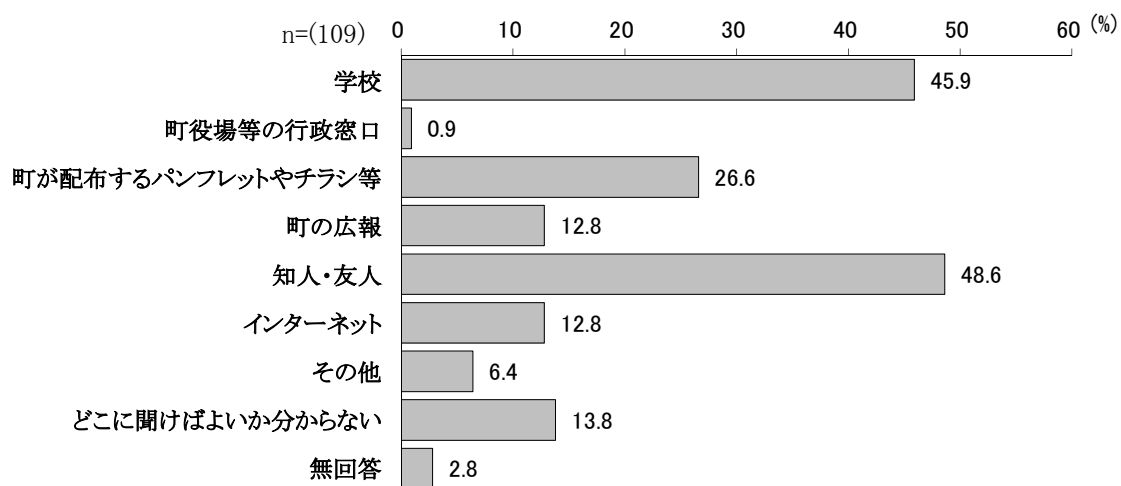
【利用希望終了時間】



土曜日では、「16時」30.0%が最も高く、以下「15時」20.0%、「17時」20.0%となっています。
 日曜日・祝日では、「15時」66.7%が最も高く、以下「18時」33.3%となっています。
 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中では、「17時」41.5%が最も高く、以下「18時」19.5%、「16時」14.6%となっています。

（4）放課後の過ごし方に関する情報の入手先

問16 放課後の過ごし方に関する情報を、どこから入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

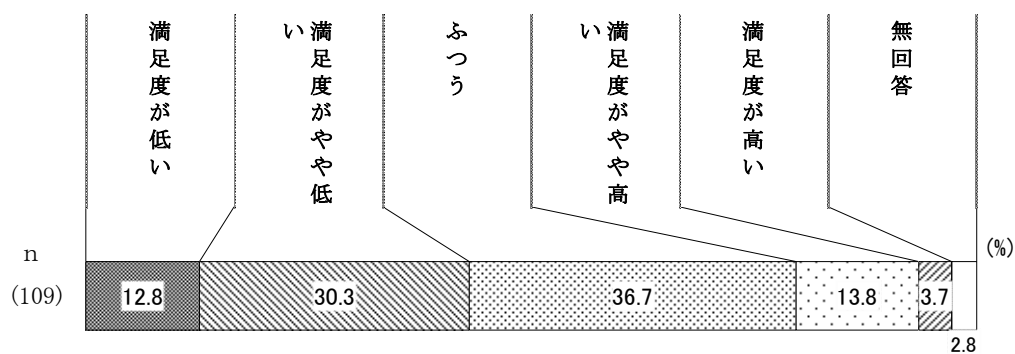


放課後の過ごし方に関する情報の入手先では、「知人・友人」48.6%が最も高く、以下「学校」45.9%、「町が配布するパンフレットやチラシ等」26.6%、「どこに聞けばよいか分からない」13.8%となっています。

6. 子育て全般

（1）町の子育ての環境や支援への満足度

問17 本町における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

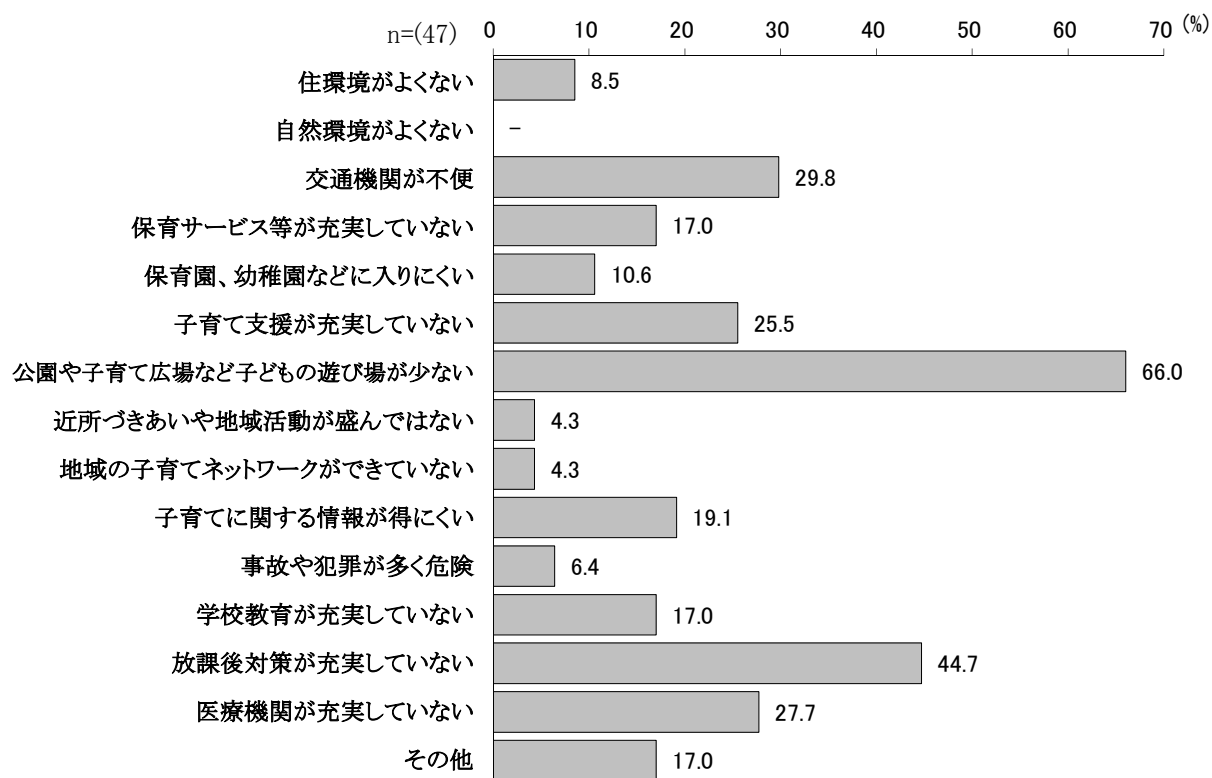


子育ての環境や支援への満足度では、「満足度が高い」3.7%、「満足度がやや高い」13.8%、「ふつう」36.7%となっており、満足度の高さは54.2%となっています。一方、「満足度が低い」12.8%、「満足度がやや低い」30.3%となっており、満足度が低さは43.1%となっています。

（2）その満足度の理由

問17-1 問17の回答の理由をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

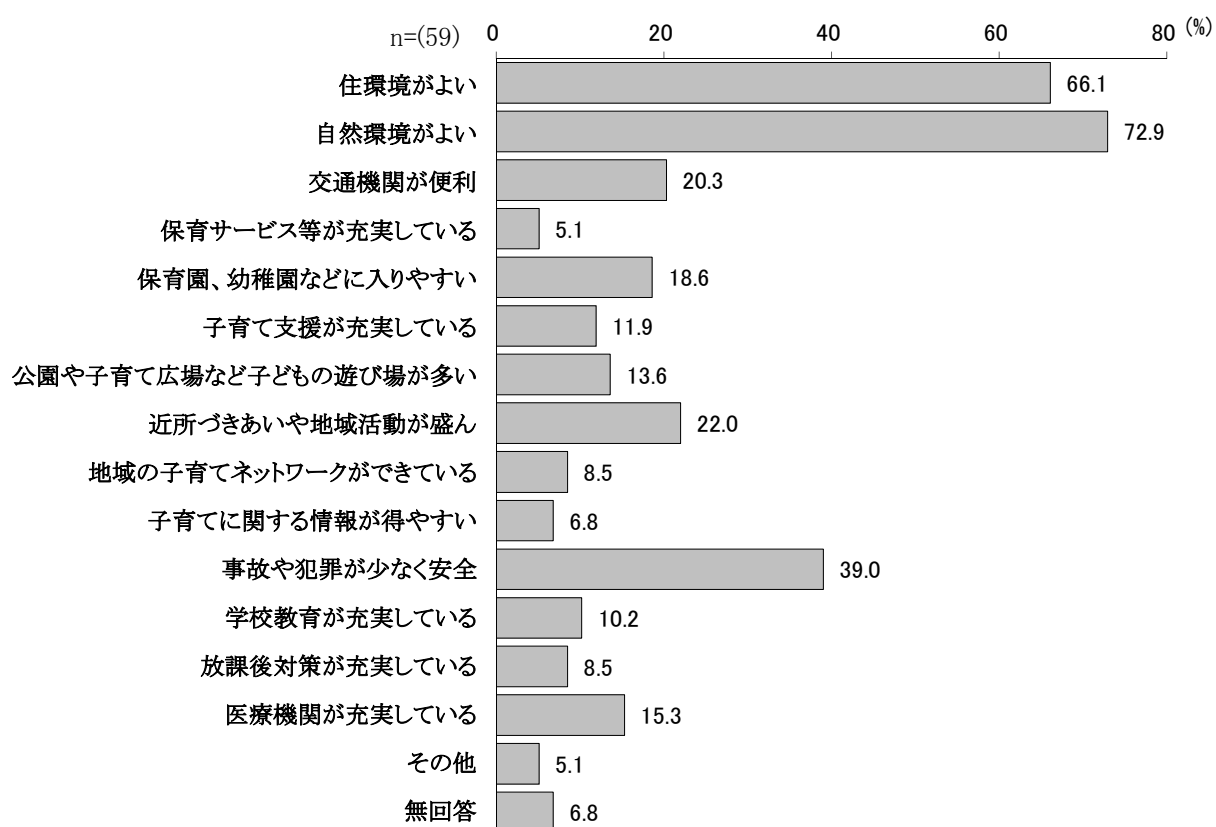
【「満足度が低い」、「満足度がやや低い」と回答した理由】



満足度が低い理由では、「公園や子育て広場など子どもの遊び場が少ない」66.0%が最も高く、以下「放課後対策が充実していない」44.7%、「交通機関が不便」29.8%、「医療機関が充実していない」27.7%、「子育て支援が充実していない」25.5%となっています。

第3章 調査結果の詳細（小学生）

【「満足度が高い」、「満足度がやや高い」、「ふつう」と回答した理由】

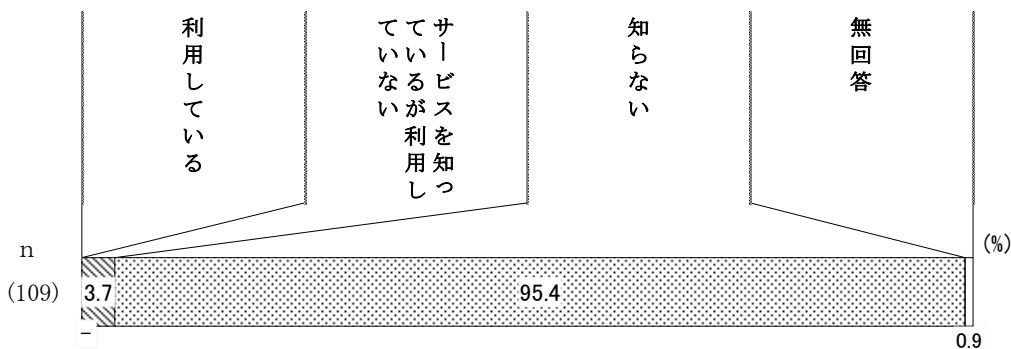


満足度が高い理由では、「自然環境がよい」72.9%が最も高く、以下「住環境がよい」66.1%、「事故や犯罪が少なく安全」39.0%、「近所づきあいや地域活動が盛ん」22.0%、「交通機関が便利」20.3%となっています。

（3）子育てワンストップサービスの利用状況

問18 子育てワンストップサービスについてお伺いします。あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

「子育てワンストップサービス」…地方公共団体の子育てに関するサービスの検索や、オンライン申請が可能です。本町では現状、児童手当の現況届けのみ利用可能ですが、今後、多種の手続きが可能になる見込みです。利用には「マイナンバーカード」と「カードリーダー」（有償）が必要となります。

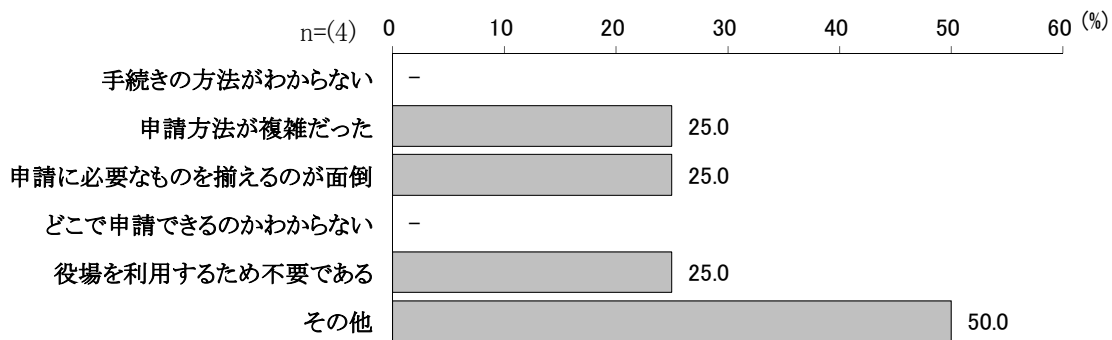


子育てワンストップサービスの利用状況では、「利用している」は回答者がなく、「サービスを知っているが利用していない」3.7%となっています。一方、「知らない」95.4%と高くなっています。

（4）子育てワンストップサービスを利用していない理由

問18-1 問18で「サービスを知っているが利用していない」に○をつけた方にお伺いします。サービスを知っていて利用しない理由はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

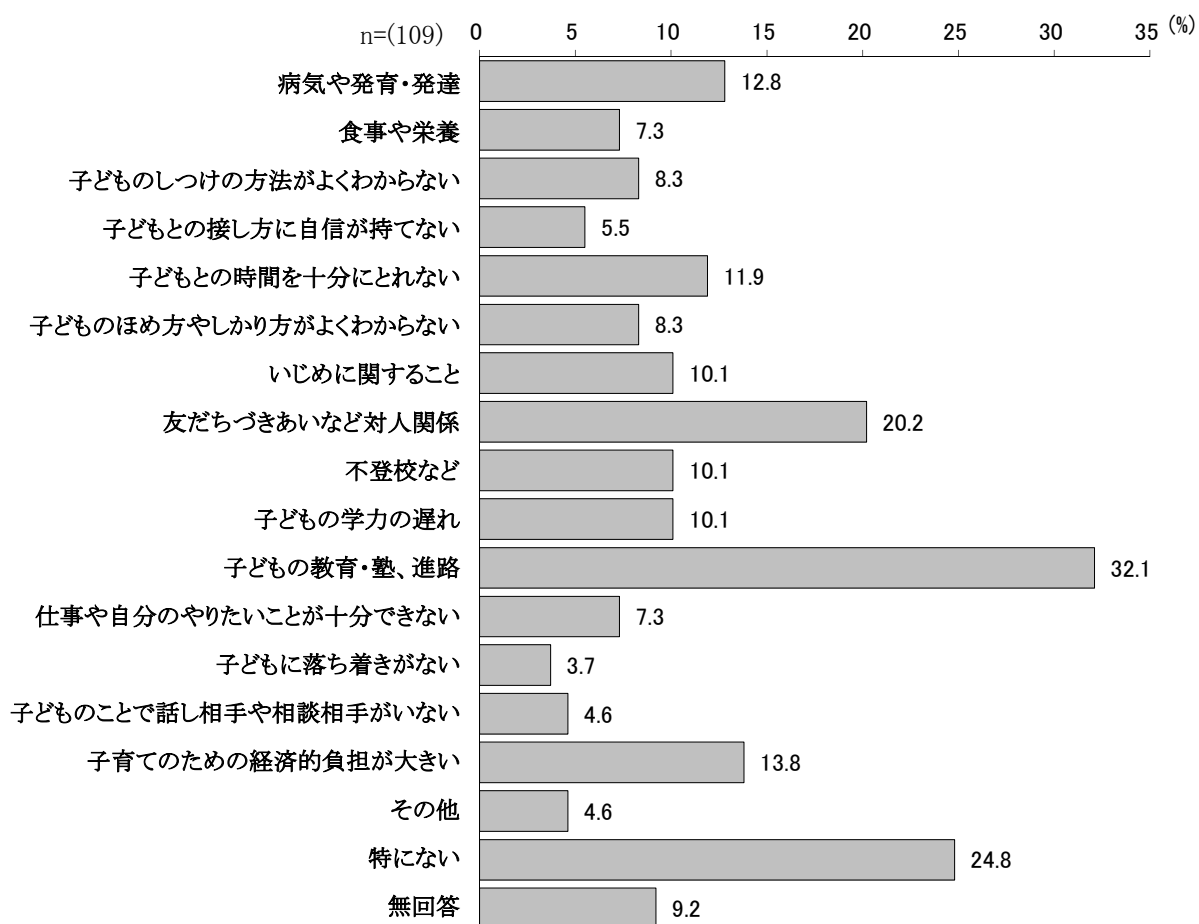
「子育てワンストップサービス」…地方公共団体の子育てに関するサービスの検索や、オンライン申請が可能です。本町では現状、児童手当の現況届けのみ利用可能ですが、今後、多種の手続きが可能になる見込みです。利用には「マイナンバーカード」と「カードリーダー」（有償）が必要となります。



子育てワンストップサービスを知っていて利用しない理由では、「申請方法が複雑だった」25.0%、「申請に必要なものを揃えるのが面倒」25.0%、「役場を利用するため不要である」25.0%がそれぞれ同率となっています。

（5）子育てに関して悩んでいること、気になること

問19 子育てに関して悩んでいること、又は気になることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



子育てに関して悩んでいること、又は気になることでは、「子どもの教育・塾、進路」32.1%が最も高く、以下「友だちづきあいなど対人関係」20.2%、「子育てのための経済的負担が大きい」13.8%、「病気や発育・発達」12.8%となっています。また、「特にない」24.8%も比較的高くなっています。

7. 自由記述

(1) 自由記述

最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

※1人で2つ以上の内容が記述されている場合は、それぞれ1とカウントしているため、下表の件数は延べ件数となる。

教育について	47	保健・医療について	7
学童保育の充実（時間・長期休暇）・整備	9	医療機関の充実（産科・小児科・皮膚科など）	5
学校の質の向上・教員の確保	6	医療費負担の軽減・助成・所得制限	1
教育の強化、自然を生かした教育	5	休日・夜間診療等の充実、相談機関の配置	1
学校等のPTA関係の仕事が負担	4	交通について	6
障がい児支援の充実	3	信号機・標識・街灯などの設置	3
学校の教育環境・生活環境の整備	3	道路・歩道・住宅地の整備	1
小・中学校の整備（エアコン・プール等の設置）、老朽化	2	移動支援（バス運行）	1
特別支援学級の整備・質の向上	2	シルバー人材の派遣（交通安全活動、学力支援など）	1
放課後子ども教室や放課後の居場所の充実・整備	2	生活環境について	4
小学校の通学路の改善（迂回路が遠い）、整備	2	防犯対策（防犯カメラの設置、見守りなど）	3
教育現場間での連携・交流	2	交流のある町づくり・孤立の防止	1
タブレット実習の充実	2	就労について	2
学校の防犯・安全対策	2	仕事と子育ての両立支援	2
不登校児童の支援	1	情報について	1
児童館の開放、整備	1	情報の開示・発信方法の検討	1
学童保育の利用料が高い・無償化希望	1	育児・保育サービスについて	1
遊び場について	11	経済的な問題を抱える世帯をサポートする事業	1
公園の整備・遊具の充実	5	幼稚園・保育園について	1
子どもが気軽に遊べる公園（ボール遊び等）	2	預かり保育・一時保育の充実	1
プールの整備・再開・増設	2	アンケートについて	3
公園の増設・公園が少ない	1	現状に満足	1
室内で遊べる施設の増設	1	その他	2
市制について	7		
子育て支援の強化・充実	2		
助成金の充実・所得制限の見直し	2		
ひとり親世帯・低収入世帯への経済的支援	2		
イベントの充実	1		
		合計:93件	

第4章 調査票

二宮町子ども・子育てに関する アンケート調査

**就学前の
お子さん用**



©東京ハイジノ二宮町

調査ご協力をお願い

町民の皆さまには、日ごろから町の子育て支援行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本町では、平成24年度に新たに制定された「子ども・子育て支援法」に基づき、平成27年度から平成31年度までの5カ年を計画期間とする「二宮町子ども・子育て支援計画」を策定しております。

今回、平成32年度(2020年)からの新たな5カ年計画の策定にあたり、子ども・子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、「二宮町子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施いたします。

このアンケート調査は、町内の就学前のお子さんがある800世帯及び小学生がいる200世帯を無作為に選ばせていただき、皆様の子育てに関するお考えや、子育てに関する実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画策定に反映していきたいと考えております。ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理されます。また、無記名でご回答いただくため、お答えいただいた方の個人情報が入り漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成30年12月

二宮町長 **村田 邦子**

提出期限：平成30年12月28日（金）

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記まで
お願いいたします。



二宮町 健康福祉部 子育て・健康課 子育て支援班

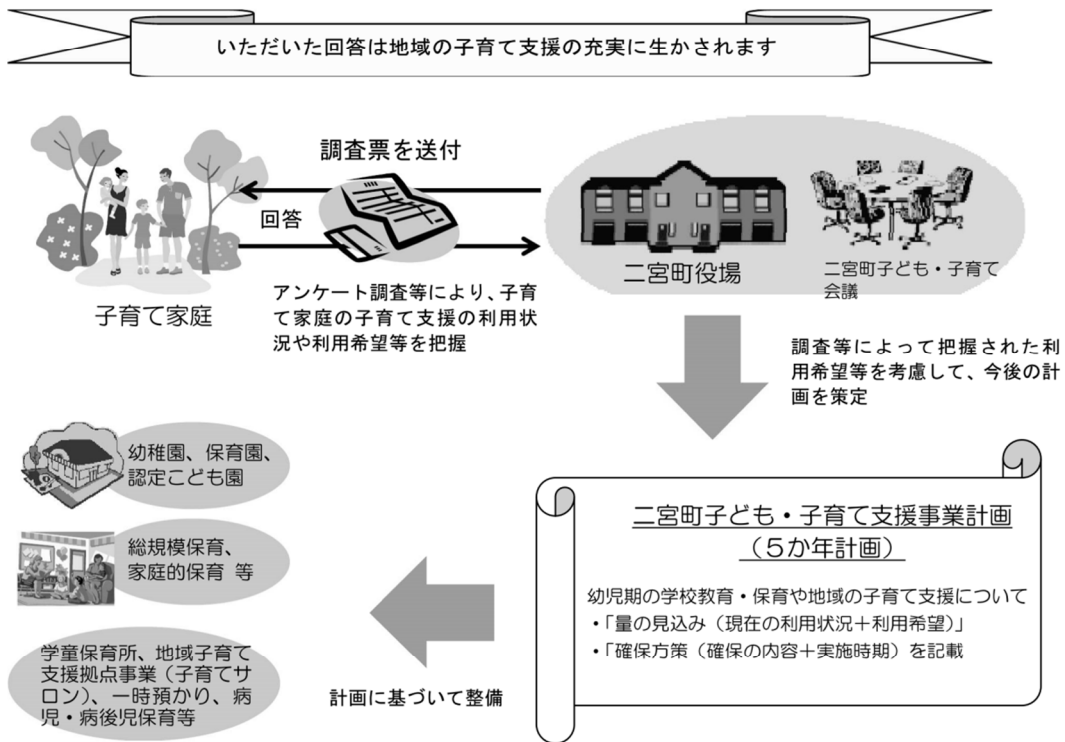
TEL 0463-71-3311 (内線217) FAX 0463-73-0134

E-mail kodomo@town.ninomiya.kanagawa.jp

[調査票のご記入にあたってのお願い]

1. 特にことわりのある場合以外は、あて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○印をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ12月28日(金)までにご投函ください。



お住まいの地域についてお伺いします。

問1 お住まいの地区として、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 一色	2. 緑が丘	3. 百合が丘1丁目
4. 百合が丘2丁目	5. 百合が丘3丁目	6. 中里
7. 元町北	8. 元町南	9. 富士見が丘1丁目
10. 富士見が丘2丁目	11. 富士見が丘3丁目	12. 松根
13. 上町	14. 中町	15. 下町
16. 梅沢	17. 越地	18. 茶屋
19. 釜野	20. 川匂	

あて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

※「あて名のお子さん」とは、封筒のあて名のお子さんを指します。

問2 あて名のお子さんの生年月を枠内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

平成 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を枠内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 年 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお伺いします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方として、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	} ⇒ 問7-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	} ⇒ 問7-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5. いずれもない	⇒ 問8へ

問7-1 問7で「1.」または「2.」をに○をつけた方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問7-2 問7で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお伺いします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく、心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 相談できる人がいる／場所がある ⇒ 問8-1へ
2. 相談できる人がいない／場所がない ⇒ 問9へ

問9-2 問9の(1)(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。
 家を出る時刻と帰宅時刻を枠内に数字でご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。

※時間は、(例)09時台~18時台のように、24時間制でご記入ください。

	家を出る時刻	帰宅時刻
(1)母親	<input type="text"/> 時台	<input type="text"/> 時台
(2)父親	<input type="text"/> 時台	<input type="text"/> 時台

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

問9-3 問9の(1)(2)で「3.」または「4.」に○をつけた方にお伺いします。
 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1)母親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
(2)父親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問9-4 問9の(1)(2)で「5.」または「6.」の就労していないに○をつけた方にお伺いします。就労希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれに1つだけ○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。

(1)母親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) ⇒1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間
(2)父親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) ⇒1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間

問10-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてお伺いします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 二宮町内	2. 他の市町村（	市・町・村）
---------	-----------	--------

問10-4 平日、定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてお伺いします。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため 2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している 3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している 5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である 7. その他（	）
---	---

問10-5 問10で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、該当する枠内には数字をご記入ください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、母親もしくは父親が就労していない） 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている 4. 利用したいが、教育・保育事業に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 8. 子どもがまだ小さいため（	<input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている） 9. その他（
--	---

問11 すべての方にお伺いします。現在、利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） 3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等を受けた定員20人以上のもの） 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） 5. 小規模保育（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの） 6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どものみを保育する事業） 7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運用する施設） 8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設） 9. その他の認可外の保育施設 10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） 11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） 12. その他（	）
--	---

問11-1 問11で教育・保育事業を利用したい場所についてお伺いします。あてはまる番号1つだけ○をつけてください。

1. 二宮町内	2. 他の市町村（	市・町・村）
---------	-----------	--------

問11-2 問11で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3～12」にも○を付けた方にお伺いします。特に幼稚園（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問12 国では、2019年10月から実施する消費税増税分を使って、幼児教育・保育の無償化を実施する予定です。幼児教育・保育の無償化が実現したら、現在利用している、利用していないにかかわらず、希望するサービスが変わりますか。無償化後に利用を希望するサービスに○を3つまでつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） 3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等を受けた定員20人以上のもの） 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） 5. 小規模保育（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの） 6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） 7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運用する施設） 8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設） 9. その他の認可外の保育施設 10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） 11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） 12. その他（
--

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお伺いします。

問13 あて名のお子さんは、現在、子育てサロン（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、百合が丘と栄通りにあります）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を枠内に数字でご記入ください。

1. 子育てサロン	1週当たり	<input type="text"/>	回	もしくは	1ヶ月当たり	<input type="text"/>	回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：	1週当たり	<input type="text"/>	回	もしくは	1ヶ月当たり	<input type="text"/>	回程度
3. 利用していない							

問14 子育てサロンについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を枠内には数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい 1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1週当たり さらに <input type="text"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり さらに <input type="text"/> 回程度
3. すでに利用しているが、利用回数を増やしたいとは思わない
4. 利用したいとは思わない

問14-1 問14で「4.」に○をつけた方にお伺いします。利用したいと思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自宅から遠い	2. 施設の内容や利用方法がわからない
3. 保育所や幼稚園などを、定期的に利用している	4. 自分が施設の利用対象になるのかわからない
5. 子どもの年齢が大きく、室内では遊びづらい	6. 施設が混んでいる
7. 施設の雰囲気合わない	8. 特に利用する必要性を感じない
9. その他 ()	

問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したい事業についてお伺いします。①~⑪の事業ごとに、A~Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
①ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②地域の子育てサークル	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③マタニティ教室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④離乳食講習会	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤「にのはぐ」(子育て世代包括支援センター)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子育てサロンでの相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦保健センター交流事業 (てんでんむし、かるがも親子)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧図書館のおはなし会	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨図書館の託児サービス	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩就学・教育相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪病児・病後児保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてお伺いします。

問16 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、枠内にご記入ください。（数字は一枠に一字）
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
 ※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

※時間は、(例) 09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

①土曜日	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. ときどき利用したい(月に1~2回程度)	⇒	利用したい時間帯 [] [] 時 ~ [] [] 時まで
②日曜・祝日	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. ときどき利用したい(月に1~2回程度)	⇒	利用したい時間帯 [] [] 時 ~ [] [] 時まで

問16-1 問16の①または②で、「3.」に○をつけた方にお伺いします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

1. ときどき仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問17 「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を枠内に数字でご記入ください
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※時間は、(例) 09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

	1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、ときどき利用したい(週に数日程度)	⇒	利用したい時間帯 [] [] 時 ~ [] [] 時まで
--	--	---	-------------------------------------

問17-1 問17で「3.」に○をつけた方にお伺いします。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

1. ときどき仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問 18-3 問 18-2 で「1. 利用したい」に○をつけた方にお伺いします。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ） |
|--|

問 18-4 問 18-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安
2. 事業の質に不安がある
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4. 利用方法・制度などがわからない
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ） |
|---|

問18-5 問18-1で「3～7」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、仕事を休んで見たかった日数についても、枠内にご記入ください。

- | |
|---|
| 1. 仕事を休んで看ることができる ⇒ <input type="text"/> 日 ⇒ 問 19 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい
3. 仕事を休むことはできない |
|---|

問18-6 問18-5で「2.」または「3.」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. 仕事の都合上、休めない
5. その他（ ） |
|--|

問24 問22または問23で「5. 学童保育所」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。①・②それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また利用したい時間帯を、枠内に数字で記入してください。

なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※時間は、(例) 09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

① 土曜日	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 [] [] 時～ [] [] 時まで
② 日曜日・祝日	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 [] [] 時～ [] [] 時まで

問25 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また利用したい時間帯を、枠内に24時間制でお答えください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 [] [] 時～ [] [] 時まで
--	------------------------------------

残りあともう少しです。
ご協力をお願いいたします。



問26-2 問26で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

①母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した
②父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問26-3 問26-2で「1.」と回答した方にお伺いします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども年度初めに合わせたことになります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も同様です。

①母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
②父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった

問26-4 問26-3で「1.」と回答した方にお伺いします。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に数字でご記入ください。

①母親	実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月
②父親	実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月

問26-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。枠内に数字でご記入ください。

①母親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月	②父親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月
-----	--	-----	--

問26-6 問26-4で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 希望より早く復帰した方

① 母親	1. 希望する保育所に入るため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 5. その他 ()	2. 配偶者や家族の希望があったため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
② 父親	1. 希望する保育所に入るため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 5. その他 ()	2. 配偶者や家族の希望があったため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため

(2) 希望より遅く復帰した方

① 母親	1. 希望する保育所に入れなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 6. その他 ()
② 父親	1. 希望する保育所に入れなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 6. その他 ()

問26-7 問26-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

① 母親	1. 利用する必要がなかった（もともと短時間勤務だった等） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）
② 父親	1. 利用する必要がなかった（もともと短時間勤務だった等） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、12月28日（金）までにご投函ください。



二宮町子ども・子育てに関する アンケート調査



©東京ハイジ/二宮町

小学生用

調査ご協力をお願い

町民の皆さまには、日ごろから町の子育て支援行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本町では、平成24年度に新たに制定された「子ども・子育て支援法」に基づき、平成27年度から平成31年度までの5カ年を計画期間とする「二宮町子ども・子育て支援計画」を策定しております。

今回、平成32年度(2020年)からの新たな5カ年計画の策定にあたり、子ども・子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、「二宮町子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施いたします。

このアンケート調査は、町内の就学前のお子さんがある800世帯及び小学生がいる200世帯を無作為に選ばせていただき、皆様の子育てに関するお考えや、子育てに関する実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画策定に反映していきたいと考えております。ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理されます。また、無記名でご回答いただくため、お答えいただいた方の個人情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成30年12月

二宮町長 **村田 邦子**

提出期限：平成30年12月28日（金）

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記まで
お願いいたします。



二宮町 健康福祉部 子育て・健康課 子育て支援班

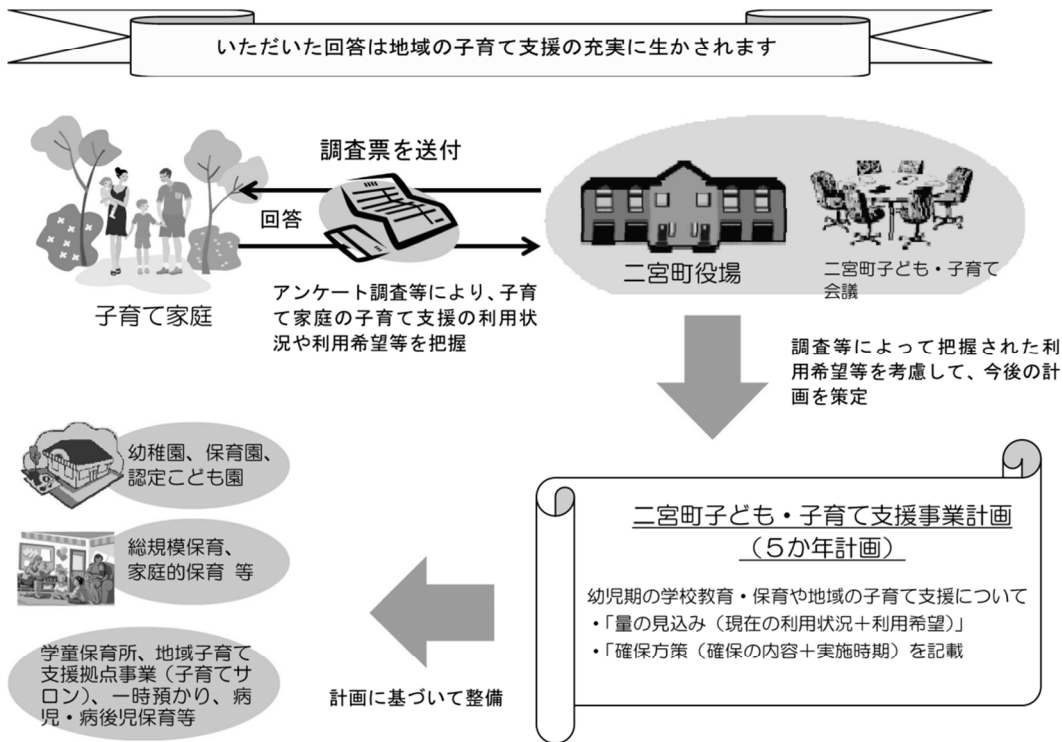
TEL 0463-71-3311 (内線217) FAX 0463-73-0134

E-mail kodomo@town.ninomiya.kanagawa.jp

[調査票のご記入にあたってのお願い]

1. 特にことわりのある場合以外は、あて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○印をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて12月28日(金)までにご投函ください。



お住まいの地域についてお伺いします。

問1 お住まいの地区として、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 一色 | 2. 緑が丘 | 3. 百合が丘1丁目 |
| 4. 百合が丘2丁目 | 5. 百合が丘3丁目 | 6. 中里 |
| 7. 元町北 | 8. 元町南 | 9. 富士見が丘1丁目 |
| 10. 富士見が丘2丁目 | 11. 富士見が丘3丁目 | 12. 松根 |
| 13. 上町 | 14. 中町 | 15. 下町 |
| 16. 梅沢 | 17. 越地 | 18. 茶屋 |
| 19. 釜野 | 20. 川匂 | |

あて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

※「あて名のお子さん」とは、封筒のあて名のお子さんを指します。

問2 あて名のお子さんの学年にあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 |
| 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を枠内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお伺いします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方として、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他 () | |

問8-1 問8の(1)(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。
 1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてご記入ください。

※時間は、(例)09時~18時のように、24時間制でご記入ください。

	就労日数	就労時間(残業時間含む)
(1)母親	1週あたり <input type="text"/> 日	1日あたり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
(2)父親	1週あたり <input type="text"/> 日	1日あたり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

問8-2 問8の(1)(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。
 家を出る時刻と帰宅時刻をご記入ください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてご記入ください。

※時間は、(例)09時台~18時台のように、24時間制でご記入ください。

	家を出る時刻	帰宅時刻
(1)母親	<input type="text"/> 時台	<input type="text"/> 時台
(2)父親	<input type="text"/> 時台	<input type="text"/> 時台

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてご記入ください。

問8-3 問8の(1)(2)で「3.」または「4.」に○をつけた方にお伺いします。
 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1)母親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
(2)父親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問9-1 あて名のお子さんが病気やケガで小学校に通学できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1年間の対処方法		日数	
1.	父親が休んだ		日
2.	母親が休んだ		日
3.	親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった		日
4.	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた		日
5.	ベビーシッターを利用した		日
6.	仕方なく子どもだけで留守番をさせた		日
7.	その他（ ）		日

問9-2 問9-1で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。その際、小学生が利用できる病児・病後児のための保育施設等があれば利用したいと思いましたが、①・②それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけ、枠内に利用日数をご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

	利用したい	利用日数	利用したいとは思わない
①病児保育	1 ⇒	<input type="text"/> 日	2
②病後児保育	1 ⇒	<input type="text"/> 日	2

問9-3 問9-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安	2. 事業の質に不安がある
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない	4. 利用方法・制度などがわからない
5. 利用料がわからない	6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）	

問9-4 問9-1で「3～7」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、仕事を休んで見たかった日数についても、枠内にご記入ください。

1. 仕事を休んで看ることができる ⇒	<input type="text"/> 日 ⇒	問10へ
2. 休んで看ることは非常に難しい		
3. 仕事を休むことはできない		

問9-5 問9-4で「2.」または「3.」に○をつけた方にお伺いします。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. 仕事の都合上、休めない
5. その他 ()	

あて名のお子さんの不定期の宿泊を伴う一時預かり等の利用についてお伺いします。

問10 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）をご記入ください。

利用している事業	日数（年間）	
1. ファミリー・サポート・センター		日
2. 夜間養護等事業：トワイライトステイ*		日
3. ベビーシッターなどの民間のサービス		日
4. その他 ()		日
5. 利用していない ⇒ 問10-1へ	/	

※トワイライトステイ… 保護者が仕事・その他の理由により、平日の夜間または休日に不在となることで家庭において児童を養育することが困難となった場合やその他緊急の場合に、児童を児童養護施設等において保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業です。（二宮町では実施しておりません。）

問10-1 問10で「5.」に○をつけた方にお伺いします。

現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある	4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用方法・制度などがわからない
7. 自分が事業の対象になるのかわからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他 ()	

問11 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問10の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を枠内にご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）リフレッシュ目的		日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等		日
ウ. 不定期の就労		日
エ. その他 ()		日
2. 利用する必要はない		

問12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内にご記入ください。

1. あった	1年間の対処方法		日数	
	ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった			泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した			泊
	ウ. 「イ」以外の事業（ベビーシッター等）を利用した			泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた			泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた			泊
	カ. その他（ ）			泊
2. なかった				

問12-1 問12で「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」と答えた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてお伺いします。

問13 あて名のお子さんは放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「6. 学童保育所」の場合には、利用する時刻も枠内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「学童保育所」… 保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事	週		日くらい
4. 公共施設（ラディアン、図書館など）	週		日くらい
5. 学童保育所	週		日くらい
	⇒下校時から		時まで
6. 学校の校庭や公園などの屋外	週		日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
8. その他（ ）	週		日くらい

問14 あて名のお子さんの、放課後の過ごし方について、今後どのようなことを望みますか。もっとも当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 学童保育所を利用したい
2. クラブ活動や学習塾など習い事をさせたい
3. 利用を希望するサービスは特にない
4. その他 ()

問15 土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童保育所の利用希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、利用したい時間帯を枠内に24時間制でお答えください。

※時間は、(例) 09時～18時のように、24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

- | | | |
|--|---|---------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい 3. 利用する希望はない | ⇒ | 利用したい時間帯 (24時間制で記入) |
| | | □ □ 時～□ □ 時まで |

(2) 日曜日・祝日

- | | | |
|--|---|---------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい 3. 利用する希望はない | ⇒ | 利用したい時間帯 (24時間制で記入) |
| | | □ □ 時～□ □ 時まで |

(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

- | | | |
|--|---|---------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい 3. 利用する希望はない | ⇒ | 利用したい時間帯 (24時間制で記入) |
| | | □ □ 時～□ □ 時まで |

問16 放課後の過ごし方に関する情報を、どこから入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 学校 | 2. 町役場等の行政窓口 |
| 3. 町が配布するパンフレットやチラシ等 | 4. 町の広報 |
| 5. 知人・友人 | 6. インターネット |
| 7. その他 () | 8. どこに聞けばよいか分からない |

残りあともう少しです。
ご協力をお願いいたします。



問19 子育てに関して悩んでいること、又は気になることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 病気や発育・発達 | 2. 食事や栄養 |
| 3. 子どものしつけの方法がよくわからない | 4. 子どもとの接し方に自信が持てない |
| 5. 子どもとの時間を十分にとれない | 6. 子どものほめ方やしかり方がよくわからない |
| 7. いじめに関すること | 8. 友だちづきあいなど対人関係 |
| 9. 不登校など | 10. 子どもの学力の遅れ |
| 11. 子どもの教育・塾、進路 | 12. 仕事や自分のやりたいことが十分できない |
| 13. 子どもに落ち着きがない | 14. 子どものことで話し相手や相談相手がいない |
| 15. 子育てのための経済的負担が大きい | 16. その他() |
| 17. 特にない | |

最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、12月28日(金)までにご投函ください。



©東京ハイジノ二宮町

二宮町子ども・子育てに関するアンケート調査
報告書

平成31年3月

【編集・発行】二宮町 健康福祉部 子育て・健康課
〒259-0196 神奈川県中郡二宮町二宮961番地
電話番号 : 0463-71-3311 (代表)
ファックス : 0463-73-0134

